

令和4年度岡山県学力・学習状況調査  
及び全国学力・学習状況調査  
結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課  
令和4年度版

# 令和4年度 岡山県学力・学習状況調査

## 1 調査目的

児童生徒の学力及び学習の状況を把握・分析して指導の成果と課題を検証・改善するとともに、調査結果に基づき個々の児童生徒が自らの学習等の改善に資する。

## 2 調査対象者・実施日・調査の内容

### (1) 調査対象者

県内全公立小学校（岡山市を除く）・特別支援学校小学部に在籍する第3学年から第5学年の全児童及び県内全公立中学校（岡山市を除く）・中等教育学校・特別支援学校中学部に在籍する第1学年及び第2学年の全生徒を対象とする。

※特別支援学校及び特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- ・下学年の内容等に代替して指導を受けている児童生徒
- ・知的障害のある児童生徒に対する教科内容の指導を受けている児童生徒

倉敷市受検者数 ( ) 内は岡山県内受検者数  
※受検者数は各学年、教科により若干の違いあり。

【小学校】	小学3年生…	4,062人	(8,993人)
	小学4年生…	3,945人	(9,178人)
	小学5年生…	4,115人	(9,192人)
【中学校】	中学1年生…	3,919人	(9,465人)
	中学2年生…	3,849人	(9,193人)

### (2) 実施日 令和4年4月19日(火)

### (3) 調査の内容

【小学校】小学3年生…国語・算数  
小学4年生…国語・算数  
小学5年生…国語・算数・質問紙

【中学校】中学1年生…国語・数学・質問紙  
中学2年生…国語・数学・英語・質問紙

- ◆学習指導要領に示された目標及び内容に基づき、前学年までの学習内容を出題範囲とする。
- ◆基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題する。
- ◆質問紙調査は、学習意欲・学習方法・学習環境・生活等に関する内容とする。

### 3 学力調査結果

- ・市と県の平均正答率の差については、小数第2位以降の数値が反映されているため、0.1%の差異が生じている場合がある。
- ・本調査は、希望する自治体や学校が実施
- ・令和4年度の受検者は小学3年生約8万人、小学4年生約11万人、小学5年生約12万人、中学1年生約9万人、中学2年生約11万人  
※全国の平均正答率は、全国、全ての小中学校の児童生徒の結果を反映している数値ではない。

(1)各教科の結果

①各学年の平均正答率の経年比較(同一集団での比較)【単位は%】

【A】小学3年生 国語

	R2(小1)	R3(小2)	R4(小3)
倉敷市	/	/	70.4
岡山県			68.7
全国			67.1
県との差			1.7
全国との差			3.3

【B】小学3年生 算数

	R2(小1)	R3(小2)	R4(小3)
倉敷市	/	/	75.9
岡山県			75.2
全国			73.9
県との差			0.7
全国との差			2.0

【C】小学4年生 国語

	R2(小2)	R3(小3)	R4(小4)
倉敷市	/	74.2	70.6
岡山県		72.9	69.3
全国		72.1	68.0
県との差		1.3	1.3
全国との差		2.1	2.6

【D】小学4年生 算数

	R2(小2)	R3(小3)	R4(小4)
倉敷市	/	78.2	75.7
岡山県		76.6	74.4
全国		75.5	73.1
県との差		1.6	1.3
全国との差		2.7	2.6

【E】小学5年生 国語

	R2(小3)	R3(小4)	R4(小5)
倉敷市	76.6	72.4	68.7
岡山県	75.4	71.1	68.3
全国	72.0	69.3	68.0
県との差	1.2	1.3	0.4
全国との差	4.6	3.1	0.7

【F】小学5年生 算数

	R2(小3)	R3(小4)	R4(小5)
倉敷市	75.3	71.9	64.1
岡山県	74.7	70.1	63.2
全国	71.6	70.9	60.4
県との差	0.6	1.8	0.9
全国との差	3.7	1.0	3.7

【G】中学1年生 国語

	R2(小5)	R3(小6)	R4(中1)
倉敷市	71.2	67.6	57.7
岡山県	70.4	65.9	58.9
全国	69.1	64.7	57.3
県との差	0.8	1.7	-1.2
全国との差	2.1	2.9	0.4

【H】中学1年生 数学

	R2(小5)	R3(小6)	R4(中1)
倉敷市	66.2	69.1	70.4
岡山県	65.1	69.3	72.0
全国	65.7	70.2	69.2
県との差	1.1	-0.2	-1.6
全国との差	0.5	-1.1	1.2

【I】中学2年生 国語

	R2(小6)	R3(中1)	R4(中2)
倉敷市	-	74.2	67.8
岡山県	-	74.7	67.9
全国	-	71.4	66.7
県との差	-	-0.5	-0.1
全国との差	-	2.8	1.1

【J】中学2年生 数学

	R2(小6)	R3(中1)	R4(中2)
倉敷市	-	68.1	59.8
岡山県	-	69.3	60.0
全国	-	68.2	56.6
県との差	-	-1.2	-0.2
全国との差	-	-0.1	3.2

【K】中学2年生 英語

	R2(小6)	R3(中1)	R4(中2)
倉敷市	/	/	55.2
岡山県			55.8
全国			55.9
県との差			-0.6
全国との差			-0.7

※R3(小6)は、全国学力・学習状況調査の結果

※R2(小6)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全国学力・学習状況調査が中止

②過去の同学年との平均正答率の比較【単位は%】

【A】小学3年生 国語

	R2(小3)	R3(小3)	R4(小3)
倉敷市	76.6	74.2	70.4
岡山県	75.4	72.9	68.7
全国	72.0	72.1	67.1
県との差	1.2	1.3	1.7
全国との差	4.6	2.1	3.3

【B】小学3年生 算数

	R2(小3)	R3(小3)	R4(小3)
倉敷市	75.3	78.2	75.9
岡山県	74.7	76.6	75.2
全国	71.6	75.5	73.9
県との差	0.6	1.6	0.7
全国との差	3.7	2.7	2.0

【C】小学4年生 国語

	R2(小4)	R3(小4)	R4(小4)
倉敷市	70.2	72.4	70.6
岡山県	68.6	71.1	69.3
全国	64.5	69.3	68.0
県との差	1.6	1.3	1.3
全国との差	5.7	3.1	2.6

【D】小学4年生 算数

	R2(小4)	R3(小4)	R4(小4)
倉敷市	74.3	71.9	75.7
岡山県	72.9	70.1	74.4
全国	72.7	70.9	73.1
県との差	1.4	1.8	1.3
全国との差	1.6	1.0	2.6

【E】小学5年生 国語

	R2(小5)	R3(小5)	R4(小5)
倉敷市	71.2	70.6	68.7
岡山県	70.4	69.4	68.3
全国	69.1	67.8	68.0
県との差	0.8	1.2	0.4
全国との差	2.1	2.8	0.7

【F】小学5年生 算数

	R2(小5)	R3(小5)	R4(小5)
倉敷市	66.2	66.5	64.1
岡山県	65.1	65.0	63.2
全国	65.7	65.3	60.4
県との差	1.1	1.5	0.9
全国との差	0.5	1.2	3.7

【G】中学1年生 国語

	R2(中1)	R3(中1)	R4(中1)
倉敷市	66.4	74.2	57.7
岡山県	67.5	74.7	58.9
全国	63.4	71.4	57.3
県との差	-1.1	-0.5	-1.2
全国との差	3.0	2.8	0.4

【H】中学1年生 数学

	R2(中1)	R3(中1)	R4(中1)
倉敷市	64.9	68.1	70.4
岡山県	67.0	69.3	72.0
全国	66.6	68.2	69.2
県との差	-2.1	-1.2	-1.6
全国との差	-1.7	-0.1	1.2

【I】中学2年生 国語

	R2(中2)	R3(中2)	R4(中2)
倉敷市	72.6	70.8	67.8
岡山県	73.3	71.3	67.9
全国	73.1	68.5	66.7
県との差	-0.7	-0.5	-0.1
全国との差	-0.5	2.3	1.1

【J】中学2年生 数学

	R2(中2)	R3(中2)	R4(中2)
倉敷市	59.1	59.7	59.8
岡山県	59.2	60.5	60.0
全国	56.6	58.6	56.6
県との差	-0.1	-0.8	-0.2
全国との差	2.5	1.1	3.2

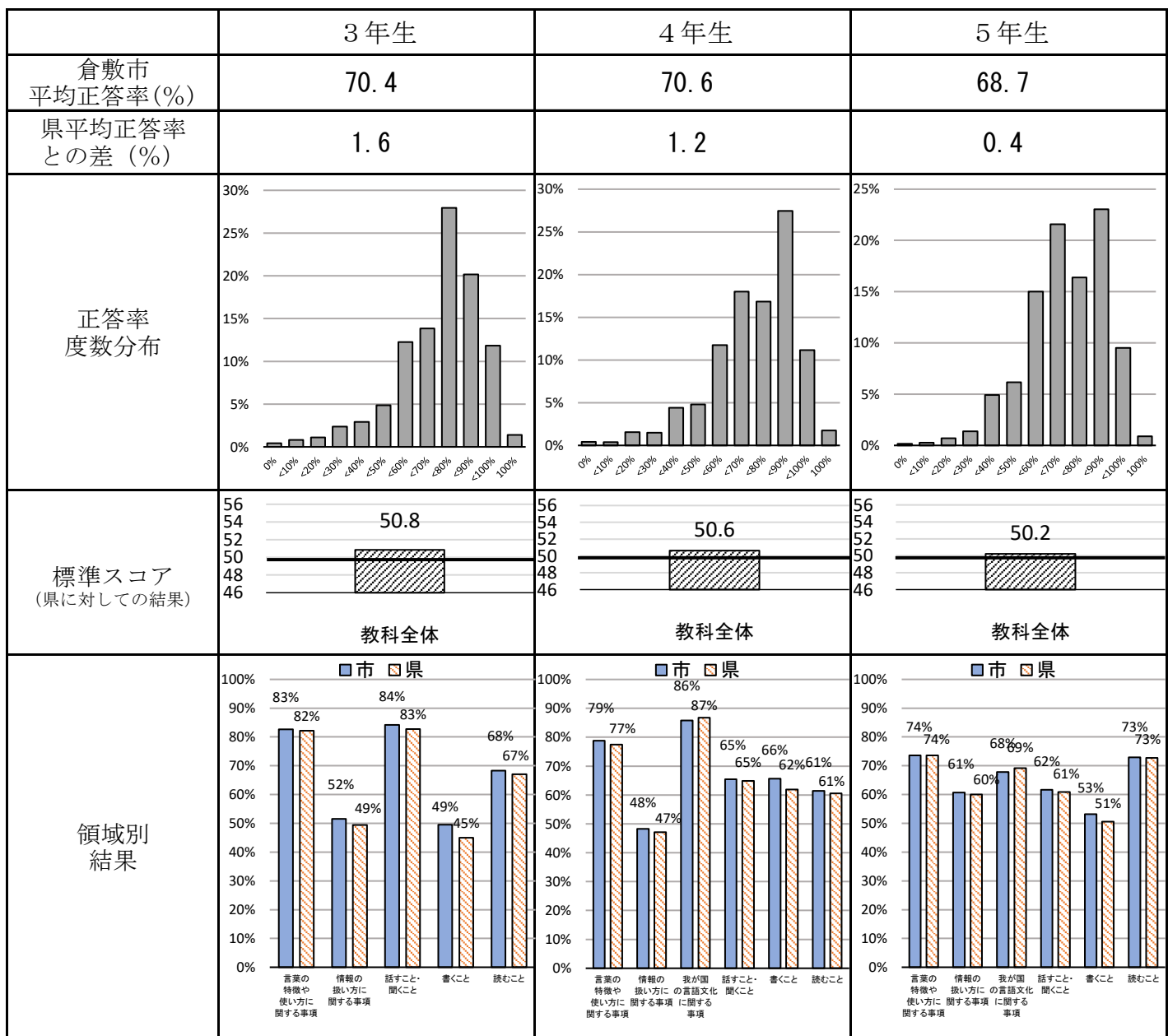
【K】中学2年生 英語

	R2(中2)	R3(中2)	R4(中2)
倉敷市	62.6	56.0	55.2
岡山県	63.8	56.9	55.8
全国	62.7	54.5	55.9
県との差	-1.2	-0.9	-0.6
全国との差	-0.1	1.5	-0.7

## (2) 教科別の結果

### ①小学校 国語

#### ○結果の概要



#### 【現状】

##### ○県平均正答率との差

⇒全ての学年で上回っている。特に3年生では1.6%、小学4年生では1.2%上回っている。

##### ○正答率度数分布

⇒小学校3年生で70%以上80%未満、小学4・5年生で80%以上90%未満が最頻値となっている。

##### ○標準スコア

⇒全ての学年で50.0を上回っている。

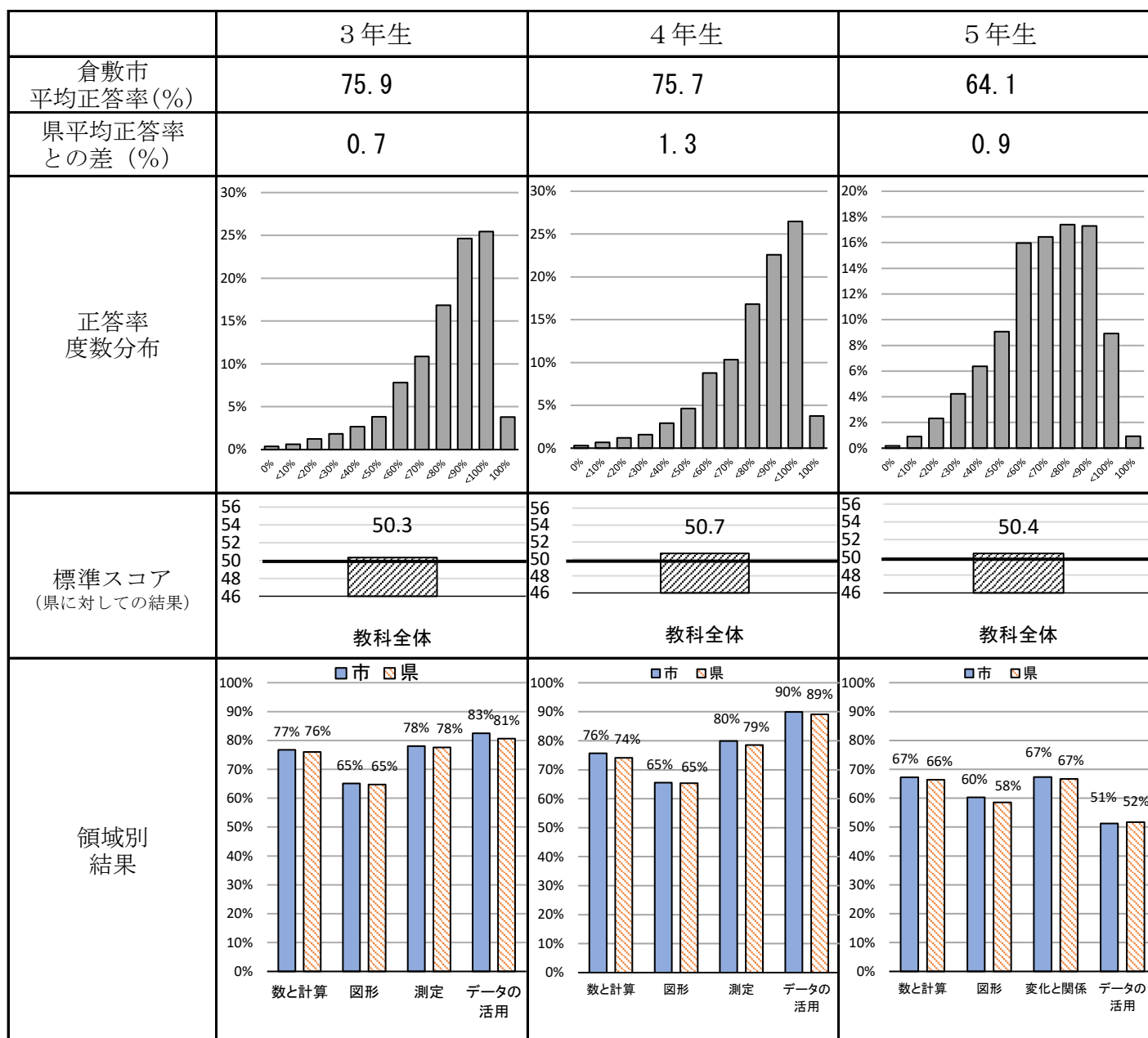
##### ○領域別結果

⇒小学4年生、小学5年生の「我が国の言語文化に関する事項」で、県平均正答率を1.0%下回っているが、それ以外は全て上回っている。(小数第2位まで見た場合)

⇒「書くこと」の領域は全ての学年で県平均正答率を2.0~4.0%上回っている。

## ②小学校 算数

### ○結果の概要



### 【現状】

○県平均正答率との差

⇒全ての学年で上回っている。特に4年生では1.3%上回っている。

○正答率度数分布

⇒小学3・4年生で90%以上100%未満、小学5年生で70%以上80%未満が最頻値となっている。

○標準スコア

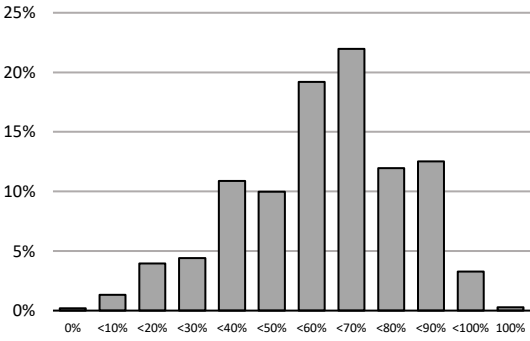
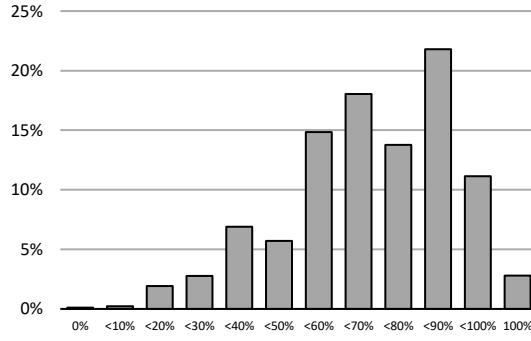
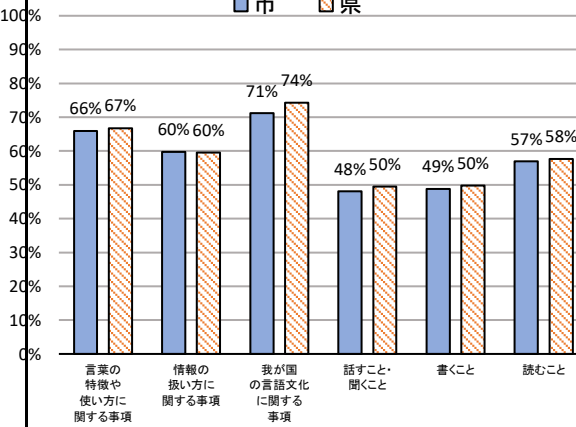
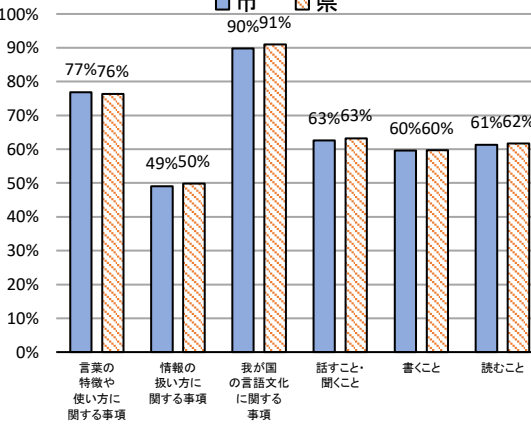
⇒全ての学年で50.0を上回っている。

○領域別結果

⇒小学5年生の「データの活用」で県平均正答率を1.0%下回っているが、それ以外は全て上回っている。(小数第2位まで見た場合)

### ③中学校 国語

#### ○結果の概要

	1 年生	2 年生
倉敷市 平均正答率(%)	57.7	67.8
県平均正答率 との差(%)	-1.2	-0.1
正答率 度数分布		
標準スコア (県に対しての結果)	56 54 52 50 48 46 49.4	56 54 52 50 48 46 49.9
	教科全体	教科全体
領域別 結果		

#### 【現状】

○県平均正答率との差

⇒中学1年生で1.2%、中学2年生で0.1%下回っている。

○正答率度数分布

⇒中学1年生で60%以上70%未満、中学2年生で80%以上90%未満が最頻値となっている。

○標準スコア

⇒中学1・2年生で50.0を下回っている。

○領域別結果

⇒中学1年生は、「情報の扱い方に関する事項」の領域で県平均正答率を上回っている。(小数第2位まで見た場合)

⇒中学2年生は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域で県平均正答率を上回っている。



#### ④中学校 数学

##### ○結果の概要

	1年生	2年生
倉敷市 平均正答率(%)	70.4	59.8
県平均正答率 との差(%)	-1.6	-0.2
正答率 度数分布		
標準スコア (県に対しての結果)		
領域別 結果		

#### 【現状】

○県平均正答率との差

⇒中学1年生で1.6%、中学2年生で0.2%下回っている。

○正答率度数分布

⇒中学1年生で80%以上90%未満が最頻値となっている。

⇒中学2年生で60%以上70%未満が最頻値となっている。

○標準スコア

⇒中学1・2年生で50.0を下回っている。

○領域別結果

⇒中学1年生は、全ての領域で県平均正答率を下回っている。

⇒中学2年生は、「数と式」の領域で県平均正答率を上回っている。(小数第2位まで見た場合)

⑤中学校 英語

○結果の概要

	1 年生	2 年生
倉敷市 平均正答率(%)		55.2
県平均正答率 との差 (%)		-0.6
正答率 度数分布		
標準スコア (県に対しての結果)		
領域別 結果		

【現状】

○県平均正答率との差

⇒0.6%下回っている。

※(昨年度は0.9%下回る。)

○正答率度数分布

⇒60%以上70%未満の分布が高く、続いて30%以上40%未満の分布が高くなっている。

○標準スコア

⇒50.0を下回っている。

○領域別結果

⇒「読むこと」の領域で県平均正答率を上回っている。(小数第2位まで見た場合)



### (3) 設問別の結果(ベンチマーク)

#### 【小学3年生 国語】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話を聞きとる	話し手が知らせたいことを落とさないように聞いている。	94.4	94.1	94.1			0.3	0.3
	(2)			86.4	85.1	83.8			1.3	2.6
	(3)			71.6	68.9	69.9			2.7	1.7
2	(1)	かん字を読む	第2学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	94.2	93.9	91.9			0.3	2.3
				94.6	94.5	94.9			0.1	-0.3
				93.0	92.0	92.6			1.0	0.4
	(2)	かん字を書く	第2学年に配当されている漢字を正しく書いている。	72.7	72.5	69.1			0.2	3.6
				68.5	69.6	69.2			-1.0	-0.7
				82.0	79.5	79.8			2.5	2.2
3	(1)	ことばの学しゅう	片仮名で書く語の種類を知り、正しく使っている。	89.0	87.6	86.5			1.4	2.5
	(2)			64.0	64.3	60.4			-0.3	3.6
	(3)			85.3	85.4	80.8			-0.1	4.5
	(4)			36.2	34.7	34.3			1.5	1.9
4	(1)	ものがたりを読みとる	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	82.9	81.4	81.7			1.4	1.2
	(2)			55.0	55.0	58.1			-0.1	-3.1
	(3)			50.6	49.9	50.7			0.6	-0.1
5	(1)	せつ明文を読みとる	事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	87.7	86.4	86.8			1.2	0.9
	(2)			66.5	65.5	67.0			1.0	-0.5
	(3)			66.9	64.1	63.6			2.8	3.3
6	(1)	手紙のへんじを書く	事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	30.8	29.8	26.8			1.0	4.0
	(2)			23.1	22.2	24.5			0.9	-1.4
7		文しょうを書く	指定された長さで文章を書いている。	68.6	60.8	50.0			7.8	18.6
			経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、文章を書いている。	66.3	60.4	53.0			5.9	13.3
			自分の思いや考えが明確になるように、文章を書いている。	58.6	51.8	41.8			6.8	16.8

【小学3年生 算数】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	10000までの 数・分数	4位数について、数の表し方を理解している。	87.0	87.2	87.3			-0.2	-0.3
	(2)		位取りの表を使って、ある位の数字を表すことができる(502の十の位の数字)。	78.9	78.6	78.6			0.2	0.3
2		10000までの 数・分数	数直線上に示された数を読み取ることができる。	86.8	87.1	85.1			-0.2	1.7
3		10000までの 数・分数	数の大小と不等号の意味を理解している。	44.7	38.8	38.1			5.9	6.6
4		10000までの 数・分数	もとの大きさの1/4の大きさの意味を理解している。	43.0	45.4	43.8			-2.5	-0.8
5	(1)	たし算・ひき算	1けた+2けた=2けた(繰り上がりあり)の計算ができる。	92.0	91.3	91.1			0.7	0.9
	(2)		2けた+2けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	83.9	82.4	82.3			1.6	1.6
	(3)		2けた-2けた=2けた(繰り下がり1回)の計算ができる。	82.2	80.3	80.5			1.9	1.7
	(4)		3けた-2けた=2けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	77.8	77.5	75.5			0.2	2.3
	(5)	かけ算	2の段の九九ができる。	97.2	97.2	97.3			0.0	-0.1
	(6)		9の段の九九ができる。	96.0	96.3	95.5			-0.3	0.5
6		かけ算	九九表のきまりに気づき、それを生かして九九を構成している。	76.1	77.2	79.0			-1.1	-2.9
7	(1)	かけ算	文章問題(倍の問題)を、乗法九九を適用して解くことができる。	50.9	50.1	52.2			0.8	-1.3
	(2)	たし算・ひき算	文章問題(求補の場面)を、2けた-2けた=2けたの減法を適用して解くことができる。	76.3	75.0	75.1			1.3	1.2
8		かけ算	文章問題を解くために乗法九九の立式をしている。	90.6	91.0	89.6			-0.3	1.0
9		かけ算	乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	68.0	69.5	68.4			-1.5	-0.4
10		たし算・ひき算	加法の結合法則を用いて、考え方に合うように式に括弧を書いている。	63.8	61.3	51.8			2.5	12.0
11	(1)	たし算・ひき算	減法逆の加法の文章問題を表した図の構造をとらえることができる。	79.6	77.4	74.0			2.2	5.6
	(2)		減法逆の加法の文章問題を、図を使って解くことができる。	81.7	80.7	80.8			1.0	0.9
12		三角形と四角形	直角三角形の特徴を理解している。	82.2	81.9	78.0			0.4	4.2
13		三角形と四角形	方眼に正方形をかくことができる。	90.4	91.5	89.0			-1.1	1.4
14		はこの形	直方体を作るときに必要な面の形と数を理解している。	63.5	62.4	61.1			1.2	2.4
15	(1)	時こくと時間	ある時刻から一定時間後の時刻を求めている。	68.7	68.3	70.2			0.3	-1.5
	(2)		1時間=60分の関係を理解している。	72.9	73.2	75.5			-0.3	-2.6
16	(1)	長さ・かさ	ものさしの目盛りを読み取ることができる。	82.2	81.6	78.4			0.6	3.8
	(2)		長さも加法の計算ができることを理解し、長さの和を求めることができる。	86.6	86.1	85.2			0.5	1.4
17	(1)	長さ・かさ	1L=10dLであることを理解し、リットルまずに入った水のかさを、LとdLで表すことができる。	85.4	84.3	81.1			1.1	4.3
	(2)		身近にあるもののかさを推察して、適切な単位を使うことができる。	72.8	72.2	71.2			0.6	1.6
18	(1)	かけ算	与えられた条件から、乗法九九の立式をしている。	77.7	76.5	74.2			1.3	3.5
	(2)	はこの形	直方体のあてはまる辺の長さを使って、問題を解いている。	24.2	23.0	24.6			1.1	-0.4
19	(1)	ひょうやグラフ	グラフを読み取って、表に表すことができる。	83.7	81.9	76.7			1.8	7.0
	(2)		グラフや表から2番目に多い季節を読み取ることができる。	81.4	79.5	75.0			1.9	6.4

【小学4年生 国語】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市 県 全国			倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話し合いの内 ようを聞き取る	話し手が伝えたいこと の中心を捉えている。	90.1	89.9	92.2			0.2	-2.1
	(2)		話の中心を明確にする ための話し手の工夫を捉 えている。	81.1	81.1	81.6			0.0	-0.5
	(3)		相手に伝わるように、自 分の考えを、理由を挙げ ながら話している。	69.0	68.8	63.8			0.3	5.2
2	(1)	漢字を読む	第3学年に 配当されている漢字を正 しく読んでいる。	95.2	95.2	95.4			0.0	-0.2
				90.3	89.5	89.4			0.9	0.9
				97.1	97.5	97.2			-0.4	-0.1
	(2)	漢字を書く	第3学年に 配当されている漢字を正 しく書いている。	77.9	72.6	63.9			5.3	14.0
				65.8	66.1	60.9			-0.3	4.9
				75.7	73.2	70.2			2.5	5.5
3	(1) (2) (3) (4) (5)	言葉の学習	主語と述語の 関係について理解して いる。	70.5	70.3	74.7			0.1	-4.2
			様子や行動を表す 語句の量を増し、語彙 を豊かにしている。	88.6	88.1	84.2			0.6	4.4
			ローマ字で表 記されたものを正しく 読んでいる。	77.0	76.1	74.2			0.9	2.8
			漢字のへんや つくりを理解して いる。	85.8	86.8	84.6			-0.9	1.2
			国語辞典の 使い方を理解して いる。	52.9	52.0	51.4			0.9	1.5
4	(1) (2) (3)	物語の内 ようを読み取る	登場人物の 気持ちについて、叙 述を基に捉えている。	79.7	79.0	81.2			0.7	-1.5
			場面の様子 について、叙述を基に 捉えている。	18.1	18.0	23.6			0.1	-5.5
			文章を読んで 感じたことや分かった ことを共有して いる。	55.6	55.4	54.8			0.2	0.8
5	(1) (2) (3)	せつ明文の 内ようを読み取る	叙述を基に 段落の内容を捉えて いる。	70.1	68.4	65.8			1.8	4.3
			叙述を基に 文章の内容を捉えて いる。	90.0	89.7	91.2			0.3	-1.2
			情報と情報 との関係について理 解し、中心となる語 や文を見付けて要約 している。	54.6	52.7	54.5			1.9	0.1
6	(1) (2)	調べ方につ いて話し合う	情報と情報 との関係について理 解し、話し手が伝え たいこと の中心を捉えて いる。	37.4	36.6	36.7			0.9	0.7
			互いの意見 の共通点や相違点に 着目して、考えをま とめている。	49.6	48.1	47.6			1.5	2.0
7		文章を書く	指定された 長さで文章を 書いている。	61.2	56.7	48.6			4.5	12.6
			段落の役割 について理解し、2 段落構成で文章を 書いている。	49.4	45.7	43.6			3.8	5.8
			自分の考え を明確にして文章 を書いている。	79.0	75.9	71.5			3.1	7.5
			自分の考え とそれを支える理由 や事例を明確に して文章を 書いている。	72.8	69.2	64.2			3.6	8.6

【小学4年生 算数】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市 県 全国			倉敷市と県との正答率の差			全国との差 正答率
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	
1	(1)	大きい数・小数・分数	十進位取り記数法について理解している。	81.8	81.9	78.2			0.0	3.6
	(2)		数の相対的な大きさについて理解している。	87.2	85.6	82.9			1.6	4.3
2	(1)	大きい数・小数・分数	小数のしくみを理解している。	90.8	89.1	90.7			1.7	0.1
	(2)		小数の相対的な大きさについて理解している。	84.3	85.1	84.1			-0.8	0.2
3	(1)	大きい数・小数・分数	分子が1の分数が何個で1になるかを理解している。	58.8	56.3	54.9			2.5	3.9
	(2)		数直線上に示された分数を読み取ることができる。	72.7	68.4	67.0			4.3	5.7
4	(1)	たし算・ひき算	3けた+3けた=4けた(繰り上がり3回)の計算ができる。	88.4	88.4	86.0			0.0	2.4
	(2)		4けた-3けた=3けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	73.6	72.5	66.1			1.1	7.5
	(3)	かけ算	2けた×1けた=3けたの計算ができる。	84.5	83.5	80.6			1.0	3.9
	(4)		2けた×2けた=4けたの計算ができる。	67.3	67.1	63.0			0.2	4.3
	(5)	わり算	2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	93.6	93.8	92.1			-0.3	1.5
	(6)	大きい数・小数・分数	整数-小数第一位の計算ができる。	49.0	39.4	35.9	9.6			13.1
	(7)		同分母の真分数+真分数=真分数の計算ができる。	95.6	95.6	93.7			0.0	1.9
5	(1)	わり算	文章問題を解くために除法の立式をしている。	75.5	72.3	72.6			3.2	2.9
	(2)		除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	76.5	77.3	74.5			-0.7	2.0
6		かけ算	35×4の暗算のしかたを説明している。	53.1	51.6	53.6			1.5	-0.5
7		□を使った式	□を使った加法の式に合った文章問題を選んでいる。	79.4	78.4	78.3			1.0	1.1
8	(1)	□を使った式	□を使った文章問題(乗法の場面)を表した図の構造をとらえている。	72.8	70.6	71.3			2.2	1.5
	(2)		□を使って、乗法の式に表している。	65.0	62.8	63.4			2.2	1.6
9	(1)	円と球・三角形	円の直径について理解している。	82.0	83.2	81.9			-1.3	0.1
	(2)		大きさが同じ6個のボールがぴったり入っている箱の横の長さから、ボールの半径を求めることができる。	61.1	61.2	59.9			-0.1	1.2
10		円と球・三角形	二等辺三角形を作図することができる。	90.8	90.3	86.2			0.5	4.6
11	(1)	時こくと時間	2つの時刻の間の時間を求めることができる。	79.3	77.2	76.9			2.0	2.4
	(2)		1分=60秒の関係を理解している。	82.2	82.8	84.0			-0.6	-1.8
12		長さ・重さ	地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	86.5	80.9	80.5			5.5	6.0
13	(1)	長さ・重さ	はかりの目盛りの読み方を理解している。	86.2	85.6	86.0			0.6	0.2
	(2)		身近にあるものの重さを推察して、適切な単位を使って表すことができる。	65.6	66.0	66.7			-0.5	-1.1
14	(1)	表とぼうグラフ	棒グラフで、1目盛りの表す数がわかる。	90.2	89.1	88.4			1.2	1.8
	(2)		棒グラフを読み取り、2番目に多かった組を指摘することができる。	89.6	89.1	88.0			0.5	1.6
15	(1)	円と球・三角形	円の半径とコンパスの使い方について理解している。	77.8	76.3	75.3			1.5	2.5
	(2)		円の中心と円周上の2点を結んでできる三角形が二等辺三角形になる理由を説明している。	15.8	15.9	13.7			-0.1	2.1
16		わり算	余りを切り上げて処理する問題ができ、その理由を説明している。	64.2	62.1	62.8			2.1	1.4

【小学5年生 国語】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話し合いの内 よきを聞き取る	話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	88.2	87.5	87.7			0.7	0.5
	(2)		話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	92.9	92.4	93.0			0.4	-0.1
	(3)		司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して、考えをまとめている。	45.7	45.3	46.1			0.4	-0.4
2	(1)	漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	98.7	98.6	98.6			0.1	0.1
				97.9	97.4	97.3			0.5	0.6
				97.8	98.0	97.5			-0.2	0.3
	(2)	漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	82.8	83.2	69.8			-0.4	13.0
				60.3	62.1	77.6			-1.8	-17.3
				70.9	71.1	81.1			-0.2	-10.2
3	(1)	言葉の学習	連体修飾語について理解している。	68.7	69.9	69.6			-1.2	-0.9
			連用修飾語について理解している。	23.9	24.0	20.7			0.0	3.2
			気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	80.5	80.5	81.5			0.0	-1.0
			ことわざの意味を知り、正しく使っている。	67.8	69.1	68.7			-1.4	-0.9
			漢字辞典の使い方を理解している。	79.4	79.6	76.9			-0.2	2.5
4	(1)	物語の内よ きを聞き取る	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	47.8	48.1	50.7			-0.3	-2.9
			登場人物の性格について、具体的に想像している。	86.5	86.4	88.8			0.1	-2.3
			文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	88.0	87.3	88.7			0.7	-0.7
5	(1)	説明文の内よ きを聞き取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。	75.3	75.4	77.3			-0.1	-2.0
			叙述を基に段落相互の関係を捉えている。	75.6	75.9	77.7			-0.3	-2.1
			情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	64.2	63.4	66.1			0.8	-1.9
6	(1)	調査の結果を もとに話し合う	情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話している。	38.6	37.2	36.1			1.5	2.5
			意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	42.9	41.9	39.6			1.0	3.3
7	(1)	文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	62.3	59.7	52.5			2.6	9.8
			段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	54.2	50.8	41.8			3.5	12.4
			内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書いている。	57.2	54.5	50.0			2.7	7.2
			内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書いている。	38.7	37.4	32.7			1.3	6.0



【小学5年生 算数】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市 県 全国			倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	億と兆・がい数の表し方	位取りの表を使って、命数法で書かれた数を記数法で表すことができる。	79.2	78.2	77.6			1.0	1.6
	(2)		数の相対的な大きさについて理解している。	55.1	51.7	47.8			3.3	7.3
2		分数	与えられた分数を数直線上に示すことができる。	92.9	91.6	90.3			1.3	2.6
3		小数	小数を10倍した数を求めることができる。	87.3	89.1	78.1			-1.8	9.2
4		分数	整数、仮分数、帯分数、真分数の大小比較をしている。	49.6	47.6	43.5			2.0	6.1
5	(1)	億と兆・がい数の表し方	千の位までの概数の表し方を理解している。	78.7	81.2	77.4			-2.5	1.3
	(2)		概数に対応する数の範囲を理解している。	59.7	57.3	53.4			2.5	6.3
6	(1)	わり算・計算のきまり	3けた÷2けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	63.9	62.8	59.9			1.0	4.0
	(2)	小数	小数第一位+小数第二位の計算ができる。	88.3	87.5	83.9			0.8	4.4
	(3)	分数	帯分数-真分数=真分数(繰り下がりあり)の同分母分数の計算ができる。	82.5	84.1	78.0			-1.6	4.5
	(4)	小数	小数第一位×整数の計算ができる。	74.6	73.0	70.2			1.6	4.4
	(5)		小数第二位÷整数=小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	65.2	64.0	61.5			1.1	3.7
7	(1)	簡単な場合についての割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	71.6	71.1	67.3			0.5	4.3
	(2)		図を使って、基準量を求めるための除法の立式ができる。	70.4	70.4	70.0			0.0	0.4
8		簡単な場合についての割合	2つの数量の関係を、もとの大きさの何倍になったかを考えて比べることができる。	48.6	49.3	50.4			-0.7	-1.8
9	(1)	わり算・計算のきまり	四則や( )の混じった式の計算順序を理解している。	68.4	69.5	68.2			-1.1	0.2
	(2)		分配法則を理解している。	52.5	49.6	45.9			2.9	6.6
10	(1)	角の大きさ	分度器の中に示された角の大きさの目盛りの読み取り方を理解している。	85.3	84.0	81.9			1.3	3.4
	(2)		360°より小さい角の大きさを求めている。	79.3	77.6	77.4			1.7	1.9
11	(1)	面積	教室のおよその面積を選んでいる。	39.2	35.7	36.0			3.5	3.2
	(2)		面積の単位の関係を説明している。	17.8	19.3	20.2			-1.5	-2.4
12		面積	複合図形で、面積の求め方や式を表した図を選んでいる。	78.0	76.7	71.9			1.3	6.1
13		いろいろな形	直方体のある面に平行な辺を理解している。	62.1	62.9	60.0			-0.8	2.1
14		いろいろな形	平行四辺形の作図ができる。	60.0	53.2	53.7			6.8	6.3
15	(1)	変わり方調べ	伴って変わる2つの数量の一方の値から、もう一方の値を求めることができる。	84.2	83.3	81.5			0.8	2.7
	(2)		伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことができる。	61.7	59.1	56.2			2.7	5.5
16	(1)	折れ線グラフと表	折れ線グラフから変わり方を読み取ることができる。	44.6	48.6	52.3			-4.0	-7.7
	(2)		2つの折れ線グラフから、必要なことを読み取ることができる。	65.1	64.9	61.5			0.2	3.6
17	(1)	折れ線グラフと表	図書室を、先週利用した人数と、今週利用した人数の違いを求めるのに必要な二次元表の欄を示し、その求め方を説明している。	20.9	20.0	14.6			0.8	6.3
	(2)		二次元表の読み方を理解している。	74.4	73.4	69.6			0.9	4.8
18	(1)	分数	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、分数の加法を整数の加法に直して処理する方法を説明している。	30.9	29.0	23.6			1.9	7.3
	(2)	小数	乗法の性質を理解している。	58.9	55.2	50.0			3.6	8.9

【中学1年生 国語】

大問 番号	中間 番号	問題の内容	出題のねらい	市 県 全国			倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	インタビューの内容を聞き取る	話の内容を捉えている。	74.7	75.2	75.1			-0.6	-0.4
	(2)		意図に応じて、質問を工夫している。	59.1	60.8	59.8			-1.7	-0.7
	(3)		意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている。	19.7	20.9	18.8			-1.2	0.9
2	(1)	漢字を読む	小学校で学習した漢字を正しく読んでいる。	82.0	83.9	85.9			-1.9	-3.9
				71.0	74.5	72.6			-3.5	-1.6
				94.1	93.4	91.8			0.8	2.3
	(2)	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	76.2	74.5	69.6			1.7	6.6
				90.6	89.5	87.1			1.1	3.5
				60.5	64.9	62.0			-4.4	-1.5
3	(1)	文法・語句に関する事項	連用修飾語について理解している。	27.5	27.0	23.9			0.5	3.6
				43.6	45.2	44.5			-1.6	-0.9
				71.2	74.3	73.4			-3.2	-2.2
				58.1	60.9	59.2			-2.8	-1.1
4	(1)	説明的な文章の内容を読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。	54.7	56.1	54.6			-1.4	0.1
				34.4	36.1	35.0			-1.8	-0.6
				79.9	79.0	76.4			0.8	3.5
5	(1)	文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	66.0	66.7	67.5			-0.7	-1.5
				56.5	57.2	57.7			-0.7	-1.2
				50.3	50.9	49.4			-0.6	0.9
6	(1)	資料をもとに話し合う	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	66.4	66.8	67.2			-0.4	-0.8
				39.6	40.1	38.3			-0.5	1.3
				29.0	33.4	32.5			-4.5	-3.5
7	(1)	文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	64.3	65.2	61.2			-0.9	3.1
				55.6	53.8	50.2			1.8	5.4
				31.3	34.4	32.3			-3.1	-1.0
				43.9	45.6	44.2			-1.7	-0.3

【中学1年生 数学】

大問 番号	中問 番号	問題の内容	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	整数の性質	2つの整数の最大公約数を求めることができる。	75.6	76.9	72.7			-1.4	2.9
	(2)		2つの整数の最小公倍数に関する文章題を解くことができる。	84.5	85.6	85.8			-1.1	-1.3
2		小数・分数の計算	分数×分数に関する文章題を解くために立式することができる。	60.4	61.6	52.7			-1.2	7.7
3	(1)	小数・分数の計算	小数第一位÷小数第一位＝小数第一位の計算ができる。	80.0	82.5	78.9			-2.5	1.1
	(2)		同分母分数の減法(約分あり)の計算ができる。	93.5	94.7	92.8			-1.1	0.7
	(3)		異分母分数の加法(約分なし)の計算ができる。	78.5	81.9	78.8			-3.4	-0.3
	(4)		分数×分数(約分あり)の計算ができる。	90.3	91.6	89.7			-1.3	0.6
	(5)		分数÷分数(約分あり)の計算ができる。	89.5	91.2	88.8			-1.6	0.7
4		小数・分数の計算	小数の除法の文章問題を表した図を読み取ることができる。	66.7	67.1	61.6			-0.3	5.1
5	(1)	文字と式	文字を使った式が表す場面を選ぶことができる。	87.4	88.0	85.3			-0.6	2.1
	(2)		2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	58.2	64.4	63.1			-6.2	-4.9
6	(1)	面積と体積	円の面積を求める式を選ぶことができる。	86.6	88.8	87.0			-2.1	-0.4
	(2)		底面積と高さから角柱の体積を求めることができる。	62.4	63.8	58.4			-1.4	4.0
7		面積と体積	複雑な立体の体積を2つの直方体に分けて求めることができる。	81.0	81.5	81.3			-0.5	-0.3
8		平面図形	直線が180°であることと、四角形の4つの内角の和が360°であることを利用して、四角形の内角の大きさを求めることができる。	74.5	76.4	74.2			-1.9	0.3
9		平面図形	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	79.1	81.5	80.6			-2.4	-1.5
10		平面図形	縮図を使って実際の直線距離を求めることができる。	69.3	71.1	68.5			-1.8	0.8
11	(1)	平面図形	点対称な図形について、対応する辺を求めることができる。	77.4	81.4	81.1			-4.0	-3.7
	(2)		線対称な図形について、対称の軸が何本あるかを求めることができる。	68.7	62.8	59.0			5.9	9.7
12		単位量あたりの大きさ	単位量あたりの値を求める式を選ぶことができる。	40.3	40.1	35.6			0.3	4.7
13		単位量あたりの大きさ	単位の違う速さと時間から道のりを求める式の誤りを説明することができる。	61.3	63.8	64.5			-2.5	-3.2
14	(1)	百分率	基準量と比較量から、割合を求めることができる。	58.4	57.2	54.5			1.2	3.9
	(2)		百分率について理解し、割引後の代金を求める式を選ぶことができる。	68.5	67.4	66.2			1.1	2.3
15	(1)	比と比例・反比例	8:6と等しい比ではないものを選ぶことができる。	66.8	69.0	67.3			-2.2	-0.5
	(2)		比の考えを利用して、2つの数量を求めることができる。	59.5	63.4	61.0			-3.8	-1.5
16	(1)	比と比例・反比例	比例の関係を、xとyを使って式に表すことができる。	51.5	54.3	47.9			-2.8	3.6
	(2)		反比例についての表を読み取り、表にあてはまる数を求めることができる。	78.5	80.2	78.1			-1.7	0.4
17		平均・場合の数	表から平均を求めることができる。	81.8	82.3	77.9			-0.4	3.9
18	(1)	平均・場合の数	3種類の缶詰を並べる順序が何通りあるか求めることができる。	74.0	77.1	76.7			-3.1	-2.7
	(2)		4種類の中から2種類の花を選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。	51.8	58.9	55.7			-7.1	-3.9
19	(1)	データの活用	ドットプロットから、中央値を読み取ることができる。	42.9	46.9	42.9			-4.0	0.0
	(2)		ヒストグラムを正しく読み取ることができる。	83.6	84.2	83.9			-0.6	-0.3
20	(1)	いろいろなグラフの読み取り	折れ線グラフを読み取ることができる。	81.0	80.2	79.0			0.8	2.0
	(2)		欲しいデータを求めるために必要な正しい情報を選ぶことができる。	62.1	64.7	58.2			-2.6	3.9
	(3)		帯グラフを読み取ることができる。	38.5	39.2	31.2			-0.7	7.3

【中学2年生 国語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	話し合いの内容 内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。	89.9	90.6	92.4			-0.7	-2.5
	(2)		自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を 考えている。	92.3	92.9	93.8			-0.6	-1.5
	(3)		話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結 び付けて考えをまとめている。	31.6	32.7	31.6			-1.0	0.0
2	(1)	漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	57.3	62.2	57.8			-4.9	-0.5
				88.8	88.5	92.5			0.3	-3.7
				99.3	99.3	98.8			0.0	0.5
	(2)	漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	80.0	76.4	71.1			3.6	8.9
				79.5	80.7	79.7			-1.3	-0.2
				72.8	69.3	60.5			3.5	12.3
3	(1)	文法・語句に 関する事項	歴史的仮名遣いについて理解している。	89.8	91.0	89.4			-1.2	0.4
			単語について理解している。	83.1	78.5	64.6			4.6	18.5
			文節の関係について理解している。	47.5	47.5	43.0			0.0	4.5
			故事成語について理解している。	83.6	85.0	84.0			-1.5	-0.4
4	(1)	説明的な文章 の内容を読み 取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。	56.3	58.7	57.3			-2.4	-1.0
			情報と情報との関係について理解し、必要な情報に 着目して、内容を解釈している。	57.1	57.0	53.6			0.1	3.5
			文章の構成や展開について、根拠を明確にして考え ている。	43.1	43.2	40.2			-0.1	2.9
5	(1)	文学的な文章 の内容を読み 取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	74.7	74.8	74.8			-0.1	-0.1
			文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを 確かなものになっている。	71.1	71.4	72.6			-0.2	-1.5
			表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	65.5	64.9	63.5			0.5	2.0
6	(1)	こま遊びにつ いてスピーチ をする	自分の考えが明確になるように、話の構成を考えてい る。	47.6	47.7	47.5			0.0	0.1
			相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりや すく伝わるように表現を工夫している。	72.9	72.9	70.7			0.0	2.2
			情報と情報との関係について理解し、自分の考えが 明確になるように、話の構成を考えている。	41.1	42.7	39.6			-1.6	1.5
7	(1)	文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	64.4	64.9	69.4			-0.5	-5.0
			2段落構成で文章を書いている。	61.3	60.0	64.3			1.4	-3.0
			読み取った内容を明確にして書いている。	56.3	57.6	59.8			-1.2	-3.5
			自分の考えを明確にして書いている。	56.4	56.2	61.0			0.2	-4.6

【中学2年生 数学】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1		正の数・負の数	四則計算の結果の特徴を的確に捉え、数の集合と四則計算の可能性について理解している。	72.9	73.0	71.5			-0.1	1.4
2	(1)	正の数・負の数	負の数の減法ができる。	87.3	87.4	81.8			-0.1	5.5
	(2)		負の数の累乗の計算ができる。	84.0	83.1	79.0			0.9	5.0
	(3)	文字式	1次式の減法ができる。	61.3	60.3	50.3			1.0	11.0
3		正の数・負の数	素因数分解ができる。	75.1	73.8	63.8			1.3	11.3
4	(1)	1次方程式	移項を必要としない1次方程式を解くことができる。	89.0	88.8	83.0			0.2	6.0
	(2)		1次方程式を解くことができる。	74.1	73.0	66.8			1.1	7.3
5		1次方程式	比例式を解くことができる。	69.7	67.7	62.1			2.0	7.6
6	(1)	正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	57.6	54.9	51.0			2.7	6.6
	(2)	文字式	数量の間の関係を不等式に表すことができる。	58.3	54.7	45.0			3.7	13.3
7		1次方程式	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	64.7	60.0	50.3			4.7	14.4
8		文字式	示された式に対応する図を選ぶことができる。	63.6	65.1	66.8			-1.5	-3.2
9		比例・反比例	関数について理解している。	35.0	38.2	34.9			-3.3	0.1
10		比例・反比例	比例の関係での、x、yの値の変化の関係について理解している。	58.1	57.1	58.2			1.0	-0.1
11	(1)	比例・反比例	比例の関係におけるx、yの値から、比例の式に表すことができる。	52.4	53.9	51.8			-1.5	0.6
	(2)		反比例の関係の表をもとに、xの値からyの値を求めることができる。	77.4	77.8	77.2			-0.4	0.2
	(3)		比例の式から、比例のグラフをかくことができる。	53.9	52.8	45.2			1.1	8.7
12		比例・反比例	異なる2つの水そうに水を入れるとき、満水になるまでの正しい関係を示したグラフを選ぶことができる。	52.4	53.4	50.1			-1.0	2.3
13		平面図形	対称移動における対称の軸について理解している。	79.3	79.8	78.1			-0.4	1.2
14		平面図形	角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。	26.9	30.0	30.6			-3.2	-3.7
15		空間図形	おうぎ形の面積を求めることができる。	48.4	47.0	38.1			1.4	10.3
16		空間図形	直方体の辺のねじれの位置関係について理解している。	79.1	78.5	74.3			0.6	4.8
17	(1)	空間図形	球の表面積を求める式を理解している。	47.2	47.2	45.8			0.0	1.4
	(2)		底面積が等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している。	63.2	63.4	59.9			-0.2	3.3
18	(1)	データの分布の傾向	累積度数について理解している。	49.2	51.1	47.2			-1.9	2.0
	(2)		度数分布表から、ある階級の相対度数を求める方法を理解している。	43.0	47.0	46.0			-4.0	-3.0
			中央値に関する説明の中から正しい文を選ぶことができる。	54.9	56.0	55.3			-1.1	-0.4
19	(1)	平面図形	線対称について理解している。	74.4	74.5	73.7			-0.1	0.7
	(2)		示された模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明することができる。	28.2	31.8	32.8			-3.6	-4.6
	(3)		示された模様の基となる三角形の模様を選ぶことができる。	62.1	64.4	61.9			-2.2	0.2
20	(1)	データの分布の傾向	階級の度数について理解している。	55.6	55.6	56.7			0.0	-1.1
	(2)		2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いる理由を理解している。	39.7	40.9	41.5			-1.2	-1.8
	(3)		示された考えが正しいことを、2つの度数折れ線から読み取った傾向をもとに、説明することができる。	35.3	37.3	36.9			-2.0	-1.6

【中学2年生 英語】

大問 番号	中間 番号	領域	出題のねらい	市	県	全国	倉敷市と県との正答率の差			全国との差
				正答率	正答率	正答率	-10	0	10	正答率
1	(1)	リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(数)	81.8	82.1	87.4			-0.3	-5.6
	(2)		絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(状況)	28.7	31.5	31.9			-2.8	-3.2
	(3)		絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(教科)	51.7	53.1	53.7			-1.4	-2.0
2	(1)	リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(どこにいるかとたずねられて)	44.7	47.8	51.3			-3.1	-6.6
	(2)		対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(何時に来たかとたずねられて)	56.5	57.9	58.8			-1.3	-2.3
	(3)		対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(彼はだれかとたずねられて)	43.6	47.1	52.4			-3.5	-8.8
3		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文の概要を聞き取ることができる。	90.7	91.4	97.3			-0.7	-6.6
4		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文の要点を聞き取ることができる。	45.5	48.3	53.9			-2.8	-8.4
5		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答えることができる。	11.6	15.0	11.4			-3.4	0.2
6	(1)	語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(一般動詞の過去形の疑問文)	53.5	51.2	47.4			2.3	6.1
			語形・語法を理解することができる。(疑問詞when)	55.9	58.5	61.8			-2.6	-5.9
			語形・語法を理解することができる。(be動詞were)	56.4	56.6	50.6			-0.2	5.8
			語形・語法を理解することができる。(代名詞の所有格)	42.2	41.5	41.7			0.7	0.5
	(2)	語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み取ることができる。	90.8	91.0	94.8			-0.2	-4.0
			英文の情報を正しく読み取ることができる。	89.2	89.6	93.6			-0.4	-4.4
7	(1)	さまざまな英文の読み取り	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	48.5	48.1	46.6			0.4	1.9
	(2)		必要な情報を読み取ることができる。	61.9	60.1	61.0			1.8	0.9
	(3)		対話の流れと表から、登場人物の適切な発言を選ぶことができる。	65.2	65.2	66.8			0.0	-1.6
			対話の流れと表から、適切な語句を選ぶことができる。	57.7	57.6	59.4			0.1	-1.7
8	(1)	長文の読み取り	チラシの内容を把握することができる。	59.3	60.5	61.8			-1.3	-2.5
	(2)		代名詞Theyの内容を把握することができる。	63.1	62.2	62.0			0.9	1.1
	(3)		チラシの概要を理解することができる。	73.4	71.9	72.0			1.4	1.4
	(4)		読み取った内容をふまえて、対話文を完成させることができる。	27.1	29.4	28.6			-2.3	-1.5
9	(1)	単語の並べかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。(～'s+名詞)	43.0	45.2	42.6			-2.2	0.4
	(2)		英文を正しい語順で書くことができる。(現在進行形の否定文)	88.0	87.0	89.5			0.9	-1.5
10	(1)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。(whichを使ってどちらかをたずねる)	61.0	61.1	55.1			-0.1	5.9
	(2)		対話の流れに合った英文を書くことができる。(「いっしょに行くことができるか」と相手を誘う)	19.9	21.4	17.8			-1.5	2.1
11	(1)	情報に基づいて書く英作文	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。	55.4	54.2	53.0			1.2	2.4
	(2)		与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。	34.7	34.1	31.1			0.6	3.6
	(3)		与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。	53.8	51.5	44.5			2.2	9.3
12		3文以上の英作文	自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表すことができる。	70.0	71.4	73.2			-1.3	-3.2
				52.9	52.5	49.5			0.4	3.4
				44.5	45.1	42.5			-0.6	2.0

## 4 考察

## 【小学校国語】

成果 ○県平均正答率以上、かつ85%以上の設問 ☆県平均正答率を3%以上上回った設問

### 「3年生」

○①	話し手が知らせたいことを落とさないように聞く。	【84.3%(R2) 89.1%(R3) <b>90.4%(R4)</b> 】
○②(1)	第2学年の漢字を読む。(3問の平均)	【94.3%(R2) 90.5%(R3) <b>93.9%(R4)</b> 】
※②(2)	第2学年の漢字を書く。(3問の平均)	【73.3%(R2) 75.5%(R3) <b>74.4%(R4)</b> 】
○③(1)	片仮名で書く語の種類を知り、正しく書く。	【89.1%(R2) 86.1%(R3) <b>89.0%(R4)</b> 】
☆⑦	指定された長さで文章を書く。	【+4.7(R2) +6.0(R3) <b>+7.8(R4)</b> 】
☆⑦	経験・想像したことから書くことを見付け、文章を書く。	【+1.4(R2) +4.8(R3) <b>+5.9(R4)</b> 】
☆⑦	自分の思いや考えが明確になるように、文章を書く。	【+1.5(R2) +5.0(R3) <b>+6.8(R4)</b> 】

### 「4年生」

○①	話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	【93.2%(R2) 67.4%(R3) <b>90.1%(R4)</b> 】
○②(1)	第3学年の漢字を読む。(3問の平均)	【66.9%(R2) 87.7%(R3) <b>94.2%(R4)</b> 】
※②(2)	第3学年の漢字を書く。(3問の平均)	【65.4%(R2) 77.5%(R3) <b>73.1%(R4)</b> 】
○③(2)	語彙を豊かにしている。(言葉の学習)	【 - (R2) 91.2%(R3) <b>88.6%(R4)</b> 】
○⑤(2)	叙述を基に文章の内容を捉えている。	【 - (R2) 77.5%(R3) <b>90.0%(R4)</b> 】
☆⑦	指定された長さで文章を書く。	【+5.4(R2) +6.2(R3) <b>+4.5(R4)</b> 】
☆⑦	段落の役割を理解し2段落構成で文章を書く。	【+4.6(R2) +5.2(R3) <b>+3.8(R4)</b> 】
☆⑦	自分の考えを明確にして文書を書く。	【+3.6(R2) +3.4(R3) <b>+3.1(R4)</b> 】
☆⑦	自分の考えの理由を明確にして文章を書く。	【+3.8(R2) +4.2(R3) <b>+3.6(R4)</b> 】

### 「5年生」

○①(1)	話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	【89.0%(R2) 83.3%(R3) <b>88.2%(R4)</b> 】
○①(2)	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	【82.1%(R2) 57.9%(R3) <b>92.9%(R4)</b> 】
○②(1)	第4学年の漢字を読む。(3問の平均)	【91.2%(R2) 93.6%(R3) <b>98.1%(R4)</b> 】
※②(2)	第4学年の漢字を書く。(3問の平均)	【66.0%(R2) 61.6%(R3) <b>71.3%(R4)</b> 】
○④(2)	登場人物の性格について、具体的に想像している。	【74.1%(R2) 89.9%(R3) <b>88.0%(R4)</b> 】
○④(3)	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	【 - (R2) 65.6%(R3) <b>88.0%(R4)</b> 】
☆⑦	2段落構成で文章を書いている。	【+5.0(R2) +3.1(R3) <b>+3.5(R4)</b> 】

課題 ●県平均正答率以下、または、59%以下の設問 ★県平均正答率を3%以上下回った設問

### 「3年生」

●③(2)	漢字の正しい筆順を理解している。	【87.2%(R2) 69.0%(R3) <b>64.0%(R4)</b> 】
●③(3)	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	【 - (R2) 93.4%(R3) <b>64.0%(R4)</b> 】
●③(4)	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	【 - (R2) 61.7%(R3) <b>36.2%(R4)</b> 】
●④(3)	文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	【 - (R2) - (R3) <b>50.6%(R4)</b> 】
●⑥(1)	事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	【62.1%(R2) 81.9%(R3) <b>30.8%(R4)</b> 】
●⑥(2)	語と語や文と文との続き方に注意しながら、文章を書いている。	【 - (R2) - (R3) <b>23.1%(R4)</b> 】

### 「4年生」

●③(4)	漢字のへんやつくりを理解している。(言葉の学習)	【 - (R2) 85.1%(R3) <b>85.8%(R4)</b> 】
●③(4)	国語辞典の使い方を理解している。	【70.1%(R2) 76.3%(R3) <b>52.9%(R4)</b> 】
●④(2)	場面の様子について、叙述を基に捉えている。	【 - (R2) 74.4%(R3) <b>18.1%(R4)</b> 】
●④(3)	文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	【 - (R2) 87.2%(R3) <b>55.6%(R4)</b> 】
●⑤(3)	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	【 - (R2) 55.2%(R3) <b>54.6%(R4)</b> 】
●⑥(1)	情報と情報との関係について理解し、話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	【 - (R2) 67.4%(R3) <b>37.4%(R4)</b> 】
●⑥(2)	互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	【 - (R2) - (R3) <b>49.6%(R4)</b> 】
●⑦(2)	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	【57.6%(R2) 58.9%(R3) <b>49.4%(R4)</b> 】



「5年生」

- ①(3) 司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目して、考えをまとめている。 【49.1%(R2) 67.0%(R3) 45.7%(R4)】
- ②(2) 第4学年の漢字を書く。(3問の平均) 【66.0%(R2) 61.6%(R3) 71.3%(R4)】
- ③(1) 連体修飾語について理解している。 【63.9%(R2) 57.6%(R3) 68.7%(R4)】
- ③(2) 連用修飾語について理解している。 【24.2%(R2) 47.9%(R3) 23.9%(R4)】
- ③(4) ことわざの意味を知り、正しく使っている。 【 - (R2) 81.2%(R3) 67.8%(R4)】
- ③(5) 漢字辞典の使い方を理解している。 【75.4%(R2) 74.8%(R3) 79.4%(R4)】
- ④(1) 登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。 【74.1%(R2) 89.9%(R3) 47.8%(R4)】
- ⑤(1) 叙述を基に文章の内容を捉えている。 【90.2%(R2) 79.0%(R3) 75.3%(R4)】
- ⑤(2) 叙述を基に段落相互の関係を捉えている。 【45.6%(R2) 44.2%(R3) 75.6%(R4)】
- ⑥(1) 情報と情報との関係を理解し理由や事例を挙げながら話す。 【58.1%(R2) 46.3%(R3) 38.6%(R4)】
- ⑥(2) 意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【55.9%(R2) 55.8%(R3) 42.9%(R4)】
- ⑦(2) 段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。 【64.6%(R2) 64.1%(R3) 54.2%(R4)】
- ⑦(3) 内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書いている。 【 - (R2) - (R3) 57.2%(R4)】
- ⑦(4) 内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書いている。 【 - (R2) - (R3) 38.7%(R4)】

【考察】

- ・「聞くこと」の設問は、全学年で9割近く正答し県平均正答率も上回っていることから、指導の成果が表れていることが推察される。
- ・「書くこと」の設問は、多くの設問で県平均正答率を3%以上上回っていることから、指導の成果が表れていることが推察される。
- ・前学年の漢字を読む設問では、どの学年も平均正答率が90%以上である。一方で、漢字を書く設問の平均正答率は60%～80%であることから、今後も継続的な指導の充実が求められる。
- ・県平均正答率を下回っている設問の中でも特に言葉の特徴や使い方に関する設問で課題が見られるため、その課題解決に向けた、指導方法の改善や、指導時数の見直し等が必要であると考えられる。

小学校国語 県平均正答率と比べて差が大きかった設問

【3年 県平均正答率を上回った設問】

3年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	指定された長さで文章を書いている。	書くこと	+7.8
2	自分の思いや考えが明確になるように、文章を書いている。	書くこと	+6.8
3	経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、文章を書いている。	書くこと	+5.9

【3年 県平均正答率を下回った設問】

3年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	第2学年に配当されている漢字を正しく書いている。「教室」	言葉の特徴や使い方に関する事項	-1.0
2	漢字の正しい筆順を理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	-0.3
3	身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	言葉の特徴や使い方に関する事項	-0.1

【4年 県平均正答率を上回った設問】

4年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。「研究」	言葉の特徴や使い方に関する事項	+5.3
2	指定された長さで文章を書いている。	書くこと	+4.5
3	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	書くこと	+3.8

【4年 県平均正答率を下回った設問】 ※差がないものを含む

4年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	漢字のへんやつくりを理解している。	我が国の言語文化に関する事項	-0.9
2	第3学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。「速い」	言葉の特徴や使い方に関する事項	-0.4
3	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	話すこと・聞くこと	0.0
3	第3学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。「交代」	言葉の特徴や使い方に関する事項	0.0

【5年 県平均正答率を上回った設問】

5年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	書くこと	+3.5
2	内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書いている。	書くこと	+2.7
3	指定された長さで文章を書いている。	書くこと	+2.6

【5年 県平均正答率を下回った設問】

5年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。「札」	言葉の特徴や使い方に関する事項	-1.8
2	ことわざの意味を知り、正しく使っている。「善は急げ」	我が国の言語文化に関する事項	-1.4
3	連体修飾語について理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	-1.2

【小学校算数】

成果 ○県平均正答率を3%以上上回った設問  
 ☆前年度までの同じ設問と比較して著しく市平均正答率が上昇した設問

「3年生」

○③ 数の大小と不等号の意味を理解している。 【 +1.4 (R2) +3.2 (R3) +5.9 (R4)】

「4年生」

○③(2) 数直線上に示された分数を読み取ることができる。 【 - (R2) +4.0 (R3) +4.3 (R4)】

○④(6) 整数—小数第一位の計算ができる。 【 +4.2 (R2) +5.6 (R3) +9.6 (R4)】

○⑤(1) 文章問題を解くために除法の立式をしている。 【 - (R2) - (R3) +3.2 (R4)】

○☆⑩ 地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。 【 +0.5 (R2) - (R3) +5.5 (R4)】  
 【 80.2% (R2) - (R3) 86.5% (R4)】

「5年生」

○①(2) 数の相対的な大きさについて理解している。 【 +2.0 (R2) +0.4 (R3) +3.3 (R4)】

○④(1) 教室のおよその面積を選んでい。 【 - (R2) +5.0 (R3) +3.5 (R4)】

○④ 平行四辺形の作図ができる。 ※R3 ひし形 R2 平行四辺形 【 +3.7 (R2) +3.6 (R3) +6.8 (R4)】

○⑧(2) 乗法の性質を理解している。 【 - (R2) - (R3) +3.6 (R4)】

課題 ●市平均正答率40%未満の設問 ★市平均正答率が県平均正答率を1%以上下回った設問

「3年生」

★④ もとの大きさの1/4の大きさの意味を理解している。 【 -0.7 (R2) +4.3 (R3) -2.5 (R4)】

★⑥ 九九表のきまりに気づき、それを生かして九九を構成している。 【 +3.3 (R2) - (R3) -1.1 (R4)】

★⑨ 乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。 【 +1.3 (R2) +1.2 (R3) -1.5 (R4)】

★⑩ 方眼に正方形をかくことができる。 【 +0.8 (R2) -0.6 (R3) -1.1 (R4)】

●⑫(2) 直方体のあてはまる辺の長さを使って、問題を解いている。 【 - (R2) - (R3) 24.2% (R4)】

「4年生」

★⑨(1) 円の直径について理解している。 【 ±0.0 (R2) +1.1 (R3) -1.3 (R4)】

●⑫(2) 円の中心と円周上の2点を結んでできる三角形が二等辺三角形になる理由を説明している。 【 - (R2) - (R3) 15.8% (R4)】

「5年生」

★③ 小数を10倍した数を求めることができる。 【 -0.8 (R2) - (R3) -1.8 (R4)】

★⑤(1) 千の位までの概数の表し方を理解している。 【 -0.1 (R2) - (R3) -2.5 (R4)】

★⑥(3) 帯分数—真分数=真分数(繰り下がりあり)の同分母分数の計算ができる。 【 +1.0 (R2) - (R3) -1.6 (R4)】

★⑨(1) 四則や( )の混じった式の計算順序を理解している。 【 +1.7 (R2) +2.6 (R3) -1.1 (R4)】

●⑫(1) 教室のおよその面積を選んでい。 【 - (R2) 41.7% (R3) 39.2% (R4)】

●⑫(1) 面積の単位の間係を説明している。 【 35.2% (R2) - (R3) 17.8% (R4)】

- ★⑩(1) 折れ線グラフから変わり方を読み取ることができる。 【 +0.7 (R2) +1.2 (R3) -4.0 (R4) 】
- ⑪(1) 図書室を、先週利用した人数と、今週利用した人数の違いを求め 【 - (R2) - (R3) 20.9% (R4) 】  
るのに必要な二次元表の欄を示し、その求め方を説明している。
- ⑫(1) 示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、分数の 【 - (R2) - (R3) 30.9% (R4) 】  
加法を整数の加法に直して処理する方法を説明している。

### 【考察】

- ・地図から道のりを読み取って、その和を求める設問では、平成29年度の調査で県平均正答率との差が-5.1%あったが、令和4年度は+5.5%と大幅に改善されており、指導の成果が表れていることが推察される。
- ・「図形」の領域は全ての学年で県平均正答率を下回った設問があることから、低学年の段階から系統を意識した指導の工夫が求められる。
- ・領域別でみると、小学5年生「データの活用」で県平均正答率を大きく下回っており、目的に応じてデータを収集、分類・整理し、結果を適切に表現する力や統計データの特徴を読み取り判断する力等を高めることができるよう指導方法の見直しが必要であると考えられる。

### 小学校算数 県平均正答率と比べて差が大きかった設問

#### 【3年 県平均正答率を上回った設問】

3年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	数の大小と不等号の意味を理解している。	数と計算	+5.9
2	加法の結合法則を用いて、考え方に合うように式に括弧を書いている。	数と計算	+2.5
3	減法逆の加法の文章問題を表した図の構造をとらえることができる。	数と計算	+2.2

#### 【3年 県平均正答率を下回った設問】

3年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	もとの大きさの1/4の大きさの意味を理解している。	数と計算	-2.5
2	乗法の式に合った文章問題を選ぶことができる。	数と計算	-1.5
3	九九表のきまりに気づき、それを生かして九九を構成している。	数と計算	-1.1

#### 【4年 県平均正答率を上回った設問】

4年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	整数-小数第一位の計算ができる。	数と計算	+9.6
2	地図から道のりを読み取って、その和を求めることができる。	測定	+5.5
3	数直線上に示された分数を読み取ることができる。	数と計算	+4.3

#### 【4年 県平均正答率を下回った設問】

4年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	円の直径について理解している。	図形	-1.3
2	小数の相対的な大きさについて理解している。	数と計算	-0.8
3	除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる。	数と計算	-0.7

#### 【5年 県平均正答率を上回った設問】

5年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	平行四辺形の作図ができる。	図形	+6.8
2	乗法の性質を理解している。	数と計算	+3.6
3	教室のおよその面積を選んでいる。	図形	+3.5

#### 【5年 県平均正答率を下回った設問】

5年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	折れ線グラフから変わり方を読み取ることができる。	データの活用	-4.0
2	千の位までの概数の表し方を理解している。	数と計算	-2.5
3	小数を10倍した数を求めることができる。	数と計算	-1.8

【中学校国語】

成果 ○市平均正答率90%以上の設問、または県平均正答率を1%以上上回った設問  
 ☆作文における県平均正答率との差が、前年度より1%以上上昇した設問

「1年生」

- ②(1) 小学校で学習した漢字を正しく読んでいる。(3問の平均) 【 85.0%(R2) 91.9%(R3) 82.4%(R4) 】  
 「努める」(94.1%)
- ②(2) 小学校で学習した漢字を正しく書いている。(3問の平均) 【 67.2%(R2) 77.1%(R3) 75.8%(R4) 】  
 「温暖」(76.2% 県+1.7) 「牛乳」(90.6% 県+1.1)
- ⑦ 段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。 【 -1.2(R2) +1.4(R3) +1.8(R4) 】

「2年生」

- ①(2) 自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。 【 - (R2) - (R3) 92.3%(R4) 】
- ②(1) 第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。(3問の平均) 【 90.2%(R2) 89.6%(R3) 81.8%(R4) 】  
 「頼む」(99.3%)
- ②(2) 小学校で学習した漢字を正しく書いている。(3問の平均) 【 71.5%(R2) 78.7%(R3) 77.4%(R4) 】  
 「半径」(80.0% 県+3.6) 「敬う」(72.8% 県+3.5)
- ③(2) 単語について理解している。 【 - (R2) +1.5(R3) +4.6(R4) 】
- ☆⑦ 指定された長さで文章を書いている。 【 -1.5(R2) -1.5(R3) -0.5(R4) 】
- ☆⑦ 自分の考えを明確にして書いている。 【 -1.2(R2) -1.9(R3) +0.2(R4) 】

課題 ●県平均正答率未滿かつ、市平均正答率50%未滿の設問  
 ★作文における県平均正答率との差が、前年度より1%以上下降した設問

「1年生」

- ①(3) 意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている。 県比較 【 - (R2) +0.1(R3) -1.2 (R4) 】  
 市正答率 【 - (R2) 61.1%(R3) 19.7% (R4) 】
- ③(2) 熟語の成り立ちについて理解している。 県比較 【 -0.5(R2) +0.2(R3) -1.6(R4) 】  
 市正答率 【 53.8%(R2) 80.2%(R3) 43.6%(R4) 】
- ④(2) 文章全体の構成を捉えている。 県比較 【 -0.3(R2) +0.6(R3) -1.8(R4) 】  
 市正答率 【 71.8%(R2) 70.0%(R3) 34.4%(R4) 】
- ⑥(2) 情報と情報との関係について理解し、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 県比較 【 - (R2) -0.2(R3) -0.5(R4) 】  
 市正答率 【 - (R2) 86.9%(R3) 39.6%(R4) 】
- ⑥(3) 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 県比較 【 -1.4(R2) - (R3) -4.5(R4) 】  
 市正答率 【 54.0%(R2) - (R3) 29.0%(R4) 】
- ★⑦ 指定された長さで文章を書いている。 県比較 【 -2.8(R2) +0.6(R3) -0.9(R4) 】  
 市正答率 【 58.1%(R2) 70.5%(R3) 64.3%(R4) 】
- 自分の考えを明確にして書いている。 県比較 【 -2.0(R2) +0.1(R3) -2.4(R4) 】  
 市正答率 【 69.8%(R2) 74.4%(R3) 37.6%(R4) 】

「2年生」

- ㊦(3) 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。
 

県比較	【 - (R2) - (R3) -1.0 (R4)】
市正答率	【 - (R2) - (R3) 31.6% (R4)】
- ㊧(3) 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(説明文)
 

県比較	【 - (R2) - (R3) -0.1 (R4)】
市正答率	【 - (R2) - (R3) 43.1% (R4)】
- ㊨(1) 自分の考えが明確になるように、話の構成を考えている。
 

県比較	【 - (R2) - (R3) -0.1 (R4)】
市正答率	【 - (R2) - (R3) 47.6% (R4)】
- ㊨(3) 情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考えている。
 

県比較	【 - (R2) - (R3) -1.6 (R4)】
市正答率	【 - (R2) - (R3) 41.1% (R4)】

【考察】

- ・一文を単語に分ける設問は、県平均正答率を大きく上回っており、中学1年生での学習が定着していることが推察される。
- ・文章を2段落構成で書く設問は、両学年ともに県平均正答率を上回っており、「書くこと」の指導の成果が表れていることが推察される。
- ・「話すこと」の設問は、「実際に質問するように」「実際に話すように」書くという条件が設けられていた。正答率が低かった中学1年生では、条件は満たしているものの、問われている内容（インタビューメモの中でまだ質問していないことを質問すること）に沿って答えられていない解答が69%と高く、問題の読み取りに課題があることが推察される。
- ・漢字に関する設問は、前の学年までの学習内容がほぼ定着しているが、「渡航」（読み）のような日常生活で馴染みがないような言葉や、「納める」（書き）のような同音異義語では正答率が低い。改善に向けて、他教科の学習で用いる際や、日常的な会話の中で用いる際に意識して問いかける等の工夫が考えられる。
- ・説明文では、「文章の構成」に関する設問において経年的に正答率が低いことから、文章全体の中でどのような役割を担う段落であるかという「構成」に関する指導を、引き続き行う必要があると考える。

中学校国語 県平均正答率と比べて差が大きかった設問

【1年 県平均正答率を上回った設問】

1年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	書くこと	+1.8
2	小学校で学習した漢字を正しく書いている。「温暖」	言葉の特徴や使い方に関する事項	+1.7
3	小学校で学習した漢字を正しく書いている。「牛乳」	言葉の特徴や使い方に関する事項	+1.1

【1年 県平均正答率を下回った設問】

1年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	話すこと・聞くこと	-4.5
2	小学校で学習した漢字を正しく書いている。「納める」	言葉の特徴や使い方に関する事項	-4.4
3	小学校で学習した漢字を正しく読んでいる。「探求」	言葉の特徴や使い方に関する事項	-3.5

【2年 県平均正答率を上回った設問】

2年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	単語について理解している。	言葉の特徴や使い方に関する事項	+4.6
2	小学校で学習した漢字を正しく書いている。「半径」	言葉の特徴や使い方に関する事項	+3.6
3	小学校で学習した漢字を正しく書いている。「敬う」	言葉の特徴や使い方に関する事項	+3.5

【2年 県平均正答率を下回った設問】

2年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。「渡航」	言葉の特徴や使い方に関する事項	-4.9
2	文章の内容について叙述を基に捉えている。	読むこと	-2.4
3	情報と情報との関係について理解し、自分の考えが明確になるように、話の構成を考えている。	話すこと・聞くこと	-1.6

【中学校数学】

成果 ○市平均正答率85%以上の設問 ☆県平均正答率を2%以上上回った設問

「1年生」

- ③(2) 同分母分数の減法(約分あり)の計算ができる。 【79.5%(R2) 80.2%(R3) 93.5%(R4)】
- ③(4) 分数×分数(約分あり)の計算ができる。 【 - (R2) - (R3) 90.3%(R4)】
- ③(5) 分数÷分数(約分あり)の計算ができる。 【86.7%(R2) 89.0%(R3) 89.5%(R4)】
- ⑤(1) 文字を使った式が表す場面を選ぶことができる。 【 - (R2) 77.0%(R3) 87.4%(R4)】
- ⑥(1) 円の面積を求める式を選ぶことができる。 【85.7%(R2) - (R3) 86.6%(R4)】
- ☆④(2) 線対称な図形について、対称の軸が何本あるかを求めることができる。 【-0.9(R2) - (R3) +5.9(R4)】

「2年生」

- ②(1) 負の数の減法ができる。 【87.3%(R2) 86.0%(R3) 87.3%(R4)】
- ④(1) 移項を必要としない1次方程式を解くことができる。 【93.8%(R2) 86.4%(R3) 89.0%(R4)】
- ☆⑤ 比例式を解くことができる。 【+0.9(R2) -0.7(R3) +2.0(R4)】
- ☆⑥(1) 負の数の大小関係について理解している。 【+3.3(R2) - (R3) +2.7(R4)】
- ☆⑥(2) 数量の間の関係を不等式に表すことができる。 【-1.1(R2) -0.1(R3) +3.7(R4)】
- ☆⑦ 与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立てることができる。 【+0.1(R2) -1.2(R3) +4.7(R4)】

課題 ●市平均正答率30%未満の設問 ★県平均正答率を3%以上下回った設問

「1年生」

- ★③(3) 異分母分数の加法(約分なし)の計算ができる。 【-1.7(R2) - (R3) -3.4(R4)】
- ★⑤(2) 2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。 【-1.6(R2) -3.1(R3) -6.2(R4)】
- ★④(1) 点対称な図形について、対応する辺を求めることができる。 【-0.9(R2) - (R3) -4.0(R4)】
- ★⑤(2) 比の考えを利用して、2つの数量を求めることができる。 【-2.6(R2) -3.3(R3) -3.8(R4)】
- ★⑧(1) 3種類の缶詰を並べる順序が何通りあるか求めることができる。 【-1.8(R2) -1.9(R3) -3.1(R4)】
- ★⑧(2) 4種類の中から2種類の花を選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。 【-3.4(R2) -3.0(R3) -7.1(R4)】

「2年生」

- ★④ 角の二等分線の性質を理解し、折り目の線を作図することができる。 市正答率 【35.2%(R2) - (R3) 26.9%(R4)】  
県比較 【-1.9(R2) - (R3) -3.2(R4)】
- ★⑨(2) 示された模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明することができる。 市正答率 【9.5%(R2) - (R3) 28.2%(R4)】  
県比較 【-2.9(R2) - (R3) -3.6(R4)】
- ★⑨ 関数について理解している。 【-2.5(R2) -2.0(R3) -3.3(R4)】
- ★⑩(1) 度数分布表から、ある階級の相対度数を求める方法を理解している。 【+3.0(R2) - (R3) -4.0(R4)】

**【考察】**

- ・中学1年生の「百分率」では、県平均正答率を上回っており、系統性を大切にした授業改善の成果が見られる。
- ・中学2年生の「1次方程式」では、県平均正答率を上回っていることから、日常生活や社会の事象を数学化して立式するような授業の展開が充実していることが推察される。
- ・中学1年生の「場合の数」を求める設問では、県に比べ平均正答率が低く、問題の条件に沿って思考することに課題が見られる。
- ・中学2年生の「データの活用」の領域に関する設問では、県に比べ平均正答率が低く、累積度数、相対度数の概念的な理解が不十分であることが推察される。

**中学校数学 県平均正答率と比べて差が大きかった設問****【1年 県平均正答率を上回った設問】**

1年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	線対称な図形について、対称の軸が何本あるかを求めることができる。	図形	+5.9
2	基準量と比較量から、割合を求めることができる。	変化と関係	+1.2
3	百分率について理解し、割引後の代金を求める式を選ぶことができる。	変化と関係	+1.1

**【1年 県平均正答率を下回った設問】**

1年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	4種類の中から2種類の花を選ぶときの選び方が何通りあるかを求めることができる。	データの活用	-7.1
2	2つの文字を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	数と計算	-6.2
3	点対称な図形について、対応する辺を求めることができる。	図形	-4.0
3	ドットプロットから、中央値を読み取ることができる。	データの活用	-4.0

**【2年 県平均正答率を上回った設問】**

2年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	与えられた文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することができる。	数と式	+4.7
2	数量の間の関係を不等式に表すことができる。	数と式	+3.7
3	負の数の大小関係について理解している。	数と式	+2.7

**【2年 県平均正答率を下回った設問】**

2年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	度数分布表から、ある階級の相対度数を求める方法を理解している。	データの活用	-4.0
2	示された模様どうしの関係を、回転移動を用いて説明することができる。	図形	-3.6
3	関数について理解している。	関数	-3.3

## 【中学校英語】

成果 ○県平均正答率または全国平均正答率を3%以上上回った設問

### 「2年生」

#### ○ 語形・語法の知識・理解

・㊦(1) 語形・語法を理解することができる。 全国比較【 +1.6 (R2) - (R3) +6.1 (R4)】

#### ○ 場面に応じて書く英作文

・㊨(1) which を使ってどちらかをたずねる。 全国比較【 - (R2) - (R3) +5.9 (R4)】

#### ○ 情報に基づいて書く英作文

・㊩(3) 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の can を使った肯定文を正確に書く。 全国比較【 - (R2) +5.8 (R3) +9.3 (R4)】

#### ○ 3文以上の英作文

・㊫(2) 自分の学校生活を含めて、まとまった内容で自己紹介する文を書き表す。 全国比較【 +0.1 (R2) +1.2 (R3) +3.4 (R4)】

課題 ●県平均正答率及び全国平均正答率を3%以上下回った設問

### 「2年生」

#### ●リスニング（内容理解）

・㊰(1) 絵（数）を適切に表している英文を聞き取る。 全国比較【 - (R2) - (R3) -5.6 (R4)】

(2) 絵（状況）を適切に表している英文を聞き取る。 全国比較【 -1.5 (R2) +0.6 (R3) -3.2 (R4)】

#### ●リスニング（対話文の応答）

・㊱(1) 対話の内容を聞き取り、適切に応答する。  
（どこにいるかとたずねられて） 全国比較【 - (R2) - (R3) -6.6 (R4)】

(3) 対話の内容を聞き取り、適切に応答する。  
（彼はだれかとたずねられて） 全国比較【 - (R2) - (R3) -8.8 (R4)】

#### ●リスニング（さまざまな英文の聞き取り）

・㊲ 英文の概要を聞き取る。 全国比較【 +0.5 (R2) -1.0 (R3) -6.6 (R4)】

・㊳ 英文の要点を聞き取る。 全国比較【 -2.4 (R2) -2.2 (R3) -8.4 (R4)】

・㊴ 英文の要点を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答える。 県比較【 +0.2 (R2) +0.7 (R3) -3.4 (R4)】

#### ●語彙の知識・理解

・㊶(2) 対話文の情報を正しく読み取る。 全国比較【 - (R2) - (R3) -4.0 (R4)】

(2) 英文の情報を正しく読み取る。 全国比較【 +1.6 (R2) - (R3) -4.4 (R4)】

### 【考察】

- ・与えられた情報に基づいて正確に英文を書いたり、対話の流れに合った英文を書いたりする設問の多くが、県及び全国平均正答率を上回っていることから、「書くこと」に関する指導が充実していることが推察される。
- ・語形・語法を理解し、適切なものを選択する設問の多くが全国平均正答率を上回っていることから、「知識・技能」に関する指導が充実していることが推察される。
- ・「聞くこと」について、与えられた情報や対話の内容を聞き取り適切に応答する設問に課題があることから、スクリプト（リスニングの原稿）を活用したり、繰り返し聞く機会を設けたりする等、聞き取る活動を充実していく必要があると考える。
- ・「聞くこと」について、英文を聞いて要点や概要を聞き取る設問に課題があることから、教師が授業を英語で行う時間を一層確保したり、授業である程度まとまった量の英語を聞かせる場面を増やしたりする等、要点や概要を聞き取ることができる言語活動を充実していく必要があると考える。
- ・「読むこと」において英文の情報を正しく読み取る設問の正答率が低いことから、新出単語の導入方法を工夫したり、文脈をふまえて読解させたりする等、読む言語活動の充実を図る必要があると考える。



中学校英語 県平均正答率と比べて差が大きかった設問

【2年 県平均正答率を上回ったもの】

2年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	語形・語法を理解することができる。(一般動詞の過去形の疑問文)	読むこと	+2.3
2	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制のcanを使った肯定文を正確に書くことができる。	書くこと	+2.2
3	必要な情報を読み取ることができる。	読むこと	+1.8

【2年 県平均正答率を下回ったもの】

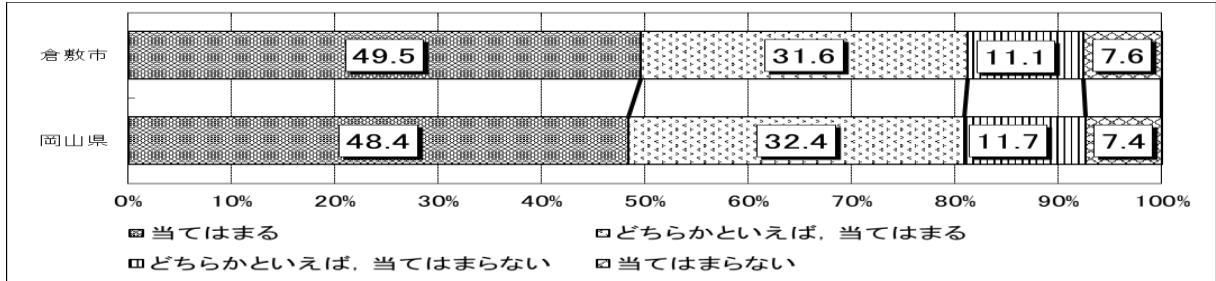
2年	出題のねらい	領域	県平均正答率との差
1	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(彼はだれかとたずねられて)	聞くこと	-3.5
2	英文を聞き取り、たずねられたことに対して自分の考えを英語で答えることができる。	聞くこと	-3.4
3	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(どこにいるかとたずねられて)	聞くこと	-3.1

## 5 学習状況調査結果

# 学習状況調査結果より

1 (9) 自分には、よいところがあると思う。

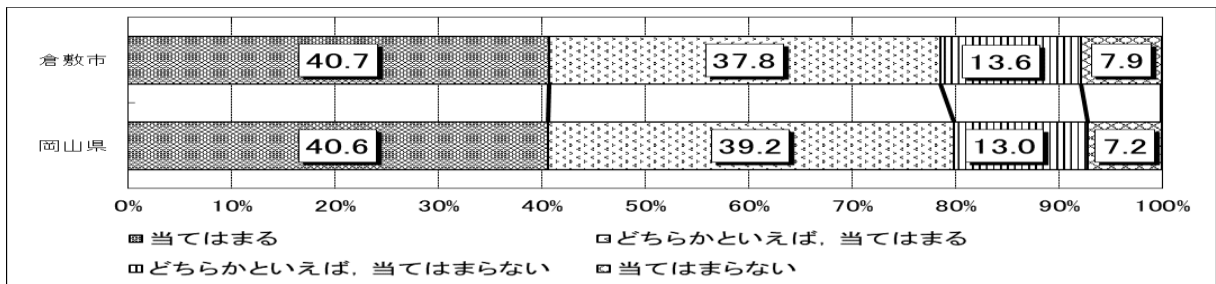
## 【小学5年生】



○ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市 : 81.1 県 : 80.8 差 : +0.3
- \* R 3 倉敷市 : 80.5 県 : 79.6 差 : +0.9
- \* R 2 倉敷市 : 78.6 県 : 79.0 差 : -0.4

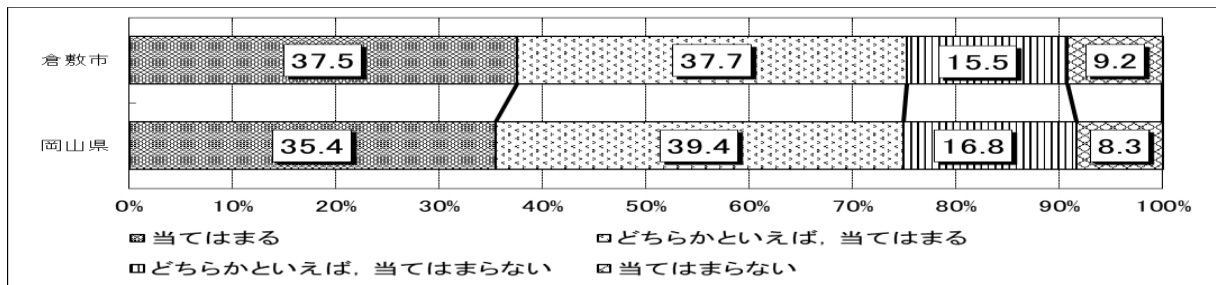
## 【中学1年生】



○ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市 : 78.5 県 : 79.8 差 : -1.3
- \* R 3 倉敷市 : 77.9 県 : 77.6 差 : +0.3
- \* R 2 倉敷市 : 75.9 県 : 76.2 差 : -0.3

## 【中学2年生】



○ 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

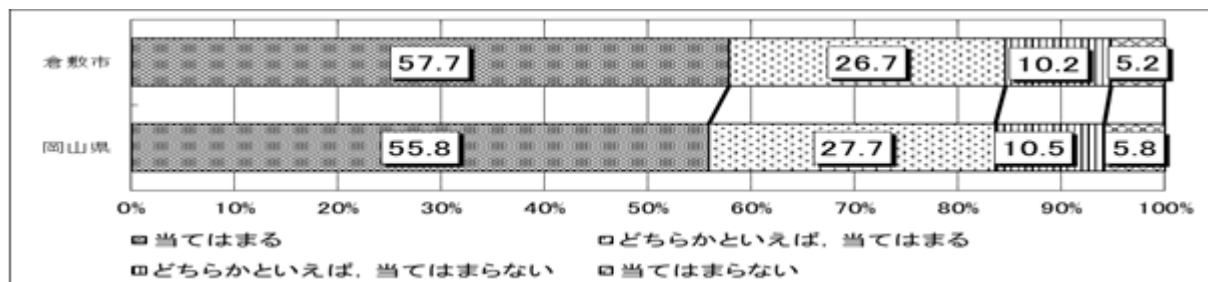
- \* R 4 倉敷市 : 75.2 県 : 74.8 差 : +0.4
- \* R 3 倉敷市 : 75.4 県 : 74.8 差 : +0.6
- \* R 2 倉敷市 : 74.4 県 : 74.8 差 : -0.4

## 【成果と課題】

- 小学5年生で、昨年度より肯定的な回答の割合が増え、県平均を上回っている。
- 中学1年生で、昨年度より肯定的な回答の割合が増えている。
- 中学2年生で、肯定的な回答の割合が県平均を上回っている。

# 1 (12) 学校に行くのは楽しい。

## 【小学5年生】



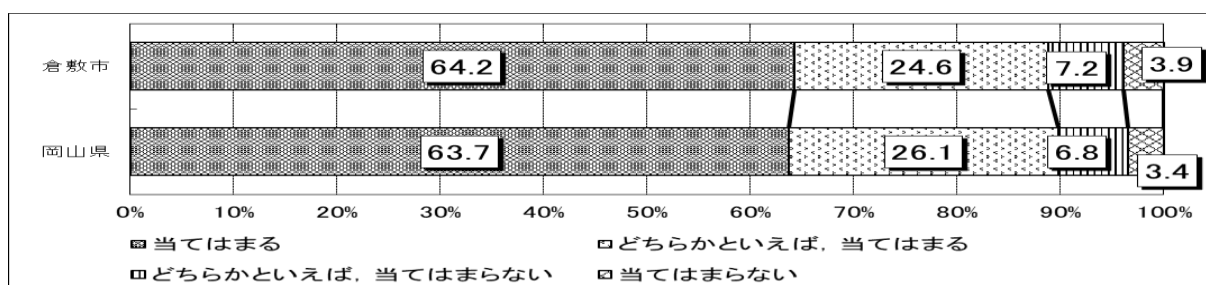
○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した児童の割合

\* R 4 倉敷市：84.4 県：83.5 差：+0.9

\* R 3 倉敷市：83.3 県：82.5 差：+0.8

\* R 2 倉敷市：81.9 県：82.0 差：-0.1

## 【中学1年生】



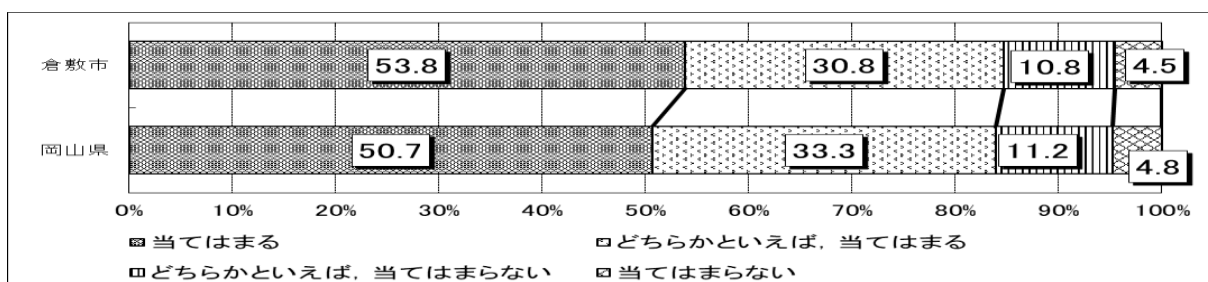
○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

\* R 4 倉敷市：88.8 県：89.8 差：-1.0

\* R 3 倉敷市：87.7 県：87.0 差：+0.7

\* R 2 倉敷市：86.3 県：87.3 差：-1.0

## 【中学2年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

\* R 4 倉敷市：84.6 県：84.0 差：+0.6

\* R 3 倉敷市：83.5 県：84.0 差：-0.5

\* R 2 倉敷市：84.9 県：84.2 差：+0.7

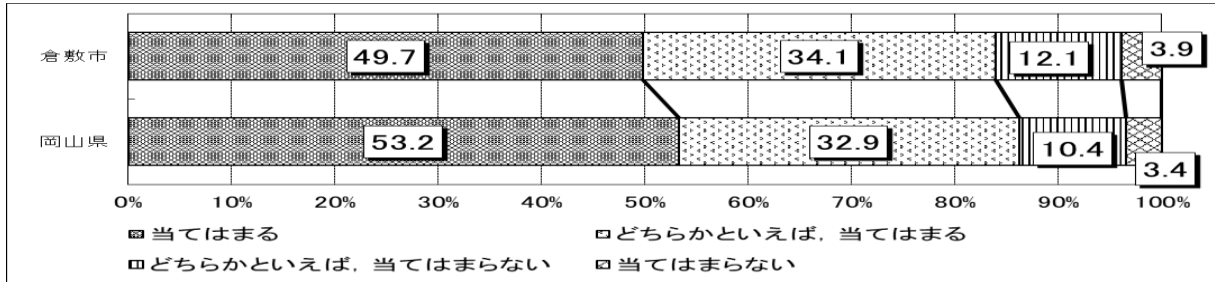
## 【成果と課題】

○全ての学年で、昨年度より肯定的な回答の割合が増えている。

○小学5年生と中学2年生で、肯定的な回答の割合が、県平均を上回っている。

2(24) 授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う。

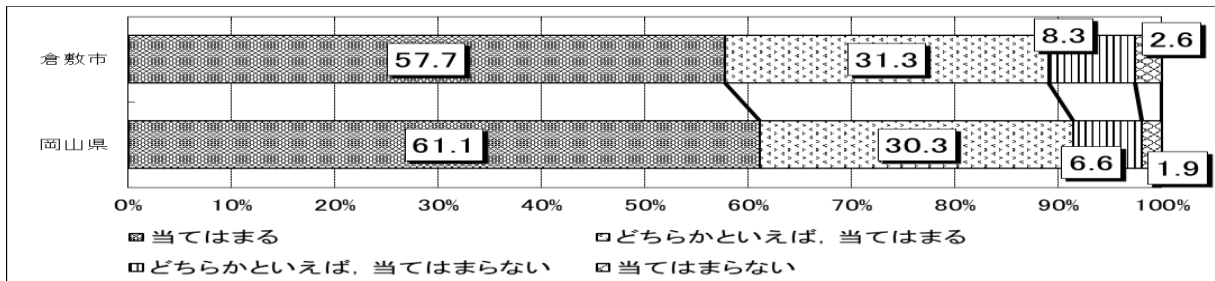
### 【小学5年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市：83.8 県：86.1 差：-2.3
- \* R 3 倉敷市：88.3 県：89.8 差：-1.5
- \* R 2 倉敷市：87.2 県：88.6 差：-1.4

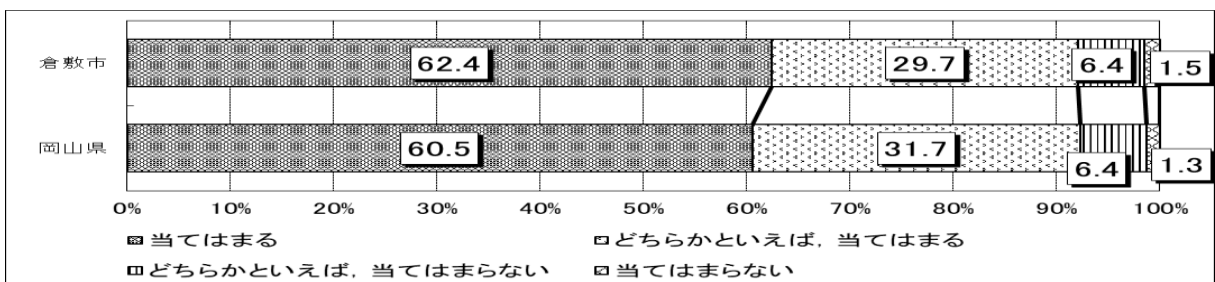
### 【中学1年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市：89.0 県：91.4 差：-2.4
- \* R 3 倉敷市：94.5 県：95.0 差：-0.5
- \* R 2 倉敷市：91.0 県：93.1 差：-2.1

### 【中学2年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

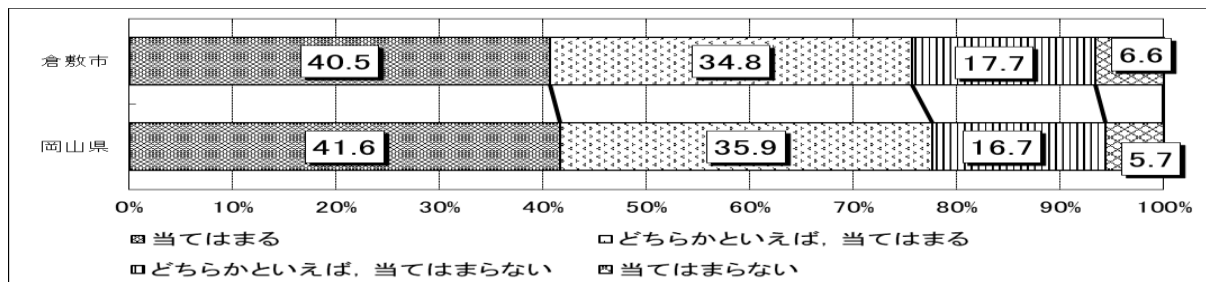
- \* R 4 倉敷市：92.1 県：92.2 差：-0.1
- \* R 3 倉敷市：92.6 県：94.4 差：-1.8
- \* R 2 倉敷市：91.3 県：92.7 差：-1.4

### 【成果と課題】

- 中学2年生で、肯定的回答の割合が、昨年度の県平均との差より縮まっている。
- 全ての学年で、昨年度より肯定的な回答の割合が減り、県平均を下回っている。

2(25) 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。

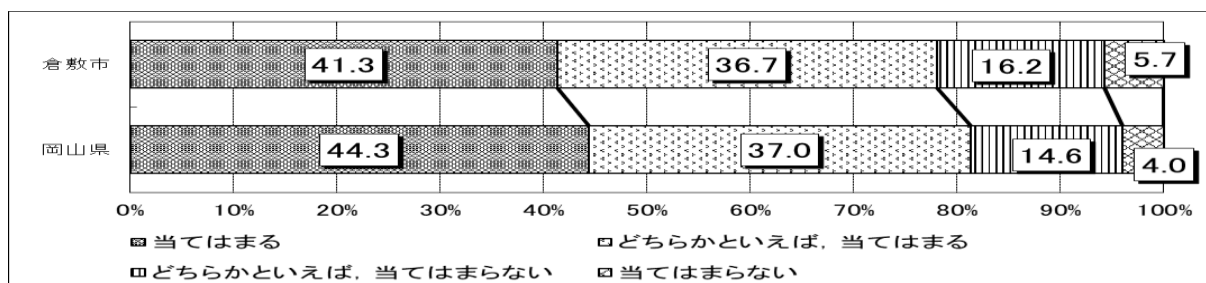
### 【小学5年生】



○ 「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市：75.3 県：77.5 差：-2.2
- \* R 3 倉敷市：80.9 県：80.8 差：+0.1
- \* R 2 倉敷市：77.9 県：79.8 差：-1.9

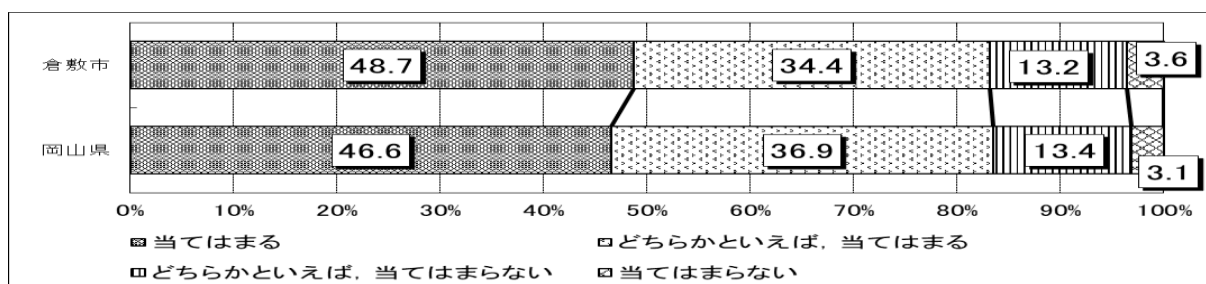
### 【中学1年生】



○ 「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市：78.0 県：81.3 差：-3.3
- \* R 3 倉敷市：87.1 県：87.7 差：-0.6
- \* R 2 倉敷市：79.3 県：82.8 差：-3.5

### 【中学2年生】



○ 「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」を回答した生徒の割合

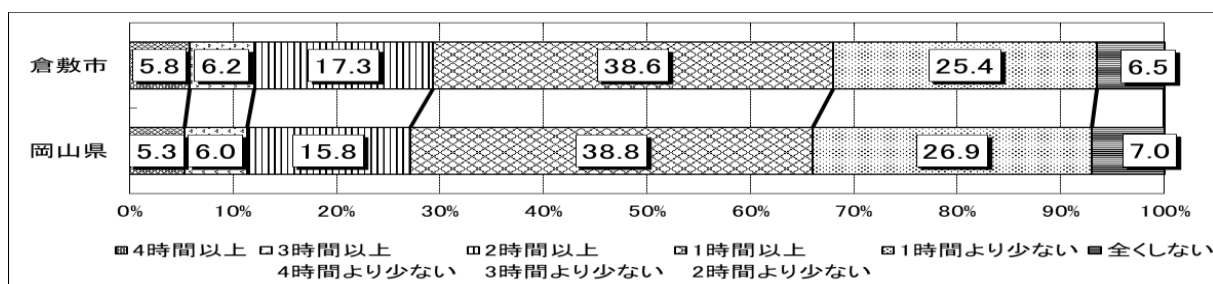
- \* R 4 倉敷市：83.1 県：83.5 差：-0.4
- \* R 3 倉敷市：82.8 県：86.2 差：-3.4
- \* R 2 倉敷市：78.1 県：79.6 差：-1.5

### 【成果と課題】

- 中学2年生で、肯定的な回答の割合が増え、昨年度よりも県平均との差に改善が見られる。
- 小学5年生と中学1年生で、肯定的な回答の割合が減り、昨年度よりも県平均との差が広がっている。

2小5・中1(47)中2(49)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていましたか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。)

### 【小学5年生】



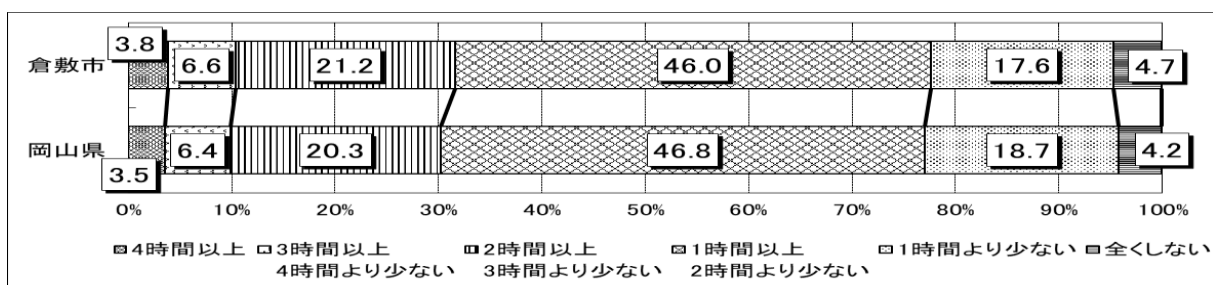
○ 1時間以上学習すると回答した児童の割合

\* R4 倉敷市：67.9 県：65.9 差：+2.0

\* R3 倉敷市：74.9 県：73.5 差：+1.4

\* R2 倉敷市：78.3 県：77.2 差：+1.1

### 【中学1年生】



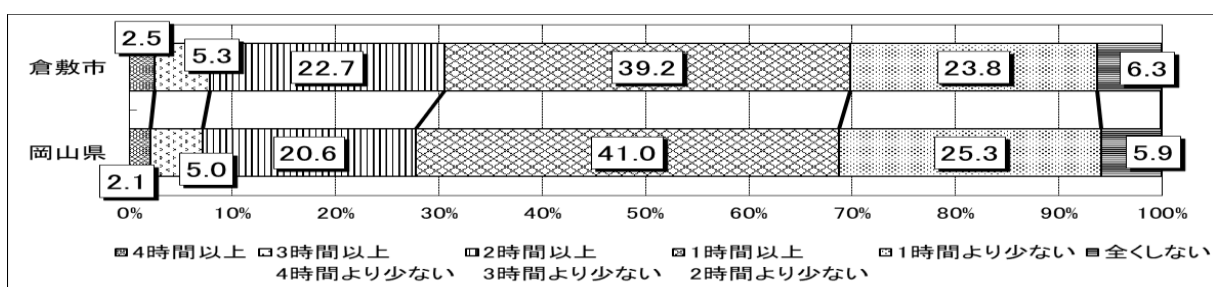
○ 1時間以上学習すると回答した生徒の割合

\* R4 倉敷市：77.6 県：77.0 差：+0.6

\* R3 倉敷市：82.7 県：81.2 差：+1.5

\* R2 倉敷市：80.4 県：81.5 差：-1.1

### 【中学2年生】



○ 1時間以上学習すると回答した生徒の割合

\* R4 倉敷市：69.7 県：68.7 差：+1.0

\* R3 倉敷市：72.3 県：73.2 差：-0.9

\* R2 倉敷市：71.2 県：73.5 差：-2.3

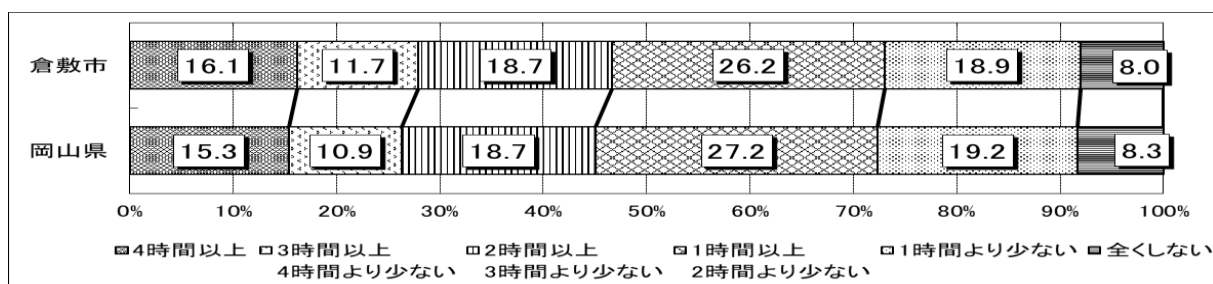
### 【成果と課題】

○ 全ての学年で、1時間以上学習すると回答した児童生徒の割合が県平均を上回っている。

● 全ての学年で、1時間以上学習すると回答した児童生徒の割合が昨年度よりも減っている。

2小5・中1（50）中2（52）普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしていましたか。

### 【小学5年生】



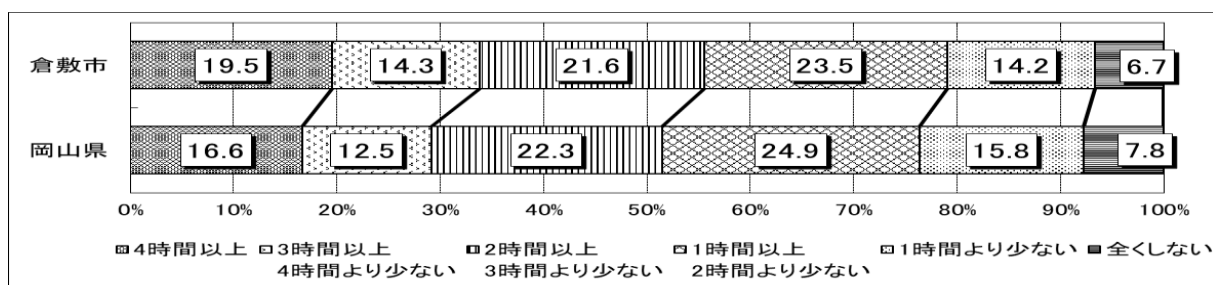
○ 1時間以上ゲームをする児童の割合

\* R 4 倉敷市：72.7 県：72.1 差：+0.6

\* R 3 倉敷市：68.9 県：69.0 差：-0.1

\* R 2 倉敷市：67.9 県：67.8 差：+0.1

### 【中学1年生】



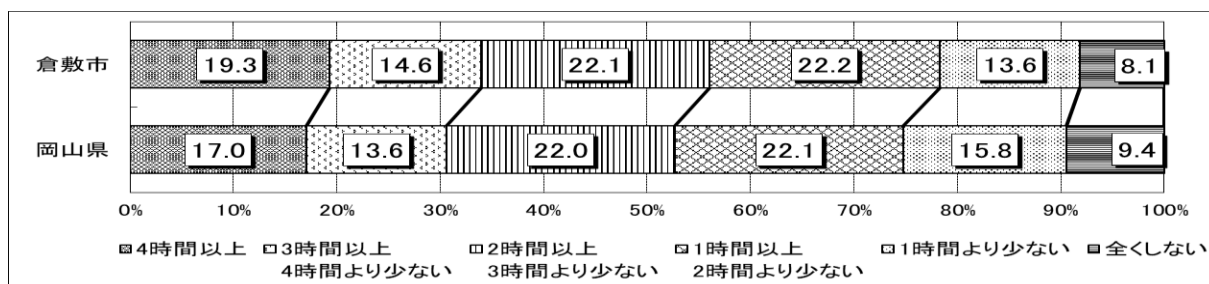
○ 1時間以上ゲームをする生徒の割合

\* R 4 倉敷市：78.9 県：76.3 差：+2.6

\* R 3 倉敷市：77.6 県：73.9 差：+3.7

\* R 2 倉敷市：75.9 県：71.8 差：+4.1

### 【中学2年生】



○ 1時間以上ゲームをする生徒の割合

\* R 4 倉敷市：78.2 県：74.7 差：+3.5

\* R 3 倉敷市：77.1 県：73.6 差：+3.5

\* R 2 倉敷市：73.5 県：71.6 差：+1.9

### 【成果と課題】

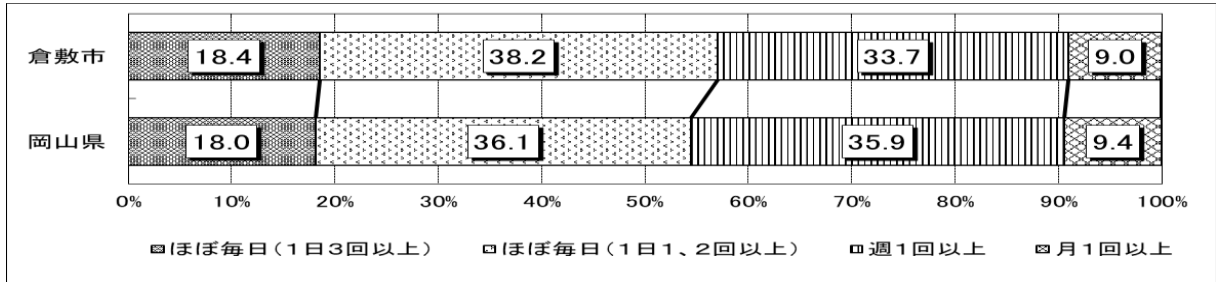
○ 中学1年生で、1時間以上ゲームをする児童の割合で、昨年度の県平均との差と比べると、その差が縮まっている。

● 全ての学年で、1時間以上ゲームをする児童生徒の割合が増え、県平均を上回っている。



1 (40) 授業で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。

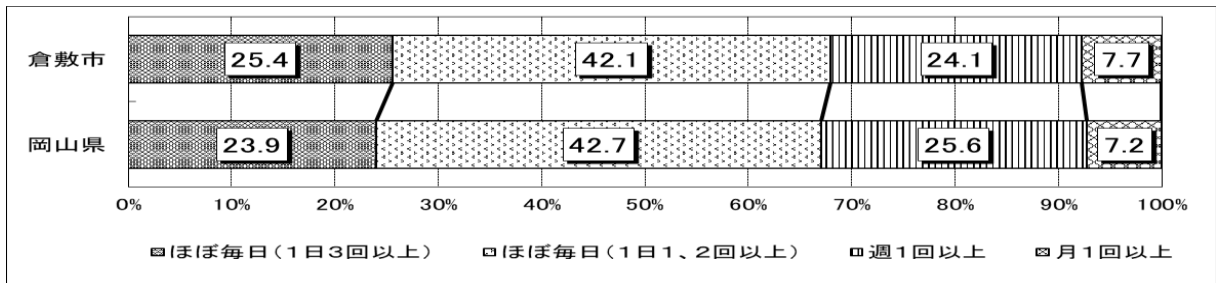
【小学5年生】



○ 「ほぼ毎日(1日3回以上)」「ほぼ毎日(1日1、2回以上)」と回答した児童の割合

\* R 4 倉敷市 : 56.6 県 : 54.1 差 : +2.5

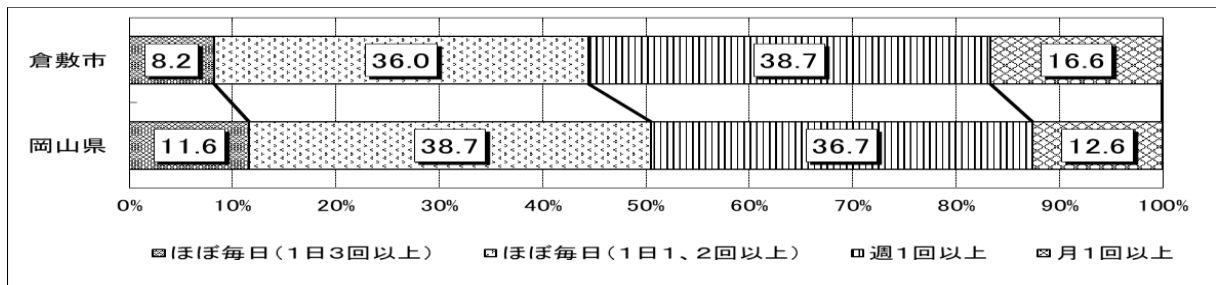
【中学1年生】



○ 「ほぼ毎日(1日3回以上)」「ほぼ毎日(1日1、2回以上)」と回答した生徒の割合

\* R 4 倉敷市 : 67.5 県 : 66.6 差 : +0.9

【中学2年生】



○ 「ほぼ毎日(1日3回以上)」「ほぼ毎日(1日1、2回以上)」と回答した生徒の割合

\* R 4 倉敷市 : 44.2 県 : 50.3 差 : -6.1

【成果と課題】

○小学5年生と中学1年生で、ほぼ毎日使用する児童生徒の割合が、県平均を上回っている。

●中学2年生では、ほぼ毎日使用する生徒の割合が県平均を下回っている。



令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
結果報告書

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査について

## 1 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査対象者・実施日・調査内容

### (1) 調査対象者

市立小学校	60校	第6学年児童	4, 133人
市立中学校	26校	第3学年生徒	3, 841人

### (2) 実施日

令和4年4月19日(火)

### (3) 調査内容

- ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
  - 知識・技能等と、それを活用する力等に関わる内容を一体的に問う
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - 児童生徒に対する調査(児童生徒質問紙)
  - 学校に対する調査(学校質問紙)

### 3 学力調査結果

(1)各教科の結果

①各学年の平均正答率の経年比較(同一集団での比較)【単位は%】

小学6年生 国語

	R2(小4)	R3(小5)	R4(小6)
倉敷市	70.2	70.6	68.3
岡山県	68.6	69.4	66.7
全国	64.5	67.8	65.6
県との差	1.6	1.2	1.6
全国との差	5.7	2.8	2.7

小学6年生 算数

	R2(小4)	R3(小5)	R4(小6)
倉敷市	74.3	66.5	63.7
岡山県	72.9	65.0	62.2
全国	72.7	65.3	63.1
県との差	1.4	1.5	1.5
全国との差	1.6	1.2	0.6

中学3年生 国語

	R2(中1)	R3(中2)	R4(中3)
倉敷市	66.4	70.8	68.0
岡山県	67.5	71.3	68.8
全国	63.4	68.5	69.0
県との差	-1.1	-0.5	-0.8
全国との差	3.0	2.3	-1.0

中学3年生 数学

	R2(中1)	R3(中2)	R4(中3)
倉敷市	64.9	59.7	49.0
岡山県	67.0	60.5	50.7
全国	66.6	58.6	51.4
県との差	-2.1	-0.8	-1.7
全国との差	-1.7	1.1	-2.4

②過去の同学年との平均正答率の比較【単位は%】 ※R2は未実施

小学6年生 国語

	R1(小6)	R3(小6)	R4(小6)
倉敷市	65.1	67.6	68.3
岡山県	64.4	65.9	66.7
全国	63.8	64.7	65.6
県との差	0.7	1.7	1.6
全国との差	1.3	2.9	2.7

小学6年生 算数

	R1(小6)	R3(小6)	R4(小6)
倉敷市	64.7	69.1	63.7
岡山県	64.9	69.3	62.2
全国	66.6	70.2	63.1
県との差	-0.2	-0.2	1.5
全国との差	-1.9	-1.1	0.6

小学6年生 理科

	H27(小6)	H30(小6)	R4(小6)
倉敷市	50.3	60.1	65.8
岡山県	51.5	60.1	63.9
全国	53.0	60.3	63.3
県との差	-1.2	0.0	1.9
全国との差	-2.7	-0.2	2.5

中学3年生 国語

	R1(中3)	R3(中3)	R4(中3)
倉敷市	71.1	63.3	68.0
岡山県	72.5	64.8	68.8
全国	72.8	64.6	69.0
県との差	-1.4	-1.5	-0.8
全国との差	-1.7	-1.3	-1.0

中学3年生 数学

	R1(中3)	R3(中3)	R4(中3)
倉敷市	58.2	55.3	49.0
岡山県	60.1	57.0	50.7
全国	59.8	57.2	51.4
県との差	-1.9	-1.7	-1.7
全国との差	-1.6	-1.9	-2.4

中学3年生 理科

	H27(中3)	H30(中3)	R4(中3)
倉敷市	50.3	63.7	47.9
岡山県	51.5	65.6	49.5
全国	53.0	66.1	49.3
県との差	-1.2	-1.9	-1.6
全国との差	-2.7	-2.4	-1.4

### ③平均正答率の比較

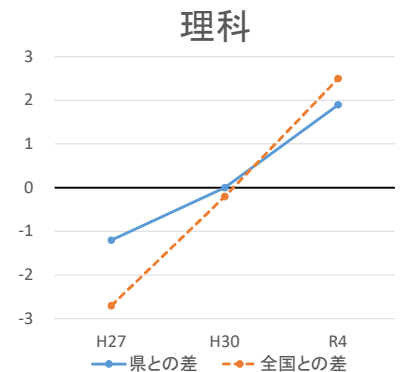
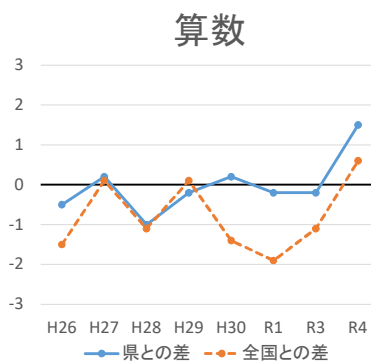
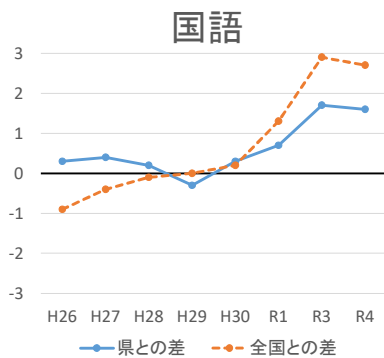
※平均正答率……一人一人の正答率（全体の設問のうち正答だった割合）を平均したもの

令和元年度から、A問題（知識）、B問題（活用）を区別せず一体的に出題されるようになったことから、平成26年度～平成30年度の平均正答率についても、A問題とB問題を区別せず各教科ごとの値を示している。

#### 【小学6年生】

教科	国語									算数							理科		
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	H27	H30
倉敷市平均	63.3	67.3	65.3	66.2	62.9	65.1	67.6	<b>68.3</b>	66.7	60.2	61.3	62.4	56.1	64.7	69.1	<b>63.7</b>	50.3	60.1	<b>65.8</b>
岡山県平均	63.0	66.9	65.1	66.5	62.6	64.4	65.9	<b>66.7</b>	67.2	60.0	62.3	62.6	55.9	64.9	69.3	<b>62.2</b>	51.5	60.1	<b>63.9</b>
全国平均	64.2	67.7	65.4	66.2	62.7	63.8	64.7	<b>65.6</b>	68.2	60.1	62.4	62.3	57.5	66.6	70.2	<b>63.1</b>	53.0	60.3	<b>63.3</b>
岡山県との差	0.3	0.4	0.2	-0.3	0.3	0.7	1.7	<b>1.6</b>	-0.5	0.2	-1.0	-0.2	0.2	-0.2	-0.2	<b>1.5</b>	-1.2	0.0	<b>1.9</b>
全国との差	-0.9	-0.4	-0.1	0.0	0.2	1.3	2.9	<b>2.7</b>	-1.5	0.1	-1.1	0.1	-1.4	-1.9	-1.1	<b>0.6</b>	-2.7	-0.2	<b>2.5</b>

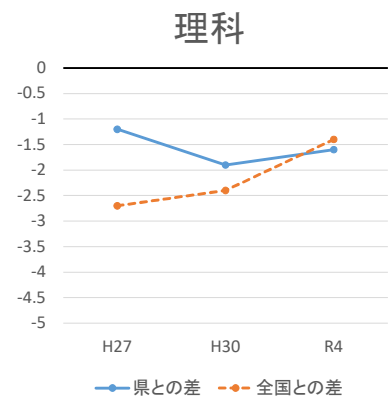
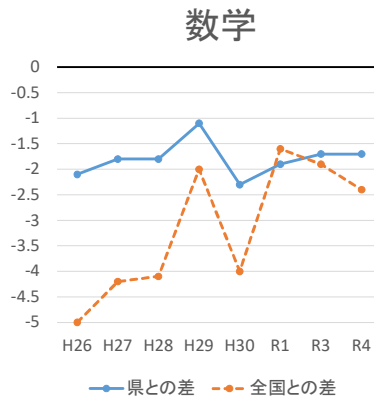
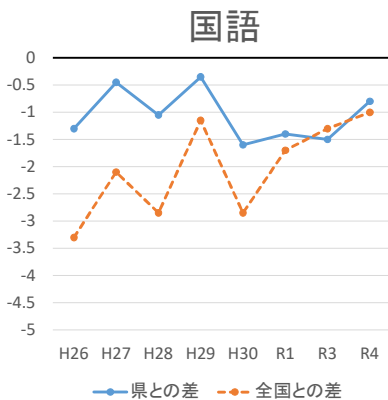
#### ◆岡山県・全国との差の推移



#### 【中学3年生】

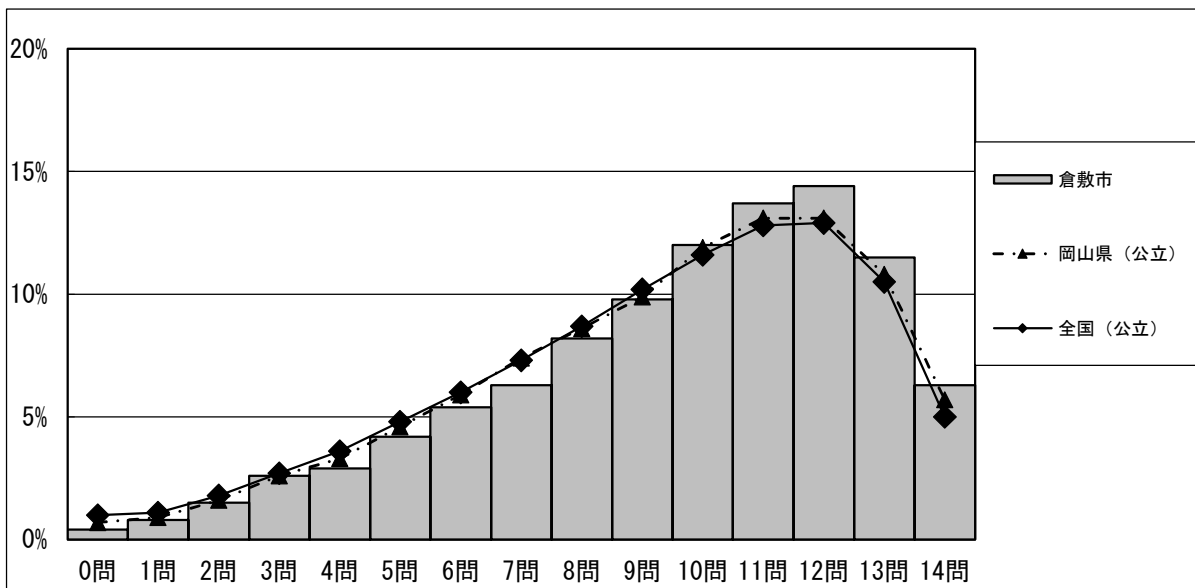
教科	国語									数学							理科		
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	H27	H30
倉敷市平均	61.9	68.7	68.2	73.7	65.8	71.1	63.3	<b>68.0</b>	58.6	48.8	49.1	54.4	52.5	58.2	55.3	<b>49.0</b>	50.3	63.7	<b>47.9</b>
岡山県平均	63.2	69.2	69.3	74.0	67.4	72.5	64.8	<b>68.8</b>	60.7	50.6	50.9	55.5	54.8	60.1	57.0	<b>50.7</b>	51.5	65.6	<b>49.5</b>
全国平均	65.2	70.8	71.1	74.8	68.7	72.8	64.6	<b>69.0</b>	63.6	53.0	53.2	56.4	56.5	59.8	57.2	<b>51.4</b>	53.0	66.1	<b>49.3</b>
岡山県との差	-1.3	-0.5	-1.1	-0.3	-1.6	-1.4	-1.5	<b>-0.8</b>	-2.1	-1.8	-1.8	-1.1	-2.3	-1.9	-1.7	<b>-1.7</b>	-1.2	-1.9	<b>-1.6</b>
全国との差	-3.3	-2.1	-2.8	-1.2	-2.9	-1.7	-1.3	<b>-1.0</b>	-5.0	-4.2	-4.1	-2.0	-4.0	-1.6	-1.9	<b>-2.4</b>	-2.7	-2.4	<b>-1.4</b>

#### ◆岡山県・全国との差の推移



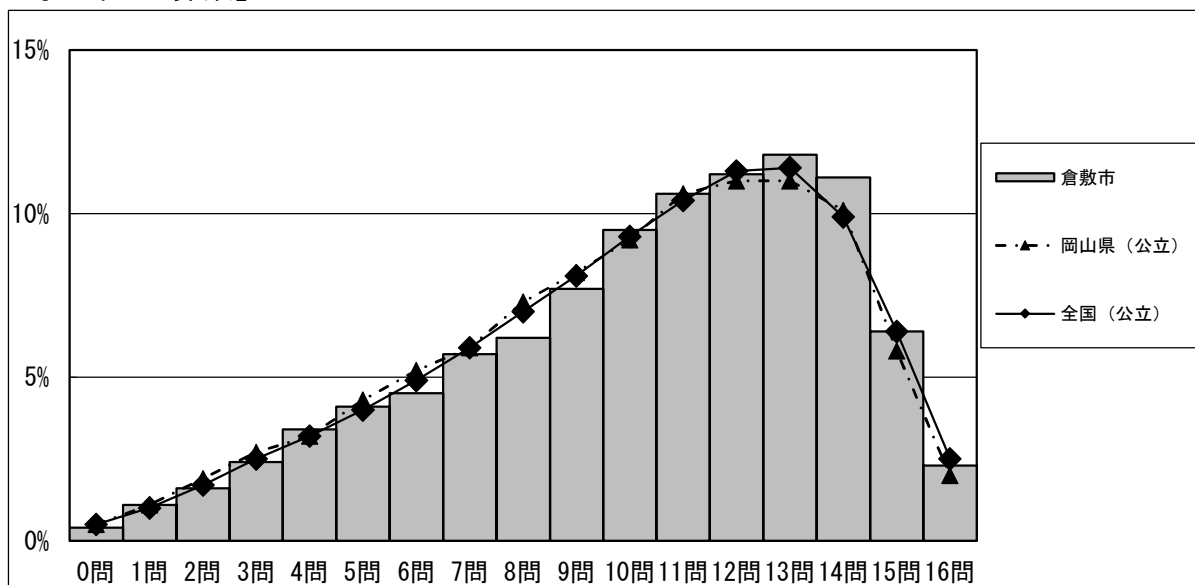
## (2) 教科別の結果(正答数分布の比較)

### 【小学6年生 国語】



- 全国、岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 10問～14問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。

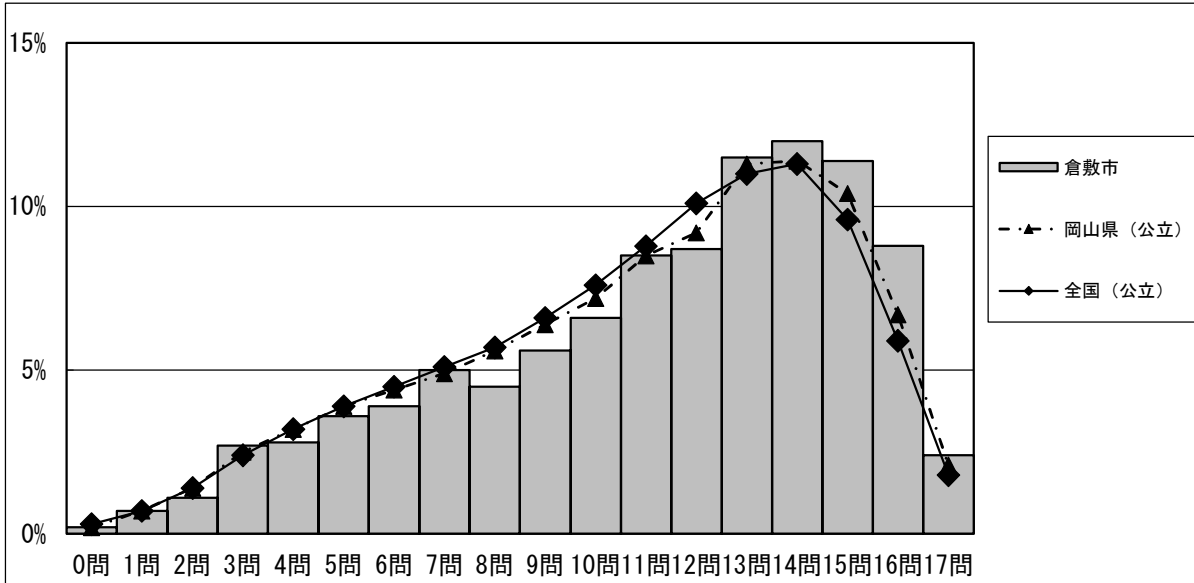
### 【小学6年生 算数】



- 全国、岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 13問、14問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。
- 16問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を下回っており、1問正答した児童の割合が、全国の割合を上回っている。

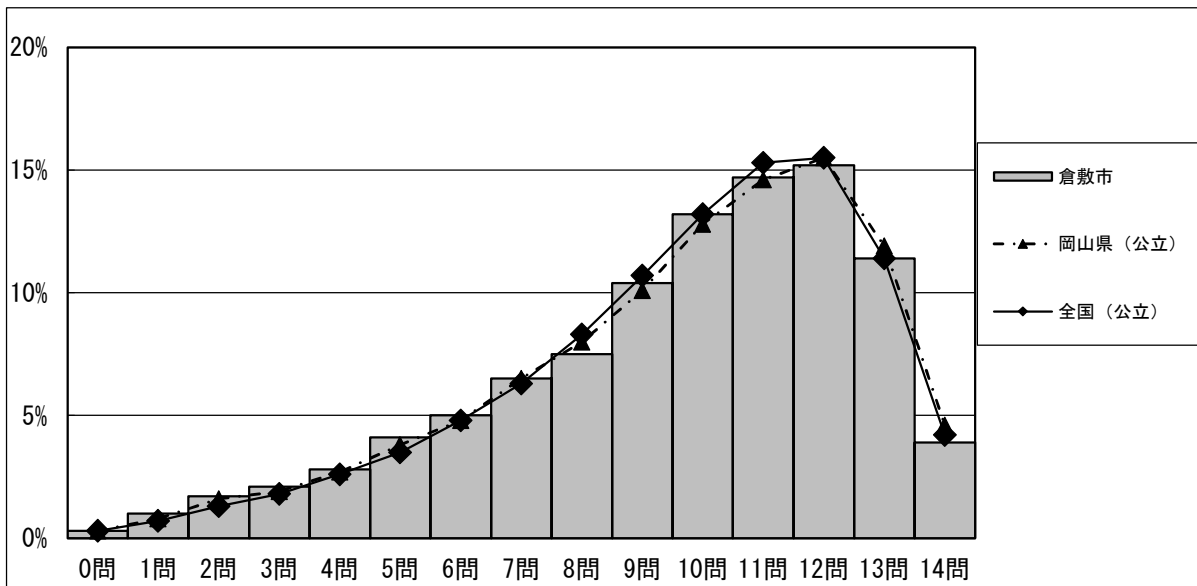


【小学6年生 理科】



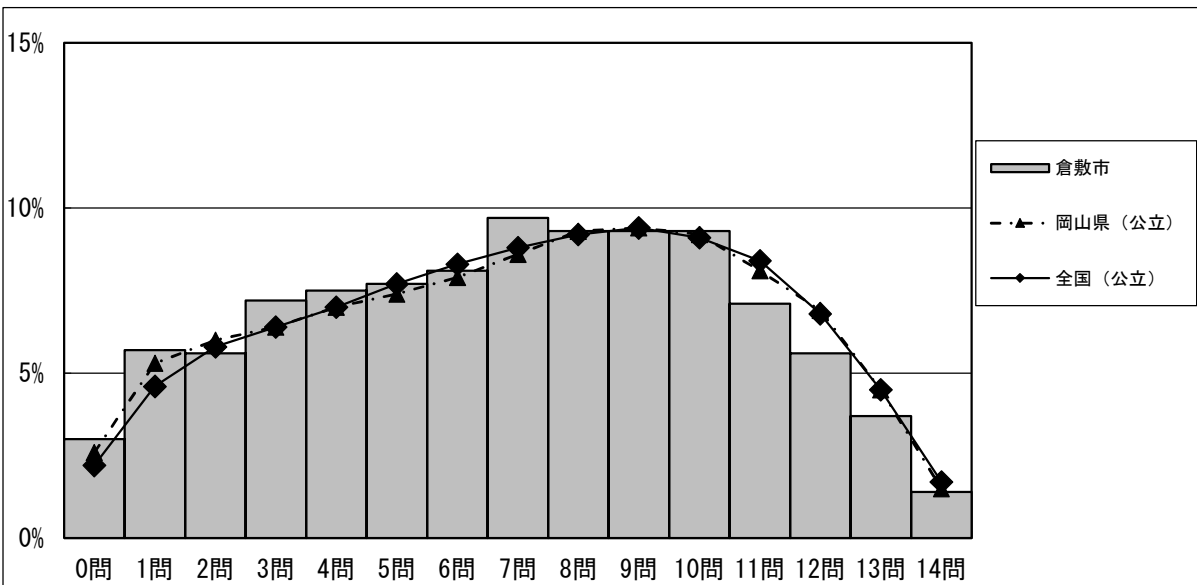
- 全国、岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 13問～17問正答した生徒の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。
- 3問正答した生徒の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。

【中学3年生 国語】



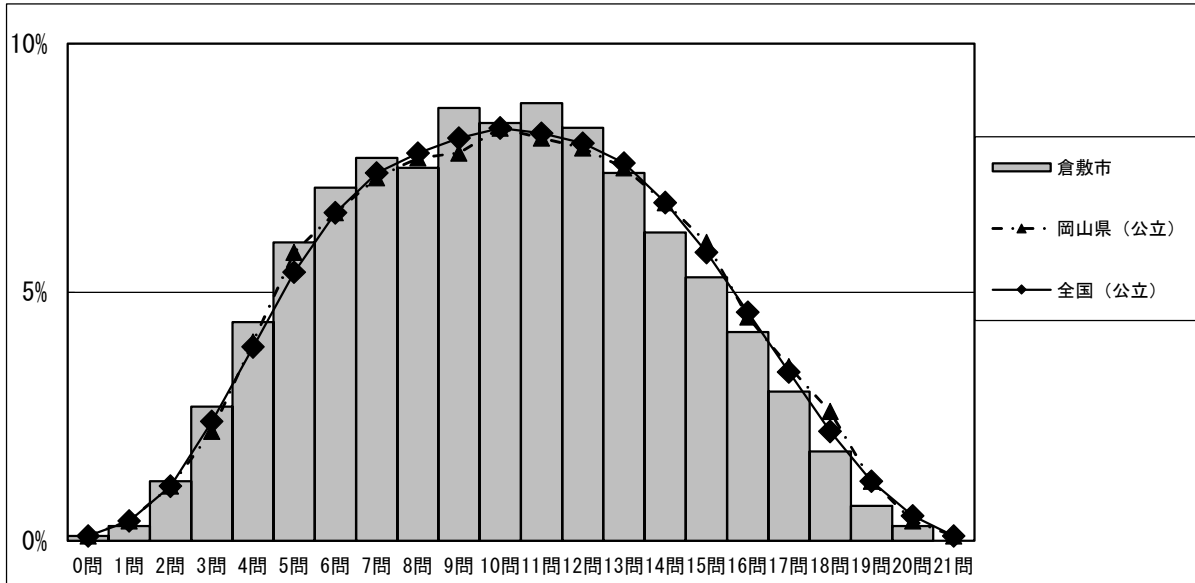
○全国、岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。  
 ●1問～6問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。

【中学3年生 数学】



○全国、岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。  
 ●11問～14問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を下回っており、0問、1問、3問、4問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。

【中学3年生 理科】



- 全国、岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。
- 11問～12問正答した生徒の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。
- 13問～21問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を下回っており、2問～7問正答した児童の割合が、全国及び岡山県の割合を上回っている。

### (3)設問別の結果(ベンチマーク)

【小学6年生 国語】 【設問順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点	問題形式	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)		無解答率(%)					
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差			
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項												A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
													-10.0	▼	+10.0				
1一	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】の+B6・K19よさを書く	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5・6イ			○	○	○	86.0	85.0	85.5	0.5				0.2	0.5	0.9	-0.7
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	5・6ア			○	○	○	72.1	69.8	68.8	3.3				0.2	0.6	1.0	-0.8
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える			3・4エ	○	○	○	86.5	85.3	84.7	1.8				0.2	0.7	1.0	-0.8
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながらいずれかに話し合い、自分の考えをまとめる			5・6オ	○	○	○	48.6	48.2	47.7	0.9				2.5	2.6	3.0	-0.5
2一(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える				○	○	○	66.8	66.9	68.4	-1.6				0.3	0.5	1.0	-0.7
2一(2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える			5・6イ	○	○	○	69.7	69.1	70.6	-0.9				0.8	1.1	1.6	-0.8
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text"/> Aに入的内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する			5・6エ	○	○	○	70.4	69.3	68.3	2.1				9.9	10.7	12.2	-2.3
2三	【山村さんの文章】の <input type="text"/> Bは入内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える			5・6エ	○	○	○	60.0	58.1	59.2	0.8				2.1	2.3	3.2	-1.1
3一	【文章2】の <input type="text"/> の部分で、どのように気をつけて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える			5・6オ	○	○	○	61.4	58.7	59.2	2.2				1.3	1.5	2.5	-1.2
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける			5・6カ	○	○	○	42.6	40.3	37.7	4.9				10.4	11.8	14.5	-4.1
3三ア	【文章2】の中の <input type="text"/> 部Aを、漢字を使って書き直す(ろくが)		5・6エ			○	○	○	69.2	67.8	65.2	4.0				4.1	5.2	8.1	-4.0
3三イ	【文章2】の中の <input type="text"/> 部Bを、漢字を使って書き直す(はんせい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6エ			○	○	○	65.9	63.2	58.7	7.2				4.9	6.3	10.2	-5.3
3三ウ	【文章2】の中の <input type="text"/> 部Cを、漢字を使って書き直す(したしむ)		5・6エ			○	○	○	71.1	69.5	67.1	4.0				9.1	10.7	14.7	-5.6
3四	(一)から(二)に書き直した際、気付いた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く			3・4エ(イ)	○	○	○	85.4	82.0	77.9	7.5				2.6	3.8	5.9	-3.3

【小学6年生 算数】【設問順】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)			無解答率(%)				
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用			知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習 に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県
														-10.0 ▼ +10.0							
1(1)	1050×4を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	3(1) 7(2) 3(3) 7(2) 4(7) 7(7)					○			○	92.2	91.4	92.4	-0.2		0.2	0.3	0.3	-0.1	
1(2)	14と21の最小公倍数を求めることができる	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5(3) 7(4)					○			○	72.3	70.6	72.2	0.1		2.4	2.6	3.0	-0.6	
1(3)	カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	3(4) 7(7) 4(3) 7(7)					○			○	78.3	78.1	76.0	2.3		4.4	4.5	5.2	-0.8	
1(4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を選べる	5(2) 7(7)					○		○		34.1	30.9	34.8	-0.7		0.6	0.7	0.9	-0.3	
2(1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる			5(3) 7(4)			○		○		72.7	69.0	71.1	1.6		2.5	3.5	3.9	-1.4	
2(2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる			5(3) 7(4)			○		○		61.4	60.8	64.6	-3.2		2.5	3.0	3.3	-0.8	
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合が変わらないことを理解している			5(3) 7(7)			○		○		20.2	20.3	21.4	-1.2		0.6	0.9	1.1	-0.5	
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる			5(1) 7(7)			○			○	48.8	47.9	48.0	0.8		5.2	5.4	5.5	-0.3	
3(1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	5(6) 7(7)			3(1) 7(7)		○		○		75.1	74.9	75.3	-0.2		2.1	1.9	2.1	0.0	
3(2)	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは違るように、遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる			3(1) 7(7)			○		○		65.6	63.9	63.9	1.7		1.2	1.2	1.6	-0.4	
3(3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる			5(1) 7(7)			○		○		66.4	66.6	66.8	-0.4		1.7	1.8	2.2	-0.5	
3(4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	5(6) 7(7) 7(7)					○			○	68.2	67.4	67.7	0.5		7.6	8.0	8.6	-1.0	
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかきことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	3(1) 7(7) 4(5) 7(7) 7(7)					○			○	49.9	48.9	48.8	1.1		3.2	3.5	3.8	-0.6	
4(2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している			2(1) 7(4)			○		○		84.1	82.8	83.2	0.9		4.0	4.5	4.7	-0.7	
4(3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかきことができるプログラムを選ぶ	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している			4(1) 7(4)			○		○		67.7	65.6	66.5	1.2		3.4	4.2	4.6	-1.2	
4(4)	示されたプログラムでかきことができる図形を選ぶ	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる			4(1) 7(4) 7(7)			○		○		61.4	56.4	57.6	3.8		4.0	4.6	5.1	-1.1	





**[中学3年生 国語] 【設問順】**

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点				問題形式				正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との 差	倉敷市	岡山県	全国	全国との 差	倉敷市	岡山県	全国
													倉敷市	岡山県	全国	全国との 差	-10.0					倉敷市	岡山県	全国	全国との 差
1一	スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す	聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する				1ウ			○		○		73.0	73.9	74.7	-1.7					5.5	5.0	3.8	1.7	
1二	話の進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する	論理の展開などに注意して聞く				2エ			○		○		62.3	63.3	65.1	-2.8					0.2	0.1	0.1	0.1	
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	1ア			1ウ			○	○		○	52.7	52.7	51.8	0.9					17.0	17.4	16.2	0.8	
2一	意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う	2オ						○		○		81.9	82.8	82.3	-0.4					0.2	0.3	0.2	0.0	
2二①	漢字を書く（のぞく）	文脈に即して漢字を正しく書く	2ウ						○		○		81.8	83.2	82.1	-0.3					8.9	7.9	8.8	0.1	
2二②	漢字を書く（よるこんで）		2ウ						○		○		83.0	82.5	80.5	2.5					3.5	3.2	3.3	0.2	
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く		1イ		1ウ			○	○		○	53.9	51.4	46.5	7.4					9.5	9.9	9.0	0.5	
3一	「隔炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する	表現の技法について理解する	1オ						○		○		46.2	49.4	52.5	-6.3					0.8	0.7	0.7	0.1	
3二	「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解する	1ウ						○		○		82.3	83.1	84.0	-1.7					0.3	0.3	0.3	0.0	
3三	話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える	場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える					1イ		○		○		58.7	60.5	62.0	-3.3					1.3	1.1	1.0	0.3	
3四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する					1ウ		○		○		70.6	72.2	73.8	-3.2					16.1	14.8	13.3	2.8	
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する				1エ(4)			○		○		35.6	37.2	39.4	-3.8					0.6	0.8	0.9	-0.3	
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書の読みやすい書き方について理解する				2ウ(7)			○		○		90.2	90.4	90.1	0.1					0.7	0.8	1.0	-0.3	
4三	書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する				2ウ(7)			○		○		79.8	80.4	81.1	-1.3					0.8	0.8	1.1	-0.3	



[中学3年生 数学] 【設問順】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差				
1	42を素因数分解する	自然数を素数の積で表すことができる	1(1) ア,イ				○			○	37.7	51.0	52.2	-14.5		13.0	10.9	11.5	1.5					
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2) ア(ウ)				○			○	74.9	74.8	74.5	0.4		6.6	7.0	6.1	0.5					
3	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ	反例の意味を理解している		2(2) ア(イ)			○			○	44.1	44.3	44.9	-0.8		0.3	0.3	0.4	-0.1					
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している			2(1) ア(ア)		○			○	33.0	35.9	37.9	-4.9		0.3	0.4	0.4	-0.1					
5	容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している				1(2) ア(ア)	○			○	79.3	81.0	83.3	-4.0		0.2	0.3	0.3	-0.1					
6(1)	同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、 $n$ が9のときのような計算を表しているかを書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1) ア(イ)				○			○	70.3	71.9	73.8	-3.5		7.3	6.9	6.0	1.3					
6(2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1) イ(イ)				○			○	52.0	50.4	48.7	3.3		22.0	21.4	20.0	2.0					
6(3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(1) イ(イ)				○			○	35.6	37.2	37.6	-2.0		26.3	26.5	26.2	0.1					
7(1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる				1(1) イ(ア)	○			○	44.7	43.4	44.0	0.7		1.9	1.7	1.4	0.5					
7(2)	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる				2(1) ア(ア)	○			○	43.2	45.0	44.1	-0.9		0.6	0.7	0.7	-0.1					
8(1)	与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1(1) ア(ウ) イ(イ)		○			○	50.1	52.2	54.6	-4.5		9.0	8.9	7.2	1.8					
8(2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1(1) イ(イ)		○			○	38.9	38.2	38.4	0.5		26.6	26.4	24.4	2.2					
9(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2) ア(ア)				○			○	71.8	73.2	73.2	-1.4		8.1	8.0	7.5	0.6					
9(2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が $30^\circ$ になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(2) イ(イ)				○			○	9.8	11.9	12.5	-2.7		38.2	38.0	38.5	-0.3					

【中学3年生 理科】 【設問順】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点		問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差		
1 (1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(3) (7)				○		○		42.3	45.1	44.2	-1.9	-10.0	0.1	0.1	0.1	0.0			
1 (2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	(3) (7)				○		○		78.2	79.1	78.5	-0.3		0.1	0.1	0.1	0.0			
2 (1)	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる			(4) (7)		○		○		51.8	53.6	54.2	-2.4		0.2	0.2	0.2	0.0			
2 (2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる			(4) (4)		○		○		40.3	41.8	40.8	-0.5		0.2	0.2	0.3	-0.1			
2 (3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる			(4) (4)		○		○		27.3	27.5	28.5	-1.2		0.2	0.2	0.3	-0.1			
3 (1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる	(4) (4)				○		○		79.3	81.3	80.1	-0.8		0.1	0.1	0.1	0.0			
3 (2)	水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みを探究する学習場面において、粒子の保存性の視点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる	(4) (4)				○		○		60.1	61.8	60.2	-0.1		0.3	0.3	0.3	0.0			
3 (3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもとを指摘する	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	(3) (7)	(4) (4)			○		○		23.3	24.4	24.8	-1.5		4.3	4.3	4.3	0.0			
4 (1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと動きを分析して解釈できるかどうかをみる			(1) (4)		○		○		74.9	74.6	74.5	0.4		6.5	6.0	5.5	1.0			
4 (2)	脊椎動物には骨格のつくり共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトとカエルのあしの関節を選択する	複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる			(1) (4)		○		○		62.8	64.5	65.6	-2.8		0.2	0.2	0.2	0.0			

			学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差			
5 (1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	(1) (4)				○		○		11.8	13.6	15.3	-3.5	-10.0	0.2	0.2	0.2	0.0				
5 (2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (4)				○		○		44.3	47.9	45.0	-0.7		0.4	0.4	0.4	0.0				
5 (3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる	(1) (4)				○		○		42.1	43.2	43.3	-1.2		30.0	29.1	29.4	0.6				
6 (1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	玄武岩の露頭で化石が観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる				(2) (7)	○		○		46.7	48.8	48.0	-1.3		0.3	0.3	0.3	0.0				
6 (2)	陸上のB地点で古生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる				(2) (4)	○		○		58.2	59.7	60.3	-2.1		0.6	0.6	0.6	0.0				
6 (3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を働かせながら、ルートマップと露頭のスケッチを関連付け、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる				(2) (4)	○		○		32.7	34.1	34.2	-1.5		0.5	0.6	0.7	-0.2				
7 (1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な現象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる				(2) (7)	○		○		29.9	33.7	35.9	-6.0		0.4	0.4	0.4	0.0				
7 (2)	吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する	実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる				(2) (9)	○		○		51.6	52.1	53.4	-1.8		1.0	1.0	1.0	0.0				
8 (1)	アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する	アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる				(3) (7)	○		○		53.9	55.3	55.2	-1.3		12.0	11.5	11.6	0.4				
8 (2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する	予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見直しをもつことができるかどうかをみる				(3) (7)	○		○		52.0	54.5	55.1	-3.1		14.3	14.5	14.9	-0.6				
8 (3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	未知の節足動物とアリの外形形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる				(1) (4)	○		○		41.6	42.1	39.2	2.4		1.7	1.5	1.4	0.3				

(4) 考察 —各教科の成果と課題から—

【小学校国語】

成果 ○市平均正答率が全国平均正答率以上、かつ80%以上の設問  
☆市平均正答率が全国平均正答率を3%以上上回った設問

- 1一 話し言葉と書き言葉との違いを理解する  
(知：言葉の特徴や使い方に関する事項 5・6イ) 【86.0%】
- 1三 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える  
(思：話・聞 5・6オ) 【86.5%】
- ☆3二 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける  
(思：書 5・6カ) 【+4.9%】
- ☆3三ア 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う (録画) 【69.2% +4.0%】  
(知：言葉の特徴や使い方に関する事項 5・6エ) (反省) 【65.9% +7.2%】  
(親しむ) 【71.1% +4.0%】
- ※漢字を書く設問 (全3問の平均) 【-(R2) 74.4% (R3) 68.7%(R4)】
- ☆3四 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く  
(知：我が国の言語文化に関する事項 3・4エ(イ)) 【85.4%】

課題 ●市平均正答率が全国平均正答率以下、または、59%以下の設問  
★市平均正答率が全国平均正答率を3%以上下回った設問 (★：本年度はなし)

- 1四 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる  
(思：話・聞 5・6オ) 【48.6%】
- 3二 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける  
(思：書 5・6カ) 【42.6%】

【考察】

- ・全国平均正答率を14問中12問上回っており、国語科の授業改善の成果が表れていることが推察される。
- ・正答率59%以下の設問が2問のみとなっており、昨年度の4問より2問減っていることから、これまでの課題に取り組んできた成果が表れていることが推察される。
- ・読むことに関する設問で登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題は、全国平均正答率を1.6%下回っているものの、人物像や物語の全体像を具体的に想像する問題は、2.2%上回っており、平均正答率も6割以上と、読むことの授業改善の成果が表れていることが推察される。
- ・言葉の学習 (前年度までに習った漢字を書く、主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係等) の平均正答率が65~80%と昨年度より向上しており、継続的な指導の成果が表れていると推察される。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題や、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける問題は、全国や県平均正答率を上回っているものの、どちらも平均正答率40%台と低く、今後も継続的な指導が求められると考える。

## 【小学校算数】

### 成果 ○市平均正答率が全国平均正答率を上回った設問

- 1 (2) 二つの数の最小公倍数を求める  
(知：数と計算 5 (1)ア(イ)) 【+0.1】
- 1 (3) 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる  
(思：数と計算 3 (4)イ(ア) 4 (3)ア(イ)) 【+2.3】
- 2 (1) 百分率で表された割合を分数で表すことができる  
(知：変化と関係 5 (3)ア(イ)) 【+1.6】
- 2 (4) 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる  
(思：変化と関係 5 (1)イ(ア)) 【+0.8】
- 3 (2) 分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる  
(思：データの活用 3 (1)ア(イ)) 【+1.7】
- 3 (4) 加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる  
(思：数と計算 4 (6)ア(ア)イ(ア)) 【+0.5】
- 4 (1) 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる  
(思：図形 3 (1)ア(ア) 4 (5)ア(ア)イ(ア)) 【+1.1】
- 4 (2) 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している  
(知：図形 2 (1)ア(イ)) 【+0.9】
- 4 (3) 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している  
(知：図形 4 (1)ア(イ)) 【+1.2】
- 4 (4) 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる  
(思：図形 4 (1)ア(イ)イ(ア)) 【+3.8】

### 課題 ●市平均正答率が全国平均正答率を2%以上下回った設問

- 2 (2) 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる  
(知：変化と測定 5 (3)ア(イ)) 【-3.2】

## 【考察】

- ・全国平均正答率を上回った設問数がR 1年度は全14問中1問、令和3年度は全16問中5問であったが、令和4年度は全16問中10問と、大幅に上回る結果となった。
- ・令和3年度は「図形」領域の設問で、全国平均正答率を下回った設問が多く、三角形の面積の求め方についての理解を問う設問では、-12.2%と大幅に下回っていたが、R 4年度は「図形」領域の設問全てで、全国平均正答率を上回る結果となった。昨年度の課題を基にした授業改善の取組の成果が表れていると推察される。
- ・全国平均正答率との差が最も大きかったのは、百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができるかを問う設問で、その差は-3.2%であった。また、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかを問う設問では、3択の選択式の設問にもかかわらず、市の平均正答率が20.3%と、全ての設問の中で最も低かった。問題場面から、基準量、比較量、割合の意味を捉え、正確に求めることができるよう、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量や比較量を表したりすることができるように指導方法を工夫する必要があると考える。

## 【小学校理科】

成果 ○市平均正答率が80%以上かつ全国平均正答率を上回った設問

☆市平均正答率が50%以上かつ全国平均を2%以上上回った設問

- 1 (1) 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる  
(思:「生命」を柱とする領域 3 B (1)ア(ア)(イ) 【93.1%】)
- ☆1 (2) 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる  
(思:「生命」を柱とする領域 3 B (1)ア(ア)(イ) 【+4.2】)
- ☆1 (3) 昆虫の体のつくりを理解している  
(知:「生命」を柱とする領域 3 B (1)ア(ア)(イ) 【+3.9】)
- ☆1 (4) 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる  
(思:「生命」を柱とする領域 3 B (1)ア(ア)(イ) 【+2.2】)
- ☆1 (5) 観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる  
(思:「生命」を柱とする領域 3 B (1)ア(ア)(イ) 【+3.7】)
- ☆2 (1) メスシリンダーという器具を理解している  
(知:「粒子」を柱とする領域 4 A (2)ア(ウ) 【+8.8】)
- ☆2 (2) メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている  
(知:「粒子」を柱とする領域 4 A (2)ア(ウ) 【+2.4】)
- 4 (1) 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる  
(思:「地球」を柱とする領域 4 B (4)ア(ア) 【83.1%】)
- ☆4 (2) 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる  
(思:「地球」を柱とする領域 4 B (4)ア(ア) 【+2.3】)

課題 ●市平均正答率が全国平均正答率を2%以上下回った設問

★市平均正答率が50%未満の設問

- ★2 (4) 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる  
(思:「粒子」を柱とする領域 4 A (2)ア(ウ) 5 A (1)ア(ウ) 【39.3%】)
- ★3 (1) 日光は直進することを理解している  
(知:「エネルギー」を柱とする領域 3 A (3)ア(ア) 【30.2%】)
- ★3 (4) 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる  
(思:「エネルギー」を柱とする領域 3 A (3)ア(ア)(イ) 【41.4%】)
- ★4 (3) 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる  
(思:「地球」を柱とする領域 4 B (4)ア(ウ) 【46.6%】)

## 【考察】

- ・市平均正答率と全国平均正答率の差が、前回の平成30年度(-0.2%)から令和4年度(+2.5%)にかけて2.7%上回っており、理科の授業改善の成果が表れていることが推察される。
- ・「生命」を柱とする領域で全国平均正答率を上回っている設問が多く、観察等の学習が充実していることが推察される。
- ・自分の考えをもち、その内容を記述することに課題が見られることから、知識を概念的に理解し、思考・判断したことを表現する活動を取り入れた授業改善が求められると考える。

## 【中学校国語】

成果 ○市平均正答率が全国平均正答率を上回った設問

☆市平均正答率が90%以上の設問

- 1三 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す  
(知：言葉の特徴や使い方に関する事項 1ア) (思：話・聞 1ウ) 【+0.9】
- 2二② 文脈に即して漢字を正しく書く (喜んで)  
(知：言葉の特徴や使い方に関する事項 2ウ) 【+2.5】
- 2三 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く  
(知：情報の扱い方に関する事項 1イ) (思：書 1ウ) 【+7.4】
- ☆4二 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する  
(知：我が国の言語文化に関する事項 2ウ(ア)) 【90.2% +0.1】

課題 ●市平均正答率が全国平均正答率を2.5%以上下回った設問

★市の無解答率が20%以上の設問 (今年度は該当なし)

- 1二 論理の展開などに注意して聞く (思：話・聞 2エ) 【-2.8】
- 3一 表現の技法について理解する (比喩／たとえ／比喩法／直喩等と答える設問)  
(知：言葉の特徴や使い方に関する事項 1オ) 【-6.3】
- 3三 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える  
(思：読 1イ) 【-3.3】
- 3四 場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する (思：読 1ウ) 【-3.2】
- 4一 行書の特徴を理解する (知：我が国の言語文化に関する事項 1エ(イ)) 【-3.8】

## 【考察】

- ・昨年度の市平均正答率を4.6%上回っており、全国平均正答率との差も0.2%縮まっていることから国語科における授業改善の成果が表れていることが推察される。
- ・昨年度課題であった「書くこと」に関する設問では、全国平均正答率を7.4%上回る結果となった。自校の課題を分析し、授業改善を図った成果であると推察される。
- ・知識及び技能のうち、言葉の特徴や使い方に関する事項に関する設問6問中4問で、市平均正答率が8割を超えている。漢字や文法、語句の意味については、指導が充実していることが推察される。
- ・表現技法に関する設問では、解答類型を見ると、条件②(同じ表現の技法が用いられているものを選ぶ)を満たし、条件①(表現技法の名称を答える)を満たしていない割合が42.4%だった。自校の生徒がどのような解答をしたのかを再度見直し、授業改善に生かす必要があると考える。
- ・行書の特徴に関する設問では、選択肢1(正答)を選んだ割合が35.6%、選択肢3(誤答)を選んだ割合が44.6%だった。漢字の行書の基礎的な書き方である「点画の連続」を、「点画の省略」と捉え違えたものと考えられるので、授業での丁寧な指導の充実が求められると考える。
- ・「読むこと」に関する設問では、昨年度に引き続き、文学的文章の読解に課題が見られる。初見の文章を読む際に、必要な情報に着目して要約する活動を取り入れる等の工夫が必要であると考える。

## 【中学校数学】

成果 ○市平均正答率70%以上の設問  
☆全国平均正答率を上回った設問

- ☆2 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる  
(数と式：2(2)ア(ウ))【+0.4】【74.9%】
- 5 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している  
(データの活用：1(2)ア(ア))【79.3%】
- 6(1) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる  
(数と式：2(1)ア(イ))【70.3%】
- ☆6(2) 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる  
(数と式：2(1)イ(イ))【+3.3】
- ☆7(1) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる  
(データの活用：1(1)イ(ア))【+0.7】
- ☆8(2) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる  
(関数：1(1)イ(イ))【+0.5】
- 9(1) 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。  
(図形：2(2)ア(ア))【71.8%】

課題 ●市平均正答率30%未満の設問  
★全国平均正答率を3%以上下回った設問

- ★1 自然数を素数の積で表すことができる  
(数と式：1(1)ア、イ)【-14.5】
- ★4 一次関数の変化の割合の意味を理解している  
(関数：2(1)ア(ア))【-4.9】
- ★5 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している  
(データの活用：1(2)ア(ア))【-4.0】
- ★6(1) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる  
(数と式：2(1)ア(イ))【-3.5】
- ★8(1) 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる  
(関数：1(1)ア(ウ)、イ(イ))【-4.5】
- 9(2) 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる  
(図形：2(2)イ(イ))【9.8%】

### 【考察】

- ・成果として挙げた7問のうち、記述式の設問に成果がみられることから、授業の中で、数学的な表現を用いて自分の考えを表現する場面を増やす等の授業改善がなされてきたことが推察される。
- ・課題として挙げた6問のうち、学習内容の意味の理解に課題がみられることから、概念的な理解の習得をさせたり、既習の学習内容を想起させたりするような授業改善を図る必要があると考える。
- ・課題として挙げた6問のうち、知識・技能を問う設問が5問あることから、授業の中で、思考・判断・表現力を習得する場面とあわせて知識・技能の確実な定着を意図した場面を増やす等の対策が必要であると考える。



## 【中学校理科】

成果 ○市平均正答率70%以上の設問  
☆全国平均正答率を上回った設問

- 1(2) モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる (エネルギー：(3)(ア)) **【78.2%】**
- 3(1) 化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる (粒子：(4)(イ)) **【79.3%】**
- ☆○4(1) 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる (生命：(1)(イ)) **【74.9% +0.4】**
- ☆8(3) 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる (生命：(1)(イ)) **【+2.4】**

課題 ●市平均正答率30%未満の設問  
★全国平均正答率を3%以上下回った設問

- 2(3) 飛行機雲の残り方を科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる (地球：(4)(イ)) **【27.3%】**
- 3(3) 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる (エネルギー：(3)(ア) 粒子：(4)(イ)) **【23.3%】**
- ★●5(1) 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる (エネルギー：(1)(イ)) **【11.8% -3.5】**
- ★●7(1) 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる (粒子：(2)(ウ)) **【29.9% -6.0】**
- ★8(2) 予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる (生命：(3)(ウ)) **【-3.1】**

## 【考察】

- ・平成30年度と比べて平均正答率の全国との差が1.0%改善しており、授業改善が進みつつあると推察される。
- ・成果として挙げた4問は、関連する図や説明文が解答に直接結びつくものであることから、示された図や説明を根拠として科学的な知識・技能や思考・判断・表現を問う問題では十分な力を発揮することができていると推察される。
- ・課題として挙げた5問は、自然の事物・現象や科学的に探究する活動に関わる様々な知識・技能を関連づけすることで答えが導き出される問題である。授業で「自分の予想をもとに観察や実験の計画をたてる場面」、「観察や実験の結果をもとに考察する場面」、「観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考える場面」を増やす等の授業改善が必要であると考えられる。
- ・設問4(1)は、新学習指導要領で第三学年から第一学年へ移行した内容であり、その正答率は全国的にも低い。全体を見通した「単元計画」を見直し、授業改善に生かす必要があると考えられる。



**4 児童生徒質問紙・  
学校質問紙調査結果**

(1) 児童質問紙  
 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

				(単位は%)		県との差		全国との差	
番号	質問事項	市	県	国	-10.0	+10.0	-10.0	+10.0	
(1)	朝食を毎日食べていますか	93.8	94.7	94.4	-0.9	-0.6			
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.5	81.5	81.5	-2.0	-2.0			
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.8	90.3	90.4	-0.5	-0.6			
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	68.4	70.1	71.5	-1.7	-3.1			
(5)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間以上)	80.2	78.7	76.1	+1.5	+4.1			
(6)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)(1時間以上)	51.6	50.4	50.6	+1.2	+1.0			
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	81.2	80.9	79.3	+0.3	+1.9			
(8)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	89.6	90.7	87.1	-1.1	+2.5			
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	82.5	80.0	79.8	+2.5	+2.7			
(10)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	88.0	87.6	87.2	+0.4	+0.8			
(11)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	73.5	74.7	72.5	-1.2	+1.0			
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか	89.1	88.0	88.9	+1.1	+0.2			
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.7	96.7	96.8	+0.0	-0.1			
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	66.4	68.8	68.1	-2.4	-1.7			
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.7	95.3	95.1	+0.4	+0.6			
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.1	85.9	85.4	+1.2	+1.7			
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.3	73.1	73.5	+1.2	+0.8			
(18)	友達と協力するのは楽しいと思いますか	93.6	93.5	94.0	+0.1	-0.4			
(19)	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)	91.1	91.3	97.2	-0.2	-6.1			
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	72.8	71.9	71.1	+0.9	+1.7			

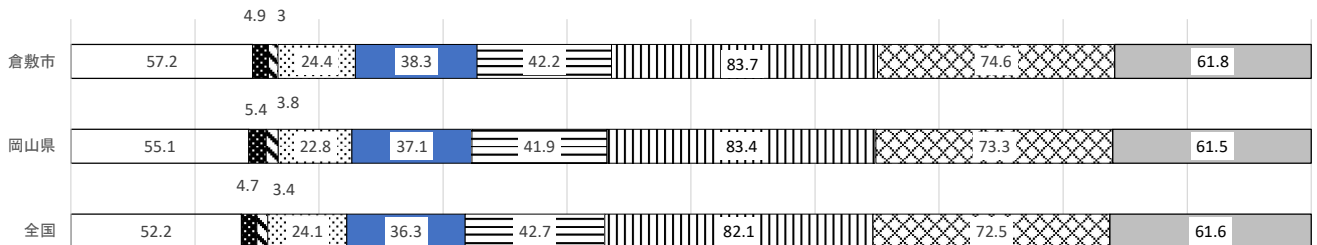
(単位は%)					県との差		全国との差	
番号	質問事項	市	県	国	-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(21)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(1時間以上)	73.3	67.1	59.4		+6.2	+13.9	
(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(1時間以上)	63.5	59.0	56.1		+4.5	+7.4	
(23)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(1時間以上)	19.1	17.4	17.3		+1.7		+1.8
(24)	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)(101冊以上)	35.1	33.4	35.3		+1.7		-0.2
(25)	新聞を読んでいますか(週に1~3回程度以上)	13.0	13.4	13.8		-0.4		-0.8
(26)	読書は好きですか	78.0	76.7	73.1		+1.3		+4.9
(27)	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか	64.9	64.2	65.1		+0.7		-0.2
(28)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く)	29.9	30.9	30.6		-1.0		-0.7
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	46.1	57.3	52.7		-11.2		-6.6
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	51.5	52.0	51.3		-0.5		+0.2
(31)	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)	図参照						
(32)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週3回以上)	63.4	53.8	58.2	+9.6			+5.2
(33)	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)(週3回以上)	48.0	38.8	43.9		+9.2		+4.1
(34)	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週3回以上)	25.5	18.9	22.5		+6.6		+3.0
(35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週3回以上)	24.5	17.8	21.7		+6.7		+2.8
(36)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.3	95.2	94.4		+1.1		+1.9
(37)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(1時間以上)	25.1	21.5	21.6		+3.6		+3.5
(38)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	65.9	65.5	65.4		+0.4		+0.5
(39)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	75.2	76.1	77.3		-0.9		-2.1
(40)	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	73.1	72.4	72.2		+0.7		+0.9

				(単位は%)		県との差		全国との差		
番号	質問事項	市	県	国	-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(41)	5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	67.3	68.8	68.4			-1.5			-1.1
(42)	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	80.9	81.1	79.7			-0.2			+1.2
(43)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	80.3	80.8	80.1			-0.5			+0.2
(44)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	79.0	78.5	78.2			+0.5			+0.8
(45)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	71.4	72.0	72.7			-0.6			-1.3
(46)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	73.1	73.5	73.5			-0.4			-0.4
(47)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	73.7	74.3	73.8			-0.6			-0.1
(48)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	80.2	79.9	80.0			+0.3			+0.2
(49)	国語の勉強は好きですか	58.4	58.7	59.2			-0.3			-0.8
(50)	国語の勉強は大切だと思いますか	93.3	93.4	93.3			-0.1			+0.0
(51)	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.7	83.3	84.0			-0.6			-1.3
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	92.2	91.8			-0.8			-0.4
(53)	算数の勉強は好きですか	60.5	61.3	62.5			-0.8			-2.0
(54)	算数の勉強は大切だと思いますか	94.4	94.3	94.2			+0.1			+0.2
(55)	算数の授業の内容はよく分かりますか	79.3	80.1	81.2			-0.8			-1.9
(56)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.7	93.8	93.3			-0.1			+0.4
(57)	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.9	68.4	69.3			+0.5			-0.4
(58)	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	80.3	80.0	80.4			+0.3			-0.1
(59)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.2	75.5	76.8			+0.7			-0.6
(60)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	84.2	84.6	85.7			-0.4			-1.5

(単位は%)

番号	質問事項	市	県	国	県との差		全国との差	
					差	差	差	差
(61)	理科の勉強は好きですか	80.0	78.8	79.7	+1.2	+0.3		
(62)	理科の勉強は大切だと思いますか	88.0	87.6	86.5	+0.4	+1.5		
(63)	理科の授業の内容はよく分かりますか	89.0	88.2	88.5	+0.8	+0.5		
(64)	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	69.9	68.8	67.9	+1.1	+2.0		
(65)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.7	79.5	77.2	+0.2	+2.5		
(66)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	29.0	26.9	26.6	+2.1	+2.4		
(67)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	80.5	79.0	78.0	+1.5	+2.5		
(68)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	84.6	84.4	84.9	+0.2	-0.3		
(69)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	72.3	73.4	72.2	-1.1	+0.1		
(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	95.5	96.4	95.4	-0.9	+0.1		
(国2)	解答時間は十分でしたか(45分)	71.3	69.0	66.0	+2.3	+5.3		
(算1)	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	96.7	97.4	96.8	-0.7	-0.1		
(算2)	解答時間は十分でしたか(45分)	83.5	83.0	83.4	+0.5	+0.1		
(理1)	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	96.5	97.1	96.5	-0.6	+0.0		
(理2)	解答時間は十分でしたか(45分)	91.1	90.5	90.8	+0.6	+0.3		

(31)放課後や週末に何をしておこなうことが多いですか。(複数選択)



- 家で勉強や読書をしている
- 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している
- 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民による学習・体験プログラムを含む)
- 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている
- スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている
- 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている
- 家族と過ごしている
- 友達と遊んでいる

(2) 生徒質問紙  
 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	(単位は%)			県との差			全国との差		
		市	県	国	-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(1)	朝食を毎日食べていますか	91.8	92.0	91.9			-0.2			-0.1
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.7	81.5	79.9			-1.8			-0.2
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	92.0	92.2			-0.8			-1.0
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	63.3	64.8	69.5			-1.5			-6.2
(5)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間以上)	74.8	73.3	71.3			+1.5			+3.5
(6)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)(1時間以上)	78.8	75.9	75.8			+2.9			+3.0
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	80.8	81.1	78.5			-0.3			+2.3
(8)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.6	90.0	86.6			-1.4			+2.0
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	68.8	69.2	67.3			-0.4			+1.5
(10)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	88.2	88.7	86.6			-0.5			+1.6
(11)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	67.7	70.1	67.1			-2.4			+0.6
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか	87.6	87.7	88.4			-0.1			-0.8
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	96.6	96.4			-0.2			+0.0
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	66.1	67.9	66.6			-1.8			-0.5
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.7	95.6	95.0			+0.1			+0.7
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか	84.3	83.9	82.9			+0.4			+1.4
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.7	76.4	76.9			-1.7			-2.2
(18)	友達と協力するのは楽しいと思いますか	72.7	73.5	75.9			-0.8			-3.2
(19)	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)	74.7	77.7	77.6			-3.0			-2.9
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	57.4	56.8	59.1			+0.6			-1.7

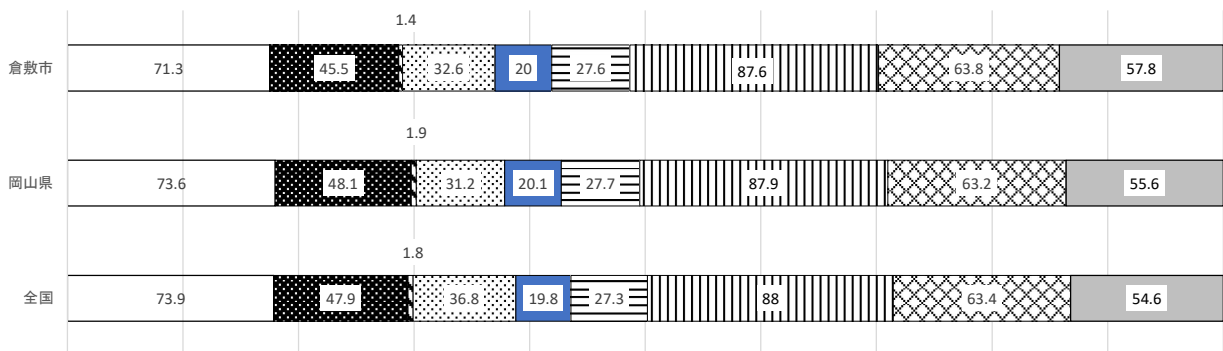


番号	質問事項	(単位は%)			県との差		全国との差	
		市	県	国	-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(21)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(1時間以上)	63.1	64.9	69.5	-1.8		-6.4	
(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	66.9	66.6	65.9	+0.3		+1.0	
(23)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(1時間以上)	13.8	13.7	12.4	+0.1		+1.4	
(24)	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)	37.1	35.5	34.2	+1.6		+2.9	
(25)	新聞を読んでいますか(週に1~3回程度以上)	8.0	10.2	9.4	-2.2		-1.4	
(26)	読書は好きですか	68.4	70.5	68.2	-2.1		+0.2	
(27)	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあります	53.6	55.0	55.0	-1.4		-1.4	
(28)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(習い事の先生は除く)	21.6	21.2	21.1	+0.4		+0.5	
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	18.6	19.2	19.5	-0.6		-0.9	
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	40.4	42.5	40.7	-2.1		-0.3	
(31)	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)	図参照						
(32)	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか(週3回以上)	58.3	45.6	50.9	+12.7		+7.4	
(33)	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)(週3回以上)	32.9	29.5	37.2	+3.4		-4.3	
(34)	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週3回以上)	16.8	13.6	17.8	+3.2		-1.0	
(35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(週3回以上)	15.5	12.0	15.0	+3.5		+0.5	
(36)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	93.8	93.3	92.6	+0.5		+1.2	
(37)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(1時間以上)	18.4	17.2	17.7	+1.2		+0.7	
(38)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.6	60.2	63.3	-0.6		-3.7	
(39)	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.3	78.9	79.2	-1.6		-1.9	
(40)	1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	66.2	69.4	67.4	-3.2		-1.2	

番号	質問事項	(単位は%)			県との差		全国との差	
		市	県	国	-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
(41)	1, 2年生のときに受けた授業では, 自分の思いや考えをもとに, 作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか	65.8	66.6	67.2		-0.8		-1.4
(42)	1, 2年生のときに受けた授業は, 自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていましたか	74.5	76.6	75.3		-2.1		-0.8
(43)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができますか	77.1	79.8	78.7		-2.7		-1.6
(44)	学習した内容について, 分かった点や, よく分からなかった点を見直し, 次の学習につなげることができていますか	73.3	74.7	74.7		-1.4		-1.4
(45)	総合的な学習の時間では, 自分で課題を立てて情報を集め整理して, 調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	70.3	73.2	72.1		-2.9		-1.8
(46)	あなたの学級では, 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い, 互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	70.3	76.8	76.8		-6.5		-6.5
(47)	学級活動における学級での話し合いを生かして, 今, 自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	68.4	72.7	71.7		-4.3		-3.3
(48)	道徳の授業では, 自分の考えを深めたり, 学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	82.7	86.3	85.5		-3.6		-2.8
(49)	国語の勉強は好きですか	65.0	63.5	61.9		+1.5		+3.1
(50)	国語の勉強は大切だと思いますか	92.9	93.0	93.2		-0.1		-0.3
(51)	国語の授業の内容はよく分かりますか	70.7	74.4	73.7		-3.7		-3.0
(52)	国語の授業で学習したことは, 将来, 社会に出たときに役に立つと思いますか	89.6	89.5	89.7		+0.1		-0.1
(53)	数学の勉強は好きですか	60.2	59.5	58.1		+0.7		+2.1
(54)	数学の勉強は大切だと思いますか	88.2	88.1	86.6		+0.1		+1.6
(55)	数学の授業の内容はよく分かりますか	77.7	77.5	76.2		+0.2		+1.5
(56)	数学の授業で学習したことは, 将来, 社会に出たときに役に立つと思いますか	79.3	78.8	76.5		+0.5		+2.8
(57)	数学の授業で学習したことを, 普段の生活の中で活用できないか考えますか	50.2	49.6	47.3		+0.6		+2.9
(58)	数学の問題の解き方が分からないときは, あきらめずにいろいろな方法を考えますか	74.7	75.7	75.2		-1.0		-0.5
(59)	数学の授業で問題を解くとき, もっと簡単に解く方法がないか考えますか	69.9	70.2	70.2		-0.3		-0.3
(60)	数学の授業で公式やきまりを習うとき, そのわけを理解するようにしていますか	78.4	79.6	79.6		-1.2		-1.2

番号	質問事項	(単位は%)			県との差		全国との差			
		市	県	国						
					-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(61)	理科の勉強は好きですか	68.6	67.6	66.4			+1.0			+2.2
(62)	理科の勉強は大切だと思いますか	76.7	77.5	76.8			-0.8			-0.1
(63)	理科の授業の内容はよく分かりますか	76.5	76.5	75.2			+0.0			+1.3
(64)	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	51.6	53.0	52.7			-1.4			-1.1
(65)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	60.5	61.6	61.5			-1.1			-1.0
(66)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.9	23.0	22.1			-0.1			+0.8
(67)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	64.0	66.1	64.5			-2.1			-0.5
(68)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	76.4	78.3	78.9			-1.9			-2.5
(69)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	67.6	69.6	68.1			-2.0			-0.5
(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	95.7	95.9	94.7			-0.2			+1.0
(国2)	解答時間は十分でしたか(50分)	85.2	86.1	84.9			-0.9			+0.3
(数1)	今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	93.9	95.3	94.7			-1.4			-0.8
(数2)	解答時間は十分でしたか(50分)	68.1	70.9	71.0			-2.8			-2.9
(理1)	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	97.2	97.6	97.3			-0.4			-0.1
(理2)	解答時間は十分でしたか(50分)	92.7	93.5	93.2			-0.8			-0.5

(31)放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。(複数選択)



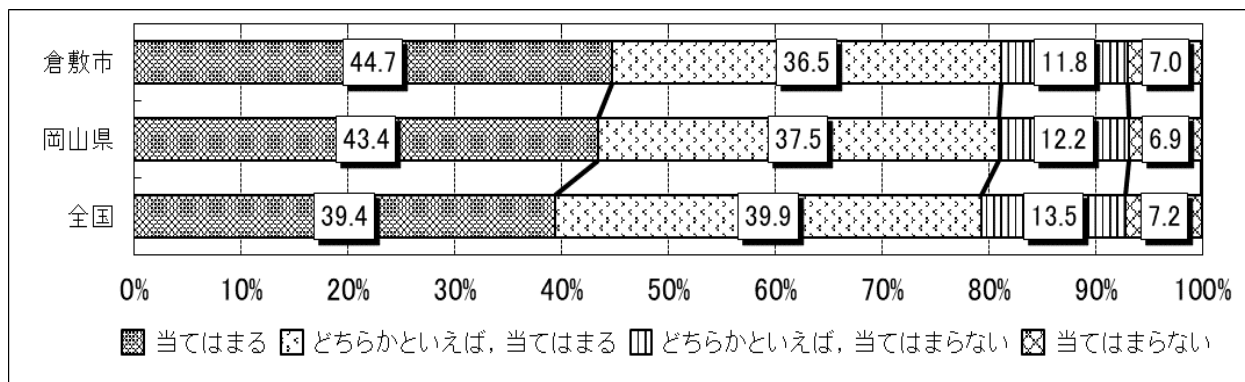
- 学校の部活動に参加している
- 家で勉強や読書をしている
- 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民による学習・体験プログラムを含む)
- 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている
- スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている
- 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている
- 家族と過ごしている
- 友達と遊んでいる

### (3) 児童生徒質問紙 質問ごとの分析

#### 【自己肯定感等に関する質問】(児童生徒質問紙：P76～P82)

小中(7) ・自分には、よいところがあると思いますか

#### 【小学6年生】

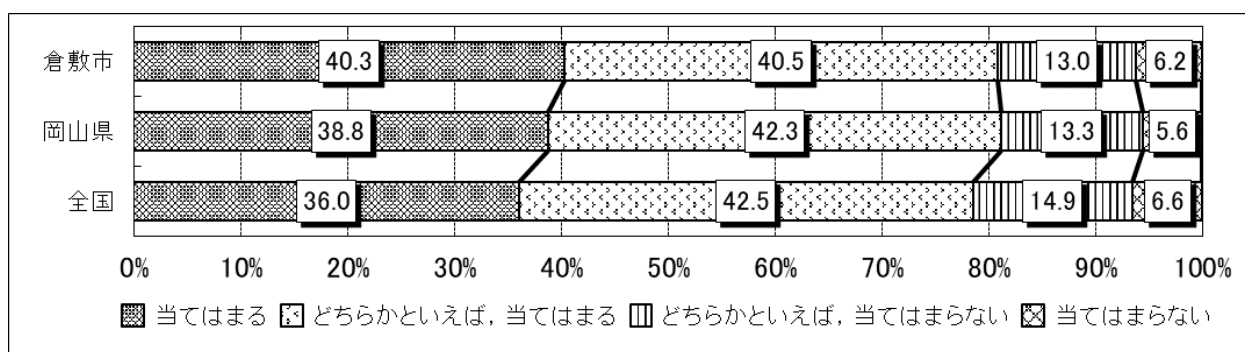


○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市 : 81.2 全国 : 79.3 差 : +1.9
- \* R 3 倉敷市 : 78.1 全国 : 76.9 差 : +1.2
- \* R 1 倉敷市 : 81.5 全国 : 81.2 差 : +0.3
- \* H 3 0 倉敷市 : 83.3 全国 : 84.0 差 : -0.7
- \* H 2 9 倉敷市 : 77.7 全国 : 77.9 差 : -0.2

R 2 倉敷市 : 74.6  
 全国 : -  
 差 : -  
 ※中止のため

#### 【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市 : 80.8 全国 : 78.5 差 : +2.3
- \* R 3 倉敷市 : 77.2 全国 : 76.2 差 : +1.0
- \* R 1 倉敷市 : 74.5 全国 : 74.1 差 : +0.4
- \* H 3 0 倉敷市 : 79.9 全国 : 78.8 差 : +1.1
- \* H 2 9 倉敷市 : 71.7 全国 : 70.7 差 : +1.0

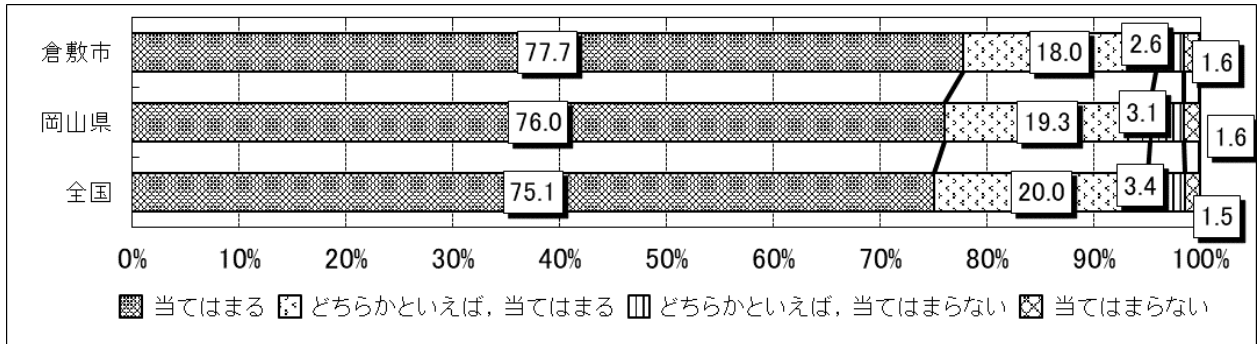
R 2 倉敷市 : 73.5  
 全国 : -  
 差 : -  
 ※中止のため

○小・中学校とも、肯定的な回答の割合が80%を超えており、全国を上回っている。  
 ○小学校、中学校とも、昨年度より肯定的な回答が増えている。

【自己肯定感等に関する質問】（児童生徒質問紙：P76～P82）

小中（15） ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【小学6年生】

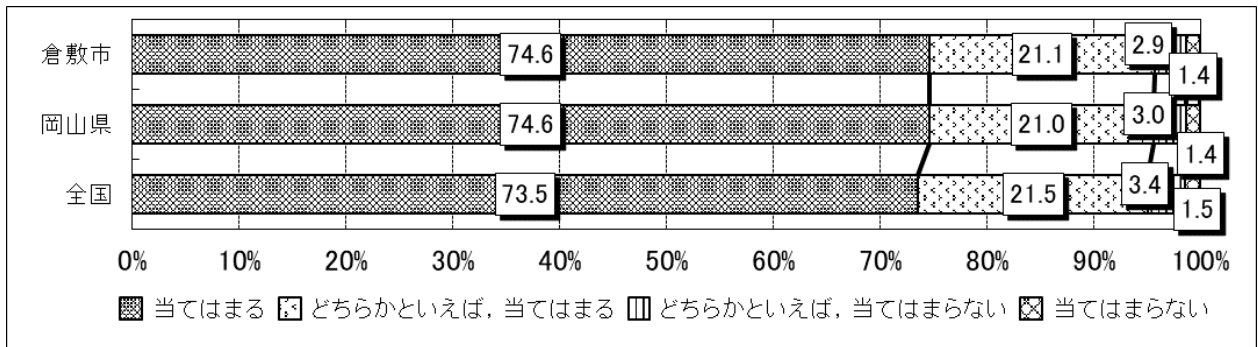


○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市：95.7 全国：95.1 差：+0.6
- \* R 3 倉敷市：95.9 全国：95.5 差：+0.4
- \* R 1 倉敷市：94.7 全国：95.2 差：-0.5
- \* H 3 0 倉敷市：95.4 全国：95.2 差：+0.2
- \* H 2 9 倉敷市：92.7 全国：92.5 差：+0.2

R 2 倉敷市：89.5  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市：95.7 全国：95.0 差：+0.7
- \* R 3 倉敷市：94.9 全国：95.0 差：-0.1
- \* R 1 倉敷市：94.2 全国：94.3 差：-0.1
- \* H 3 0 倉敷市：95.2 全国：94.9 差：+0.3
- \* H 2 9 倉敷市：92.0 全国：91.9 差：+0.1

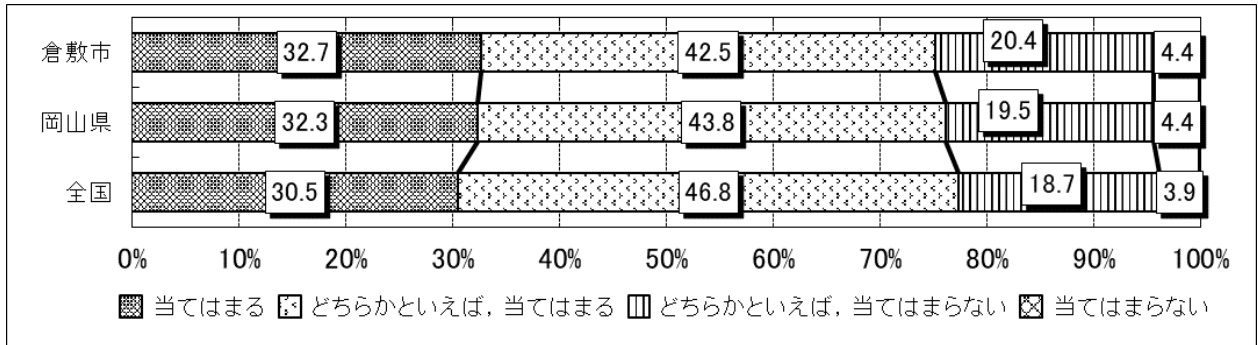
R 2 倉敷市：90.3  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

○小・中学校とも、肯定的な回答の割合が95%を超えており、全国を上回っている。

【授業に関する質問】（児童生徒質問紙：P76～P82）

小中（39） ・前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

【小学6年生】

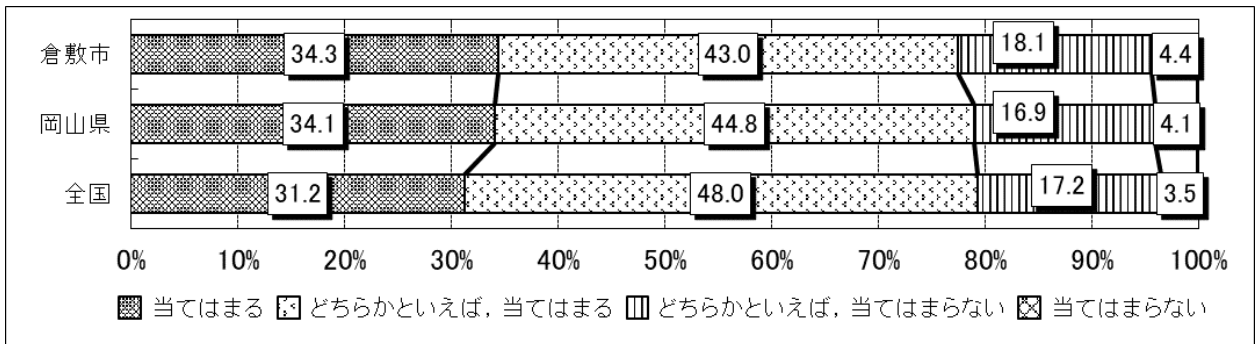


○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市：75.2 全国：77.3 差：-2.1
- \* R 3 倉敷市：74.8 全国：78.2 差：-3.4
- \* R 1 倉敷市：75.3 全国：77.7 差：-2.4
- \* H 3 0 倉敷市：72.7 全国：76.7 差：-4.0
- \* H 2 9 倉敷市：73.2 全国：77.9 差：-4.7

R 2 倉敷市：71.0  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

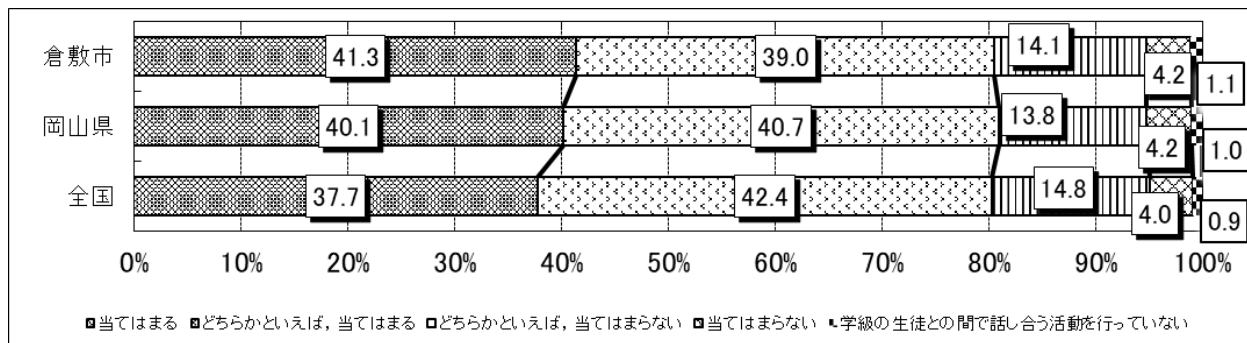
- \* R 4 倉敷市：77.3 全国：79.2 差：-1.9
- \* R 3 倉敷市：80.4 全国：81.0 差：-0.6
- \* R 1 倉敷市：70.2 全国：74.8 差：-4.6
- \* H 3 0 倉敷市：70.4 全国：73.8 差：-3.4
- \* H 2 9 倉敷市：70.8 全国：74.9 差：-4.1

R 2 倉敷市：70.9  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

○小・中学校とも、肯定的な回答が全国よりも下回っているものの、H29年度以降、差を縮めている。

小中（４３） ・学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを  
深めたり、広げたりすることができますか

【小学6年生】

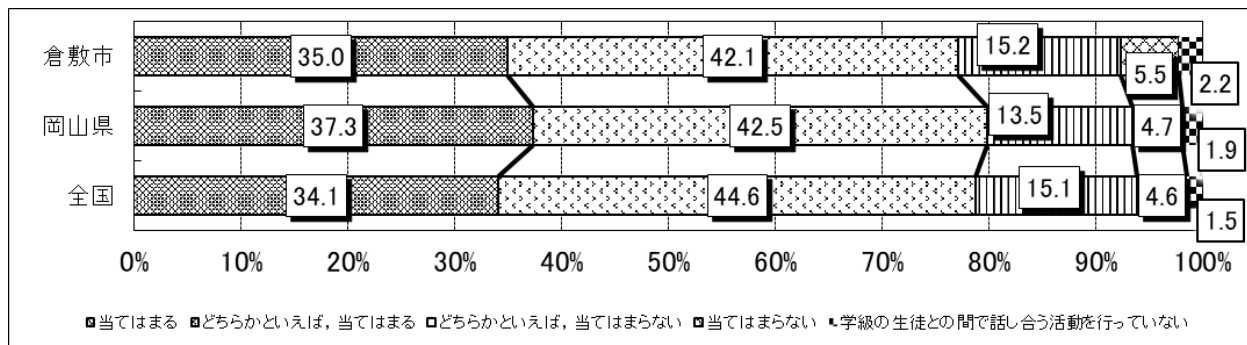


○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市：80.3 全国：80.1 差：+0.2
- \* R 3 倉敷市：77.4 全国：78.8 差：-1.4
- \* R 1 倉敷市：69.7 全国：74.1 差：-4.4
- \* H 3 0 倉敷市：75.6 全国：77.7 差：-2.1
- \* H 2 9 倉敷市：64.6 全国：68.2 差：-3.6

R 2 倉敷市：70.6  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

【中学3年生】



○「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市：77.1 全国：78.7 差：-1.6
- \* R 3 倉敷市：75.1 全国：77.8 差：-2.7
- \* R 1 倉敷市：67.3 全国：72.8 差：-5.5
- \* H 3 0 倉敷市：71.6 全国：76.3 差：-4.7
- \* H 2 9 倉敷市：60.6 全国：64.8 差：-4.2

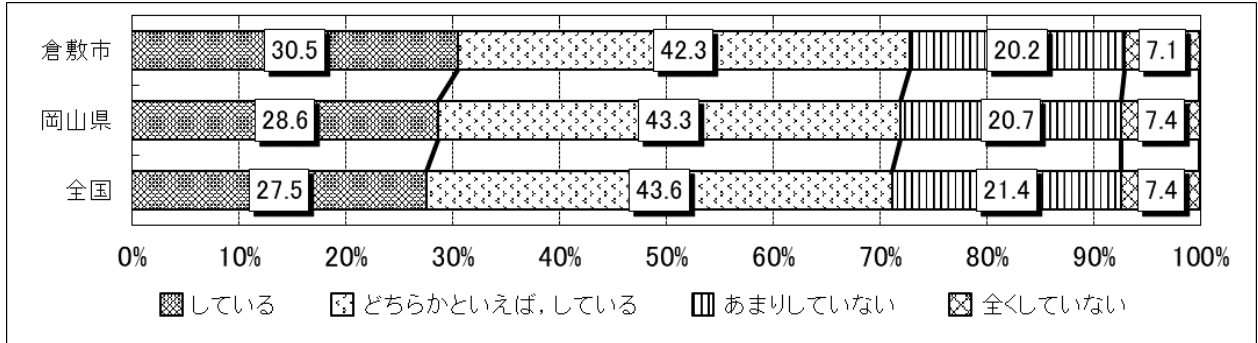
R 2 倉敷市：72.5  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

○小・中学校とも、肯定的な回答の割合がH29年度以降で最も高くなっている。  
 ○小・中学校とも、肯定的な回答はH29年度と比較すると、15%以上増えている。

**【家庭学習に関する質問】（児童生徒質問紙：P76～P82）**

小中（20）・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む。）

**【小学6年生】**

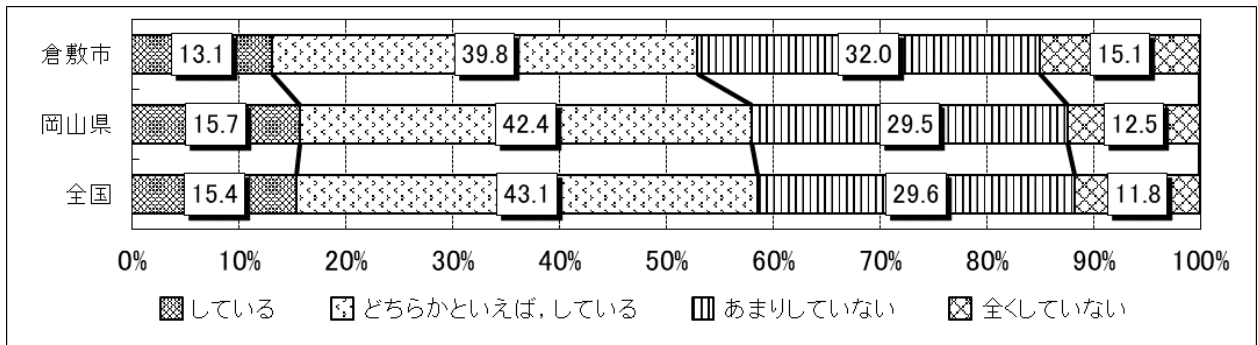


○「している」、「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合

- \* R 4 倉敷市：72.8 全国：71.1 差：+1.7
- \* R 3 倉敷市：75.2 全国：74.0 差：+1.2
- \* R 1 倉敷市：70.8 全国：71.5 差：-0.7
- \* H 3 0 倉敷市：68.1 全国：67.6 差：+0.5
- \* H 2 9 倉敷市：65.6 全国：64.5 差：+1.1

R 2 倉敷市：65.4  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

**【中学3年生】**



○「している」、「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合

- \* R 4 倉敷市：57.4 全国：59.1 差：-1.7
- \* R 3 倉敷市：59.6 全国：63.5 差：-3.9
- \* R 1 倉敷市：45.2 全国：50.4 差：-5.2
- \* H 3 0 倉敷市：47.4 全国：52.1 差：-4.7
- \* H 2 9 倉敷市：46.7 全国：51.5 差：-4.8

R 2 倉敷市：45.7  
 全国：－  
 差：－  
 ※中止のため

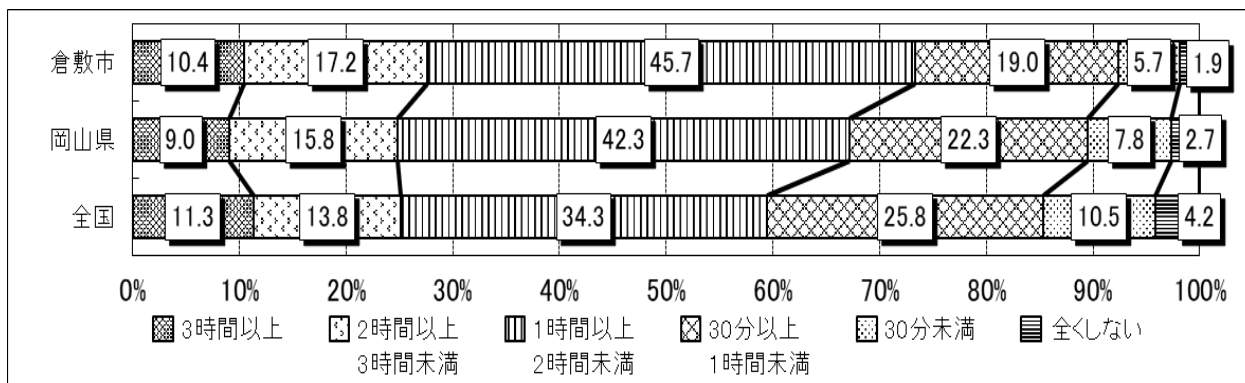
○小学校は、肯定的な回答の割合が昨年度に比べ低くなっているものの、全国よりも上回り、差を広げている。  
 ○中学校は、肯定的な回答の割合が昨年度に比べ低くなっているものの、昨年度より全国との差を縮めている。



【家庭学習に関する質問】（児童生徒質問紙：P76～P82）

小中（21） ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり  
どれくらいの時間、勉強しますか（学習塾や家庭教師やインター  
ネット活用を含む）

【小学6年生】

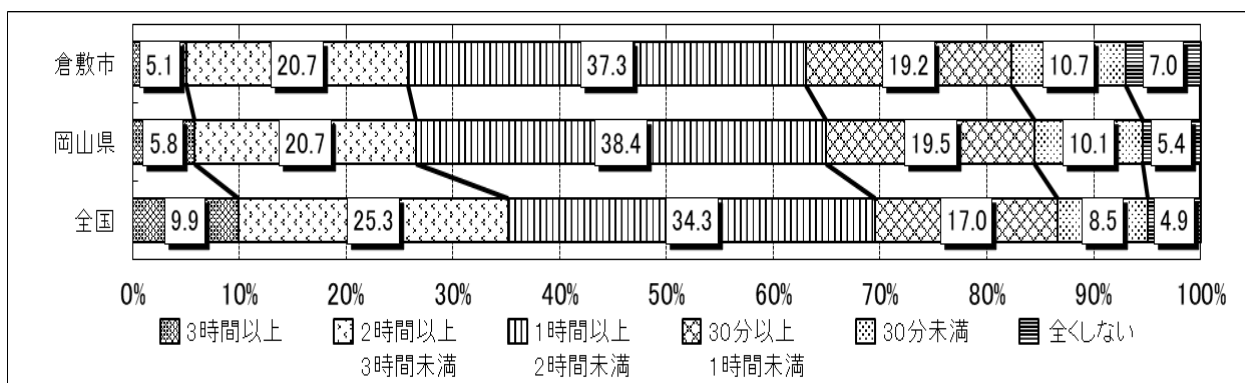


○平日に1時間以上学習する児童の割合

- \* R 4 倉敷市：73.3 全国：59.4 差：+13.9
- \* R 3 倉敷市：76.6 全国：62.5 差：+14.1
- \* R 1 倉敷市：74.8 全国：66.1 差：+8.7
- \* H 3 0 倉敷市：72.6 全国：66.2 差：+6.4
- \* H 2 9 倉敷市：72.9 全国：64.4 差：+8.5

R 2 倉敷市：72.5  
全国：－  
差：－  
※中止のため

【中学3年生】



○平日に1時間以上学習する生徒の割合

- \* R 4 倉敷市：63.1 全国：69.5 差：-6.4
- \* R 3 倉敷市：72.7 全国：75.9 差：-3.2
- \* R 1 倉敷市：62.6 全国：69.8 差：-7.2
- \* H 3 0 倉敷市：58.7 全国：70.6 差：-11.9
- \* H 2 9 倉敷市：56.0 全国：69.6 差：-13.6

R 2 倉敷市：69.7  
全国：－  
差：－  
※中止のため

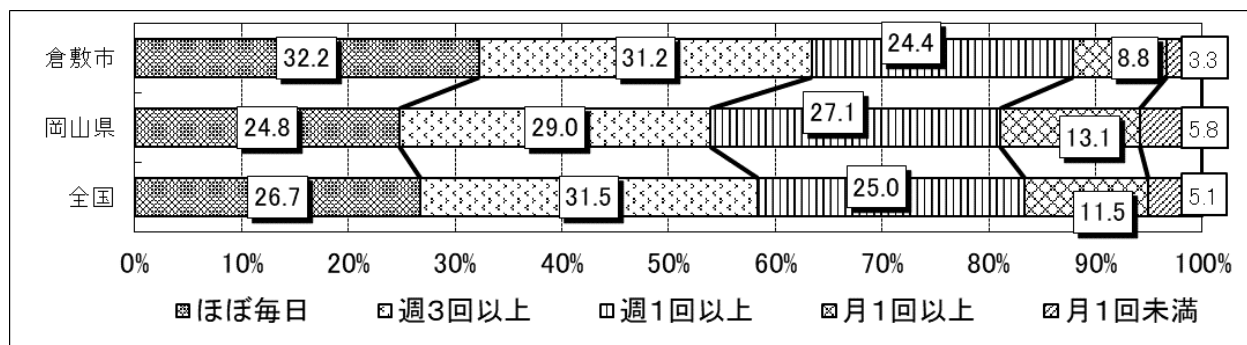
○小学校は、1時間以上学習する児童生徒の割合が70%を上回っており、全国よりも10%以上上回っている。

○中学校は、1時間以上学習する児童生徒の割合を全国と比較すると下回っているが、H29年度以降、全国との差を縮めている。

## 【ICT機器の活用に関する質問】（児童生徒質問紙：P76～P82）

小中（32）・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

### 【小学6年生】



○「ほぼ毎日」、「週3日以上」と回答した児童の割合

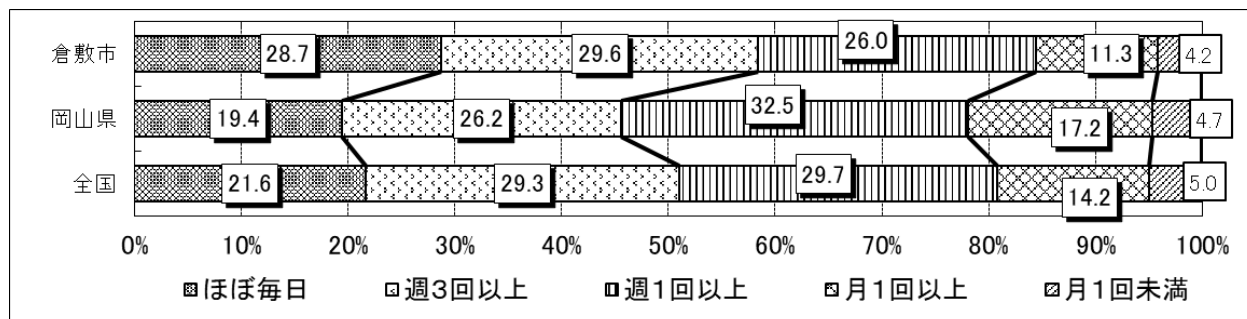
\*R4 倉敷市：63.4 全国：58.2 差：+5.2

※「ほぼ毎日」、「週3日以上」、「週1回以上」と回答した児童の割合

\*R4 倉敷市：87.8 全国：83.2 差：+4.6

\*R3 倉敷市：31.3 全国：40.1 差：+8.8

### 【中学3年生】



○「ほぼ毎日」、「週3日以上」と回答した生徒の割合

\*R4 倉敷市：58.3 全国：50.9 差：+7.4

※「ほぼ毎日」、「週3日以上」、「週1回以上」と回答した児童の割合

\*R4 倉敷市：84.3 全国：80.6 差：+3.7

\*R3 倉敷市：22.2 全国：33.4 差：+11.2

○小・中学校ともに「ほぼ毎日」、「週3日以上」と回答した生徒の割合が全国平均を上回っており、「週1回以上」で集計した昨年度より50%以上上回っている。

#### (4) 児童生徒質問紙の結果から

##### 児童質問紙 (小学6年生)

比較対象はR3年度

##### 【成果】

##### ○肯定的回答の割合が上昇した項目

設問32 「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」 ↑+56.5%

※ 本年度、結果報告書の「各質問事項の肯定的な問い等の割合(設問順)」では、週3回以上を肯定的回答として集計しており、昨年度は週1回以上を肯定的回答として集計している。右に記した数値は本年度の肯定的回答を週1回以上として集計した場合で比較した数値。

設問40 「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」 ↑+9.2%

##### ○肯定的回答の割合が高かった項目

設問36 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」 96.3%

設問50 「国語の勉強は大切だと思いますか」 93.3%

設問52 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 91.4%

設問54 「算数の勉強は大切だと思いますか」 94.4%

設問56 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 93.7%

##### 【課題】

##### ●肯定的回答の割合が下降した項目

設問53 「算数の勉強は好きですか」 ↓-7.8%

設問63 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」 ↓-4.1%

##### ●肯定的回答の割合が低かった項目

設問23 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」(※回答:1時間以上) 19.1%

設問25 「新聞を読んでいますか」(※回答:週1~3回以上) 13.0%

##### 【考察】

##### ○肯定的回答の割合が上昇した項目について

・昨年度より大幅に肯定的回答が上昇しており、授業において、調査活動や発表や話し合いの活動を中心に、一人一台端末の利活用が積極的に行われていると推察される。

##### ○肯定的回答の割合が高かった項目について

・授業中の活動の中で、一人一台端末を活用する場面が増えたことによって、児童がICT機器の有効性を感じており、今後も積極的な利活用が期待される。

##### ●肯定的回答の割合が下降した項目について

・昨年度に比べ若干降下しており、児童の意欲を高める指導の在り方を工夫することが求められる。

##### ●肯定的回答の割合が低かった項目について

・活字離れが顕著であると考えられ、ICTを効果的に活用した取組の中で、電子媒体の書籍や新聞に触れられるような授業の組み立てをする等、工夫することが求められる。

## 【成果】

## ○肯定的回答の割合が上昇した項目

設問 3 2 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」 ↑+62.1%

※ 本年度、結果報告書の「各質問事項の肯定的な問い等の割合（設問順）」では、週3回以上を肯定的回答として集計しており、昨年度は週1回以上を肯定的回答として集計している。右に記した数値は本年度の肯定的回答を週1回以上として集計した場合で比較した数値。

設問 4 0 「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」 ↑+9.7%

## ○肯定的回答の割合が高かった項目

設問 3 6 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

93.8%

設問 4 4 「国語の勉強は大切だと思いますか」 92.9%

設問 5 2 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 89.6%

設問 5 4 「数学の勉強は大切だと思いますか」 88.2%

## 【課題】

## ●肯定的回答の割合が下降した項目

設問 2 6 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」 ↓-17.0%

設問 5 1 「国語の授業の内容はよく分かりますか」 ↓-9.5%

## ●肯定的回答の割合が低かった項目

設問 2 9 「新聞を読んでいますか」 8.0%

設問 3 4 「学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか（※回答：週3回以上）」 16.8%

設問 3 5 「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（※回答：週3回以上）」 15.5%

## 【考察】

## ○肯定的回答の割合が上昇した項目について

- ・昨年度より大幅に肯定的回答が上昇しており、授業において、一人一台端末の利活用が積極的に行われていると推察される。
- ・授業の中で、生徒が思考する活動時間を確保したり、授業の振り返りで自分の考えを記述する活動を取り入れたりするなど、各教科での授業改善が進んでいると推察される。

## ○肯定的回答の割合が高かった項目について

- ・授業中の活動の中で、一人一台端末を活用する場面が増えたことによって、児童がICT機器の有効性を感じていると推察される。

## ●肯定的回答の割合が下降した項目について

- ・他者との接触をできるだけ作らないようにする状況が続いていることから、地域の行事や課外での活動が難しいことが一因であると推測される。

## ●肯定的回答の割合が低かった項目について

- ・一人一台端末の活用は進んできているが、発表や話し合いなどの協働学習の場面での利活用は少ないと推察され、場面に応じた一人一台端末の活用を工夫することが求められると考える。

(5) 学校質問紙  
 小学6年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	(単位は%)			県との差		全国との差	
		市	県	国	-10.0 ▼ +10.0	-10.0 ▼ +10.0		
(7)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	95.0	89.2	87.2	+5.8		+7.8	
(8)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	85.0	86.2	84.6		-1.2	+0.4	
(9)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	98.4	95.9	96.2		+2.5	+2.2	
(10)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	100.0	98.6	98.7		+1.4	+1.3	
(11)	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか	100.0	91.1	88.4	+8.9		+11.6	
(12)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか(年に数回程度以上)	96.6	95.6	96.0		+1.0	+0.6	
(13)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか(年に数回程度以上)	98.2	97.0	98.1		+1.2	+0.1	
(14)	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか	98.4	94.6	95.0		+3.8	+3.4	
(15-1)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、児童の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか	80.0	64.3	63.5	+15.7		+16.5	
(15-2)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	65.0	52.1	60.8	+12.9		+4.2	
(15-3)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	53.3	43.2	50.3	+10.1		+3.0	
(15-4)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか	70.0	67.9	71.5		+2.1	-1.5	
(15-5)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務は軽減しましたか	71.6	74.1	73.7		-2.5	-2.1	
(16)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	93.3	95.1	94.8		-1.8	-1.5	
(17)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	96.7	97.5	94.2		-0.8	+2.5	
(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	93.4	93.8	92.3		-0.4	+1.1	
(19)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	100.0	99.4	97.7		+0.6	+2.3	
(20)	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	78.3	80.8	83.6		-2.5	-5.3	
(21)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	66.7	65.5	76.0	+1.2		-9.3	
(23)	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	88.3	88.9	87.2		-0.6	+1.1	
(24)	調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	66.7	70.6	75.1		-3.9	-8.4	
(25)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	80.0	83.3	83.8		-3.3	-3.8	
(26)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	80.0	77.0	80.9		+3.0	-0.9	
(27)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	96.6	93.0	90.7		+3.6	+5.9	
(28)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	98.3	95.7	96.8		+2.6	+1.5	
(29)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	90.0	87.0	89.8		+3.0	+0.2	
(30)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	90.0	85.7	88.0		+4.3	+2.0	
(31)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	86.6	79.2	83.4	+7.4		+3.2	
(32)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	75.0	75.4	82.6		-0.4	-7.6	

質問事項	(単位は%)			県との差			全国との差		
	市	県	国	-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(33)	調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	88.4	87.3	90.8			+1.1		-2.4
(34)	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	98.3	91.3	93.8	+7.0				+4.5
(35)	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	95.0	91.4	92.6			+3.6		+2.4
(36)	調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	98.3	97.3	96.9			+1.0		+1.4
(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか	98.4	96.0	97.0			+2.4		+1.4
(38)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか	86.7	81.6	84.1			+5.1		+2.6
(39)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	98.3	94.9	94.4			+3.4		+3.9
(40)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	100.0	95.4	95.4			+4.6		+4.6
(41)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか	98.3	92.7	92.7			+5.6		+5.6
(42)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか	100.0	97.0	95.6			+3.0		+4.4
(43)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度に、算数の授業における少人数による指導を行いましたか(1回以上)	6.7	18.4	43.6			-11.7		-36.9
(44)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度に、算数の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか(1回以上)	10.0	24.3	39.4			-14.3		-29.4
(45)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度に、算数の授業におけるチーム・ティーチングによる指導を行いましたか(1回以上)	18.3	29.2	57.2			-10.9		-38.9
(46)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	85.0	81.6	84.3			+3.4		+0.7
(47)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	93.4	90.0	92.4			+3.4		+1.0
(48)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	98.4	97.6	97.1			+0.8		+1.3
(50)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	95.0	93.0	93.9			+2.0		+1.1
(51)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	98.3	93.5	94.2			+4.8		+4.1
(52)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた予想や仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	95.0	93.6	93.8			+1.4		+1.2
(53)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか	100.0	97.0	97.1			+3.0		+2.9
(54)	調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度に、児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	95.0	94.6	96.0			+0.4		-1.0
(56)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか(週3回以上)	90.0	88.1	86.2	+1.9				+3.8
(57)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	95.0	95.1	94.7			-0.1		+0.3
(58)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	60.0	79.7	69.3			-19.7		-9.3
(59)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか(週3回以上)	88.4	85.7	85.1			+2.7		+3.3
(60)	調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	68.3	65.4	61.9			+2.9		+6.4
(61)	調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	50.0	35.1	39.9	+14.9			+10.1	
(62)	教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	45.0	35.1	45.4	+9.9				-0.4
(63)	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	28.3	23.0	31.3			+5.3		-3.0
(64)	前年度に、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか(年1回以上)	1.7	3.7	3.8			-2.0		-2.1

番号	質問事項	(単位は%)			県との差		全国との差	
		市	県	国	-10.0 ▼ +10.0	-10.0 ▼ +10.0	-10.0 ▼ +10.0	
(65)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	63.3	37.1	50.3	+26.2		+13.0	
(67-1)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、家庭におけるオンラインを活用した学習にどの程度活用していますか(週3回以上)	1.7	2.7	12.4		-1.0		-10.7
(67-2)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童のスタディ・ログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか(週3回以上)	3.4	6.0	13.0		-2.6		-9.6
(67-3)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか(週3回以上)	11.7	12.1	21.1		-0.4		-9.4
(67-4)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか(週3回以上)	21.6	10.3	22.9	+11.3			-1.3
(67-5)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか(週3回以上)	31.7	23.2	30.9	+8.5			+0.8
(68)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	100.0	95.2	94.3		+4.8		+5.7
(69)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	38.3	58.1	52.7		-19.8		-14.4
(70)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	25.0	55.7	48.2		-30.7		-23.2
(71)	令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	30.0	56.5	44.5		-26.5		-14.5
(72)	職場見学を行っていますか	23.3	22.4	29.9		+0.9		-6.6
(73)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	76.7	82.5	82.0		-5.8		-5.3
(74)	保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	98.3	95.2	94.6		+3.1		+3.7
(75)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	90.0	82.7	70.8	+7.3		+19.2	
(76)	(74)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	98.3	96.5	93.7		+1.8		+4.6
(77)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	98.3	98.7	96.5		-0.4		+1.8
(78)	調査対象学年の児童の保護者に対して、前年度までに、児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	91.7	93.5	92.4		-1.8		-0.7
(79)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	91.7	91.6	89.7		+0.1		+2.0
(80)	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100.0	98.3	95.9		+1.7		+4.1
(81)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100.0	98.1	91.7		+1.9	+8.3	
(82)	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	78.4	93.2	86.2		-14.8		-7.8

(6) 学校質問紙  
 中学3年生 各質問事項の肯定的な回答の割合 (設問順)

番号	質問事項	(単位は%)			県との差			全国との差		
		市	県	国	-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(7)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100.0	96.1	95.6			+3.9			+4.4
(8)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	100.0	100.0	98.5			+0.0			+1.5
(9)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	96.1	93.6	94.3			+2.5			+1.8
(10)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	96.2	97.4	98.1			-1.2			-1.9
(11)	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか	96.2	90.9	94.9			+5.3			+1.3
(12)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか(年に数回程度以上)	100.0	94.1	92.6	+5.9			+7.4		
(13)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか(年に数回程度以上)	100.0	96.7	95.6			+3.3			+4.4
(14)	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか	92.3	92.2	94.3			+0.1			-2.0
(15-1)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、生徒の出欠・遅刻に関する事務は軽減しましたか	65.3	62.4	59.9			+2.9			+5.4
(15-2)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、家庭への調査等に関する事務(個人面談等の日程調整や学校評価アンケートなど)は軽減しましたか	80.8	61.1	62.0	+19.7			+18.8		
(15-3)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、学校からのお知らせ(学校通信等)は軽減しましたか	42.3	44.1	52.8			-1.8			-10.5
(15-4)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員等会議に関する事務は軽減しましたか	50.0	55.8	67.7			-5.8			-17.7
(15-5)	ICTを活用した校務の効率化を通じて、教職員の書類作成等その他の事務は軽減しましたか	65.4	63.6	69.5			+1.8			-4.1
(16)	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	84.6	87.6	91.3			-3.0			-6.7
(17)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	96.1	94.1	93.3	+2.0					+2.8
(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	73.0	75.3	82.3			-2.3			-9.3
(19)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	96.1	98.0	92.7			-1.9			+3.4
(20)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	65.4	72.8	78.6			-7.4			-13.2
(21)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	65.3	64.9	73.0			+0.4			-7.7
(23)	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	76.9	88.3	87.9			-11.4			-11.0
(24)	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	73.0	80.5	80.7			-7.5			-7.7
(25)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	88.4	92.2	87.3	-3.8			+1.1		
(26)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	96.2	92.2	86.2			+4.0	+10.0		
(27)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	100.0	97.4	96.0			+2.6			+4.0
(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	96.2	98.0	97.1	-1.8			-0.9		
(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	88.4	89.0	87.0			-0.6			+1.4
(30)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	96.1	92.2	88.2			+3.9	+7.9		
(31)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	73.0	76.0	76.6			-3.0			-3.6
(32)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起きている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	84.6	79.8	80.4			+4.8			+4.2



番号	質問事項	(単位は%)			県との差			全国との差		
		市	県	国	-10.0	▼	+10.0	-10.0	▼	+10.0
(33)	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	92.3	94.2	89.6			-1.9		+2.7	
(34)	調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	96.2	94.2	93.3			+2.0		+2.9	
(35)	調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	92.3	92.8	91.7			-0.5		+0.6	
(36)	調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	96.1	98.7	97.7			-2.6		-1.6	
(37)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにしましたか	92.3	96.7	96.6			-4.4		-4.3	
(38)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか	92.3	97.5	91.6			-5.2		+0.7	
(39)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか	96.1	98.1	97.5			-2.0		-1.4	
(40)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか	88.5	91.6	93.4			-3.1		-4.9	
(41)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか	100.0	98.1	96.1			+1.9		+3.9	
(42)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか	92.3	92.2	95.8			+0.1		-3.5	
(43)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度に、数学の授業における少人数による指導を行いましたか(1回以上)	19.2	23.9	37.4			-4.7		-18.2	
(44)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度に、数学の授業における習熟度に応じた指導を行いましたか(1回以上)	23.0	20.7	33.5			+2.3		-10.5	
(45)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度に、数学の授業におけるチーム・ティーチングによる指導を行いましたか(1回以上)	46.0	47.3	54.3			-1.3		-8.3	
(46)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	73.1	80.5	82.8			-7.4		-9.7	
(47)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	65.4	73.4	78.7			-8.0		-13.3	
(48)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか	100.0	96.7	97.0			+3.3		+3.0	
(49)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか	84.6	93.5	94.4			-8.9		-9.8	
(50)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	92.3	96.1	96.8			-3.8		-4.5	
(51)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行いましたか	61.5	79.9	79.2			-18.4		-17.7	
(52)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行いましたか	96.1	95.5	94.6			+0.6		+1.5	
(53)	調査対象学年の生徒に対する理科の指導として、前年度に、生徒が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか(月1回以上)	96.1	96.8	91.2			-0.7	+4.9		
(54)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか(月1回以上)	100.0	99.9	98.3			+0.1		+1.7	
(55)	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	100.0	91.0	90.8	+9.0			+9.2		
(56)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか	73.1	83.8	69.3			-10.7		+3.8	
(57)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか(週3回以上)	88.5	79.2	81.2	+9.3			+7.3		
(58)	調査対象学年の生徒が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	53.8	54.6	56.2			-0.8		-2.4	
(59)	調査対象学年の生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	42.3	37.0	41.7			+5.3		+0.6	
(60)	教職員と調査対象学年の生徒がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか(週3回以上)	46.1	39.0	44.1	+7.1				+2.0	
(61)	調査対象学年の生徒同士がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	26.9	23.4	27.8			+3.5		-0.9	
(62)	前年度に、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、生徒が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか(年1回以上)	3.8	26.6	21.5			-22.8		-17.7	

番号	質問事項	(単位は%)			県との差		全国との差	
		市	県	国	-10.0	+10.0	-10.0	+10.0
					▼		▼	
(63)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	38.5	40.9	49.4		-2.4		-10.9
(65-1)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、家庭におけるオンラインを活用した学習にどの程度活用していますか(週1回以上)	0.0	10.3	25.3		-10.3		-25.3
(65-2)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、生徒のスタディ・ログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか(週1回以上)	11.5	14.9	22.2		-3.4		-10.7
(65-3)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、生徒の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか(週1回以上)	15.3	22.7	35.3		-7.4		-20.0
(65-4)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校生徒に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか(週1回以上)	7.7	20.1	41.9		-12.4		-34.2
(65-5)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する生徒に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか(週1回以上)	30.7	35.0	46.5		-4.3		-15.8
(66)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	92.3	96.8	92.8		-4.5		-0.5
(67)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	34.6	62.3	61.1		-27.7		-26.5
(68)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	23.0	54.6	58.0		-31.6		-35.0
(69)	令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	19.2	57.1	47.6		-37.9		-28.4
(70)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか(1日以上)	19.2	40.8	28.5		-21.6		-9.3
(71)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	76.9	79.2	79.7		-2.3		-2.8
(72)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	84.6	81.2	77.5		+3.4	+7.1	
(73)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	69.2	66.9	55.8		+2.3	+13.4	
(74)	(72)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	92.4	89.6	86.5		+2.8	+5.9	
(75)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	100.0	97.4	93.6		+2.6	+6.4	
(76)	調査対象学年の生徒の保護者に対して、前年度までに、生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	80.8	87.6	86.7		-6.8		-5.9
(77)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか	84.6	87.7	86.9		-3.1		-2.3
(78)	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100.0	96.8	92.7		+3.2	+7.3	
(79)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100.0	96.1	88.5		+3.9	+11.5	
(80)	令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	76.9	90.3	80.6		-13.4		-3.7

## (7) 学校質問紙の結果から

小学6年生

比較対象はR3年度

### 【成果】

#### ○肯定的回答の割合が上昇した項目

設問8	「前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか」	↑14.1%
設問27	「調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか。」	↑15.6%
設問58	「コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった専門スタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか」	↑36.2%
設問75	「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みをいかして、(74)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」	↑13.8%

#### ○肯定的回答の割合が高かった項目

設問19	「授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか」	100.0%
設問80	「令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」	100.0%
設問81	「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」	100.0%

### 【課題】

#### ●肯定的回答の割合が下降した項目

設問70	「前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか」	-9.9%
設問71	「令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか」	-12.8%
設問30	「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか」	-10.8%

#### ●肯定的回答の割合が低かった項目

設問67-2	「児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童のスタディログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか」	3.4%
設問67-3	「児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか」	11.7%

### 【考察】

#### ○肯定的回答の割合が上昇した項目について

- ・学校の教育活動の多くの場面で、対話的な活動が取り入れられていると推察される。

#### ○肯定的回答の割合が高かった項目について

- ・全国学力・学習状況調査の結果を分析することで、事項の教育の成果と課題を把握し、授業改善に生かそうとすることができている。

#### ●肯定的回答の割合が下降した項目について

- ・自校での授業改善の取組は進んでいるが、今後は中学校区での連携が今後の課題であると考ええる。

#### ●肯定的回答の割合が低かった項目について

- ・ICTを活用した授業の実施が進んでいるが、一人一台端末を活用して児童個別の学習状況に応じた指導を行う方法も検討することが、今後の課題であると考ええる。

【成果】

○肯定的回答の割合が上昇した項目

- 設問55 「教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか」 ↑23.1%
- 設問56 「コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもったスタッフ（教員は除く）がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか」 ↑34.7%

○肯定的回答の割合が高かった項目

- 設問41 「調査対象の学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたりする授業を行いましたか」 100.0%
- 設問48 「調査対象の学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか」 100.0%
- 設問78 「令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」 100.0%
- 設問79 「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」 100.0%

【課題】

●肯定的回答の割合が下降した項目

- 設問67 「前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」 -23.1%
- 設問68 「前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか」 -19.3%
- 設問69 「令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等お小学校と成果や課題を共有しましたか」 -15.4%
- 設問40 「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか」 -15.4%

●肯定的回答の割合が低かった項目

- 設問65-2 「生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、生徒のスタディログを活用した学習状況等の確認にどの程度活用していますか」 11.5%
- 設問65-3 「生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、生徒の特性・学習進度等に応じた指導にどの程度活用していますか」 15.3%

【考察】

○肯定的回答の割合が上昇した項目について

- ・一人一台端末の利用頻度が増加し、さらなる有効活用を推進していることが推察される。

○肯定的回答の割合が高かった項目について

- ・学力調査の分析等を基に、授業改善を積極的に行っていることが伺える。

●肯定的回答の割合が下降した項目について

- ・中学校区を中心とした、異校種間の接続・連携が今後の課題であると考ええる。

●肯定的回答の割合が低かった項目について

- ・ICTを活用した授業の実施が進んでいるが、一人一台端末を活用して生徒個別の学習状況に応じた指導を行う方法も検討することが、今後の課題であると考ええる。